

基本計画書

基本計画										
事項		記入欄							備考	
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者		ガッコウホウジンカナザワガクインダイガク 学校法人金沢学院大学								
フリガナ大学の名称		カナザワガクインダイガク 金沢学院大学								
大学本部の位置		石川県金沢市末町10の5番地								
大学の目的		金沢学院大学は、教育基本法及び学校教育法に従い、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的応用能力及び道徳的教養を豊かにして、建学の精神「愛と理性」の伸長を指標に、人格を陶冶し、創造性と実行力により文化日本の建設に貢献し、進んで世界の平和と人類の福祉に奉仕する有為な人材を育成することを目的とする。（学則第1条より）								
新設学部等の目的		スポーツ科学部スポーツ科学科では、入学定員充足率が令和4年度1.15、令和5年度1.09、令和6年度1.25、令和7年度1.2と着実な伸びを示していると同時に、4年間を平均した入学定員充足率は1.17、収容定員充足率は1.11となり、入学定員及び収容定員の超過を避けるため、入学を希望する志願者の意向に必ずしも沿う事のできない状況が生じている。本学のように地方の私立大学にあつては、地元高校との連携は必要不可欠であるため、この状態は出来る限り早く解消することが望ましい。そのため、今般、文学部文学科から10名と経済学部経済学科から20名をスポーツ科学部スポーツ科学科へ振り替え、スポーツ科学部スポーツ科学科の入学定員を150人より180人とする届出を行うこととする。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	
	スポーツ科学部	年	人	年次人	人			年 月 第 年次		
	スポーツ科学科	4	180 (150)	10 (10)	740 (620)	学士（スポーツ科学）	体育関係	令和8年4月 第1年次	石川県金沢市末町10の5番地	
	文学部									
	文学科	4	170 (180)	8 (8)	696 (736)	学士（文学）	文学関係	令和8年4月 第1年次	同	
経済学部										
経済学科	4	140 (160)	5 (5)	570 (650)	学士（経済学）	経済学関係	令和8年4月 第1年次	同		
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）		該当なし								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数						卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計					
		科目	科目	科目	科目	単位				

学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)	
		教授	准教授	講師	助教	計			
新	スポーツ科学部スポーツ科学科	8 (8)	1 (1)	4 (4)	8 (8)	21 (21)	3 (3)	17 (17)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 11人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	1 (1)	4 (4)	8 (8)	20 (20)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)			
	小計（a～b）	8 (8)	1 (1)	4 (4)	8 (8)	21 (21)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	8 (8)	1 (1)	4 (4)	8 (8)	21 (21)			
設	文学部文学科	10 (10)	7 (7)	6 (6)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	11 (11)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 9人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	10 (10)	7 (7)	5 (5)	0 (0)	22 (22)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)			
	小計（a～b）	10 (10)	7 (7)	6 (6)	0 (0)	23 (23)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	10 (10)	7 (7)	6 (6)	0 (0)	23 (23)			
分	経済学部経済学科	8 (8)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	27 (27)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 9人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	8 (8)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	8 (8)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			
	計	26 (26)	10 (10)	12 (12)	8 (8)	56 (56)	3 (3)	— (—)	

既	経済学部経営学科		5 (5)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	11 (11)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 7人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (5)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	9 (9)	/	/		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	小計（a～b）	5 (5)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	9 (9)				
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	計（a～d）	5 (5)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	9 (9)				
	教育学部教育学科		7 (7)	6 (6)	5 (5)	1 (1)	19 (19)	0 (0)	15 (15)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	6 (6)	4 (4)	1 (1)	18 (18)	/	/		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	7 (7)	6 (6)	5 (5)	1 (1)	19 (19)					
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
計（a～d）	7 (7)	6 (6)	5 (5)	1 (1)	19 (19)					
設	芸術学部芸術学科		9 (9)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	19 (19)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 8人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	13 (13)	/	/		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	小計（a～b）	8 (8)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	13 (13)				
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)				
	計（a～d）	9 (9)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	15 (15)				
	栄養学部栄養学科		11 (11)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	13 (13)	5 (5)	25 (25)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	11 (11)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	13 (13)	/	/		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	11 (11)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	13 (13)					
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
計（a～d）	11 (11)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	13 (13)					
分			11 (11)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	13 (13)	/	/	
			11 (11)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	13 (13)			

既	情報工学部情報工学科						12 (12)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	18 (18)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 11人
	設	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	10 (10)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	12 (12)							
		b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
		小計（a～b）	10 (10)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	12 (12)							
		c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
		d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	2 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (0)							
		計（a～d）	12 (12)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	15 (15)							
基礎教育機構	1 (1)	6 (6)	3 (3)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	0 (0)							
分	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	1 (1)	6 (6)	3 (3)	1 (1)	11 (11)								
	小計（a～b）	1 (1)	6 (6)	3 (3)	1 (1)	11 (11)								
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	計（a～d）	1 (1)	6 (6)	3 (3)	1 (1)	11 (11)								
	計	45 (45)	22 (22)	13 (13)	2 (2)	82 (82)	5 (5)	— (—)						
合 計						71 (71)	32 (32)	25 (25)	10 (10)	138 (138)	8 (8)	— (—)		
職 種						専 属		そ の 他			計			
事 務 職 員						92人 (92)		0人 (0)			92人 (92)			
技 術 職 員						0 (0)		0 (0)			0 (0)			
図 書 館 職 員						3 (3)		0 (0)			3 (3)			
そ の 他 の 職 員						4 (4)		0 (0)			4 (4)			
指 導 補 助 者						0 (0)		0 (0)			0 (0)			
計						99 (99)		0 (0)			99 (99)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用			計				●共用する他の学校：金沢学院短期大学（必要面積：3,200㎡） ●仮倉庫地（共用）使用面積：15,227㎡使用期間25年 ●その他（共用）使用面積：609㎡使用期間21年、419㎡使用期間20年		
	校 舎 敷 地	35,590㎡	93,122㎡		0㎡			128,712㎡						
	そ の 他	31,610㎡	12,826㎡		0㎡			44,436㎡						
	合 計	67,200㎡	105,948㎡		0㎡			173,148㎡						
校 舎		専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用			計				金沢学院短期大学と共用（必要面積：4,350㎡）		
		16,341㎡ (16,341㎡)	24,141㎡ (24,141㎡)		437㎡ (437㎡)			40,919㎡ (40,919㎡)						
教 室 ・ 教 員 研 究 室		教 室	室		教 員 研 究 室			室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		電子ジャーナル 〔うち外国書〕		機械・器具		標本				
		冊	冊	種	種	点	点							
	計	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)							
		〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)							
スポーツ施設等		スポーツ施設		講 堂		厚生補導施設								
		㎡		㎡		㎡								

経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	大学全体 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む）を含む。	
		教員 1 人当り研究費等		300千円	300千円	300千円	300千円	—	—		
		共同研究費等		900千円	900千円	900千円	900千円	—	—		
		図 書 購 入 費	7,394千円	6,500千円	6,500千円	6,500千円	6,500千円	—	—		
		設 備 購 入 費	92,141千円	81,000千円	81,000千円	81,000千円	81,000千円	—	—		
	学生 1 人当り納付金			第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	日本文学/英米文学/心理学専攻 歴史学・考古学専攻	
		スポーツ科学部	1,310千円	1,110千円	1,110千円	1,110千円					
		文学部	1,210千円	1,020千円	1,020千円	1,020千円					
		文学部	1,210千円	1,040千円	1,040千円	1,040千円					
		経済学部	1,200千円	1,060千円	1,060千円	1,060千円					
		教育学部	1,320千円	1,120千円	1,120千円	1,120千円					
		芸術学部	1,480千円	1,280千円	1,280千円	1,280千円					
		栄養学部	1,480千円	1,280千円	1,280千円	1,280千円					
		情報工学部	1,600千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円					
		学生納付金以外の維持方法の概要			資産運用収入、雑収入等						
既設大学等の状況	大 学 等 の 名 称		金沢学院大学								令和4年より学生募集停止

既設大学等の状況	大学等の名称	金沢学院短期大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	
		年	人	年次人	人		倍		
	現代教養学科 食物栄養学科 幼児教育学科	2 2 2	50 60 50	— — —	100 120 100	短期大学士（教養） 短期大学士（栄養学） 短期大学士（幼児教育学）	0.89 0.59 0.63	平成28年度 平成17年度 平成30年度	
附属施設の概要		該当なし							

(注)

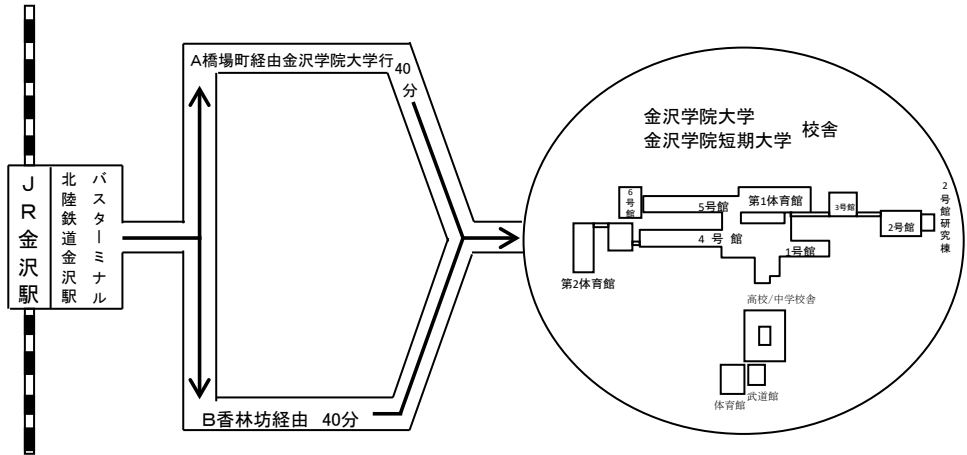
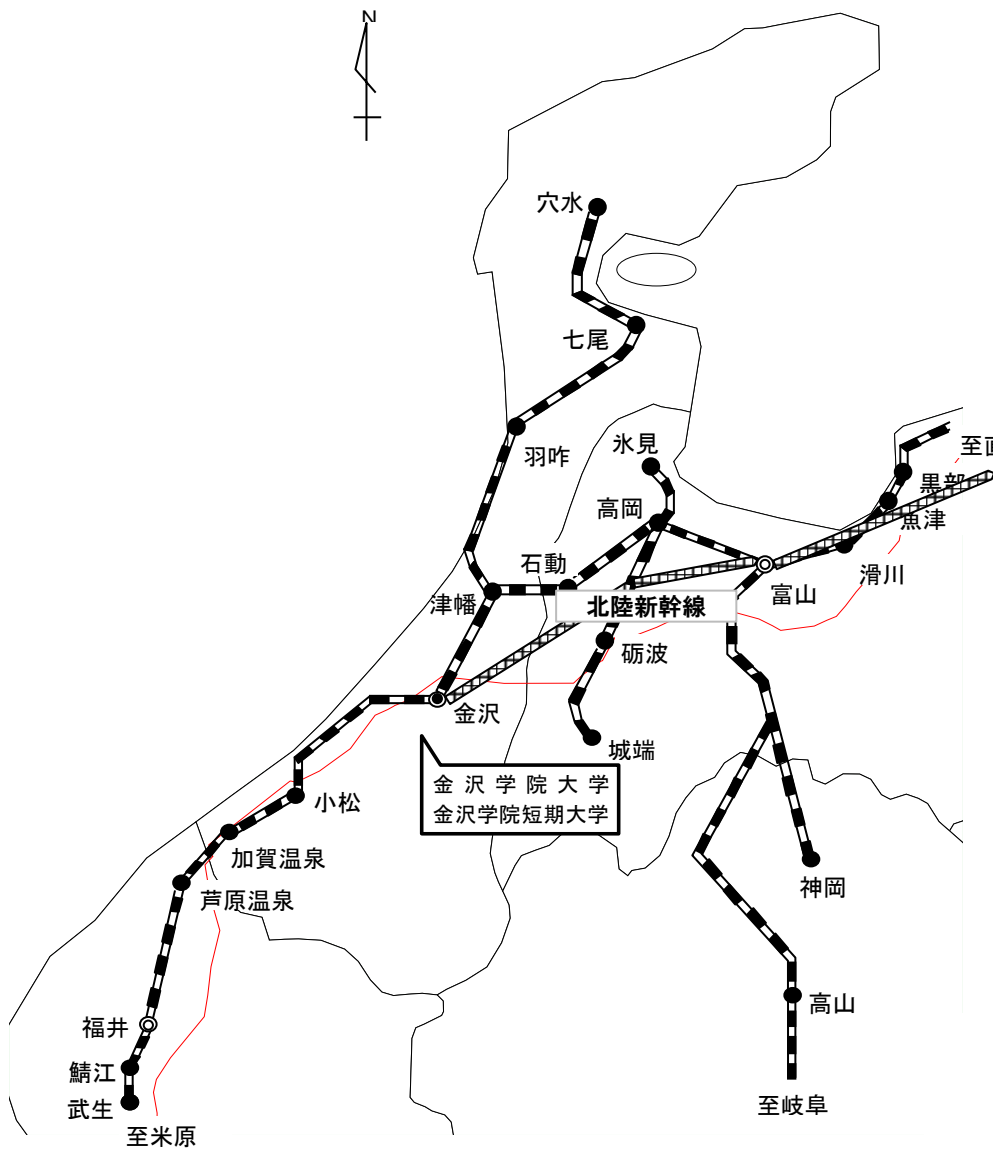
- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあつては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあつては「短期大学設置基準別表第一イ」、専門職短期大学にあつては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」、「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人金沢学院大学 組織の移行表

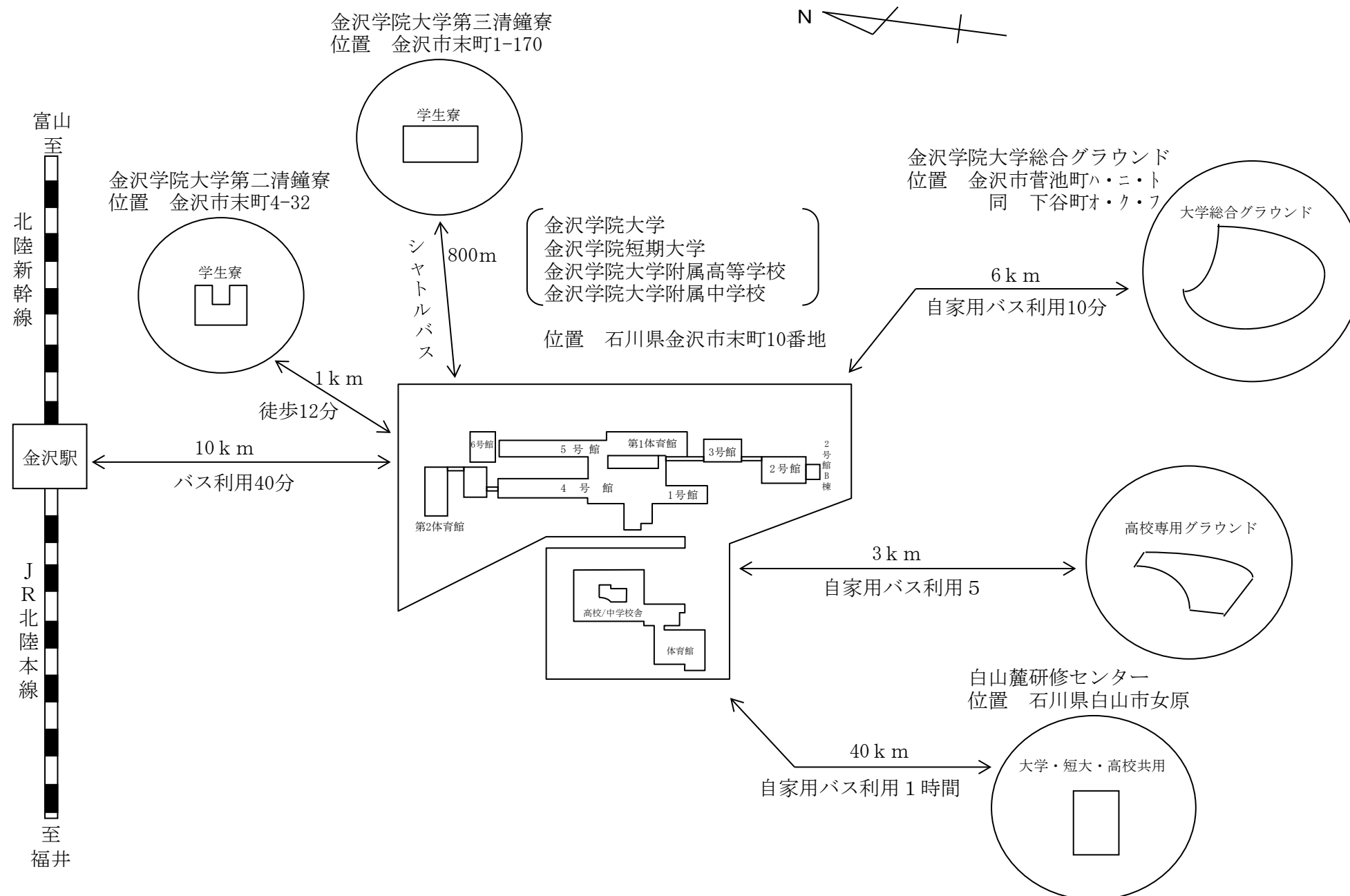
令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和8年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
金沢学院大学				金沢学院大学				
文学部		3年次		文学部		3年次		
文学科	180	8	736	文学科	<u>170</u>	<u>8</u>	<u>696</u>	定員変更（△10）
教育学部		3年次		教育学部		3年次		
教育学科	70	5	290	教育学科	70	5	290	
経済学部		3年次		経済学部		3年次		
経済学科	160	5	650	経済学科	<u>140</u>	5	<u>570</u>	定員変更（△20）
経営学科	90	5	370	経営学科	90	5	370	
芸術学部		3年次		芸術学部		3年次		
芸術学科	80	7	334	芸術学科	80	7	334	
スポーツ科学部		3年次		スポーツ科学部		3年次		
スポーツ科学科	150	10	620	スポーツ科学科	<u>180</u>	10	<u>740</u>	定員変更（30）
栄養学部		3年次		栄養学部		3年次		
栄養学科	80	5	330	栄養学科	80	5	330	
情報工学部				情報工学部				
情報工学科	100		400	情報工学科	100		400	
大学計	910	45	3,730	大学計	910	45	3,730	

金沢学院大学大学院				金沢学院大学大学院			
経営情報学研究科	14	－	32	経営情報学研究科	14	－	32
経営情報学専攻(M)	10	－	20	経営情報学専攻(M)	10	－	20
経営情報学専攻(D)	4	－	12	経営情報学専攻(D)	4	－	12
人文学研究科	9	－	18	人文学研究科	9	－	18
人文学専攻(M)	5	－	10	人文学専攻(M)	5	－	10
心理学専攻(M)	4	－	8	心理学専攻(M)	4	－	8
スポーツ健康学研究科	5	－	10	スポーツ健康学研究科	5	－	10
スポーツ健康学専攻(M)	5	－	10	スポーツ健康学専攻(M)	5	－	10
大学院計	28	－	60	大学院計	28	－	60
金沢学院短期大学				金沢学院短期大学			
食物栄養学科	60	－	120	食物栄養学科	60	－	120
現代教養学科	50	－	100	現代教養学科	50	－	100
幼児教育学科	50	－	100	幼児教育学科	50	－	100
短期大学計	160	－	320	短期大学計	160	－	320

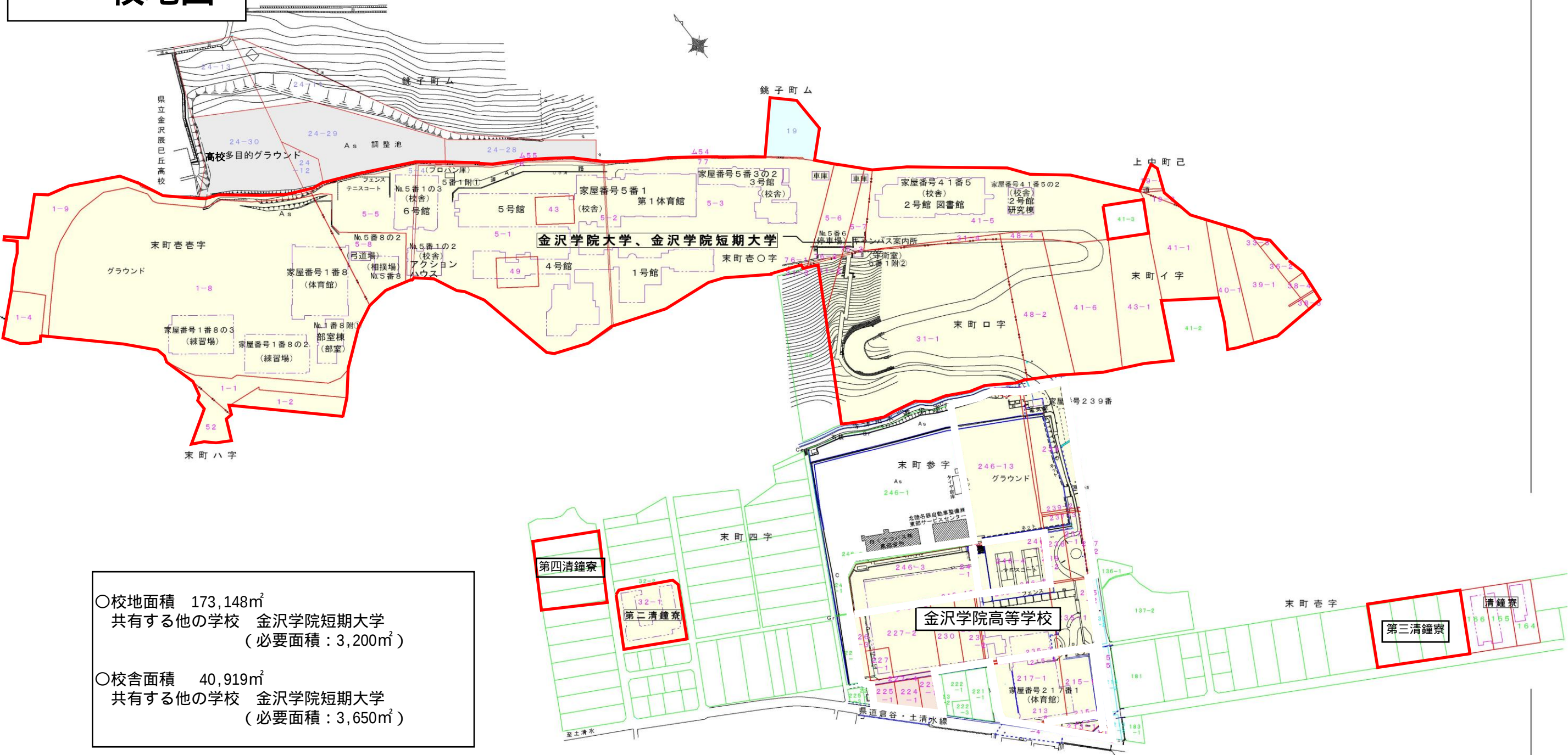
① 都道府県内における位置関係の図面



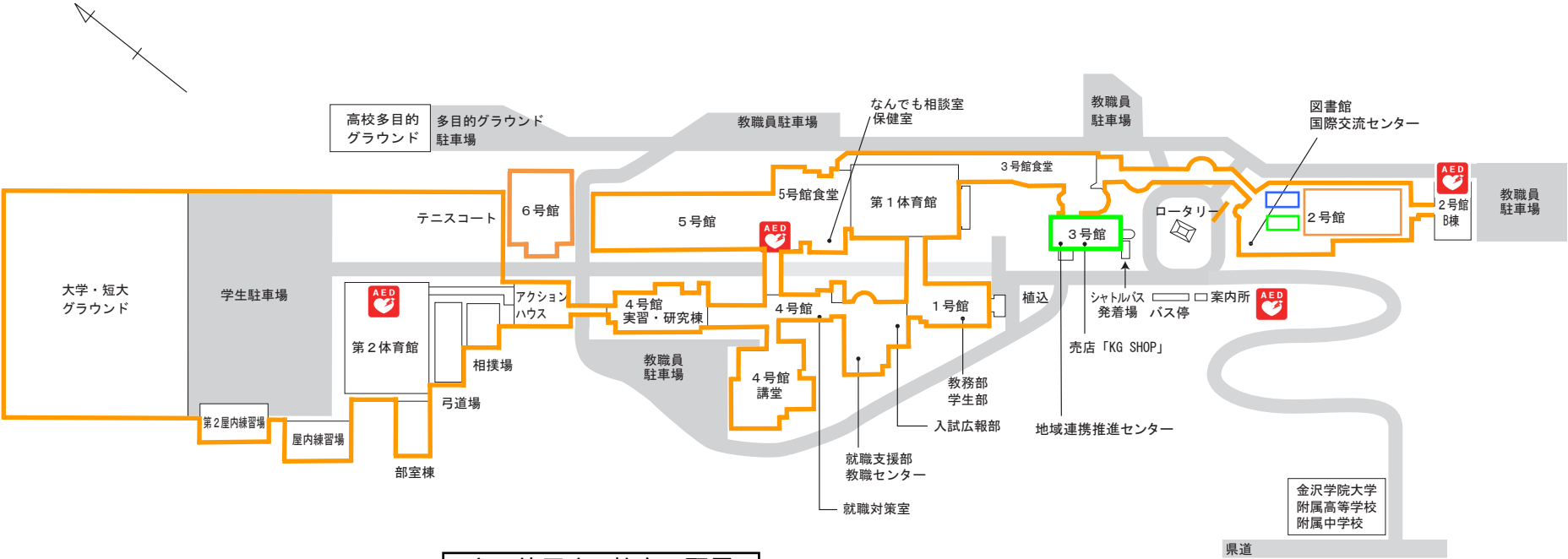
② 最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面



校地図



校舎・運動場の配置図



主に使用する教室の配置

-  全学共用
 大学・短期大学共用
 大学共用

校舎の平面図

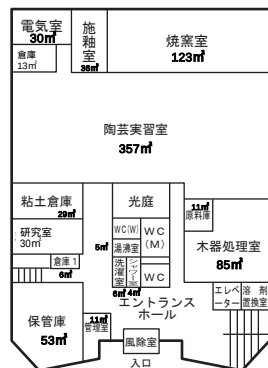
1・4・5・6号館1階

全学共用

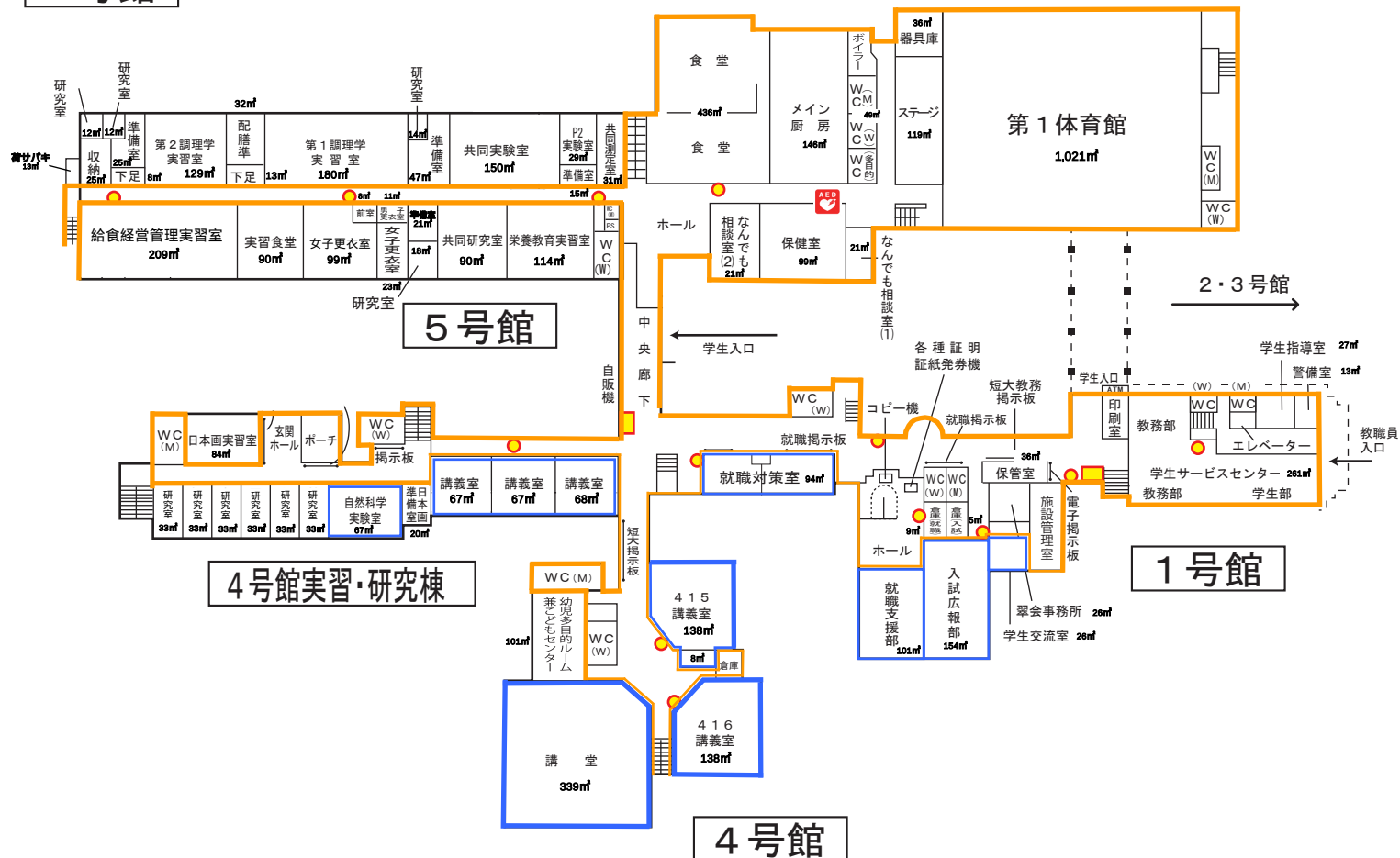
大学・短期大学共用

大学共用

スポーツ科学部専用



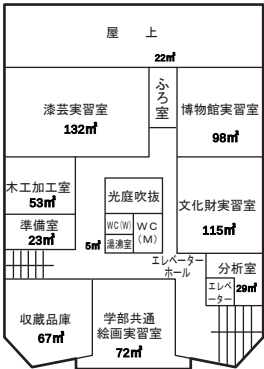
6号館



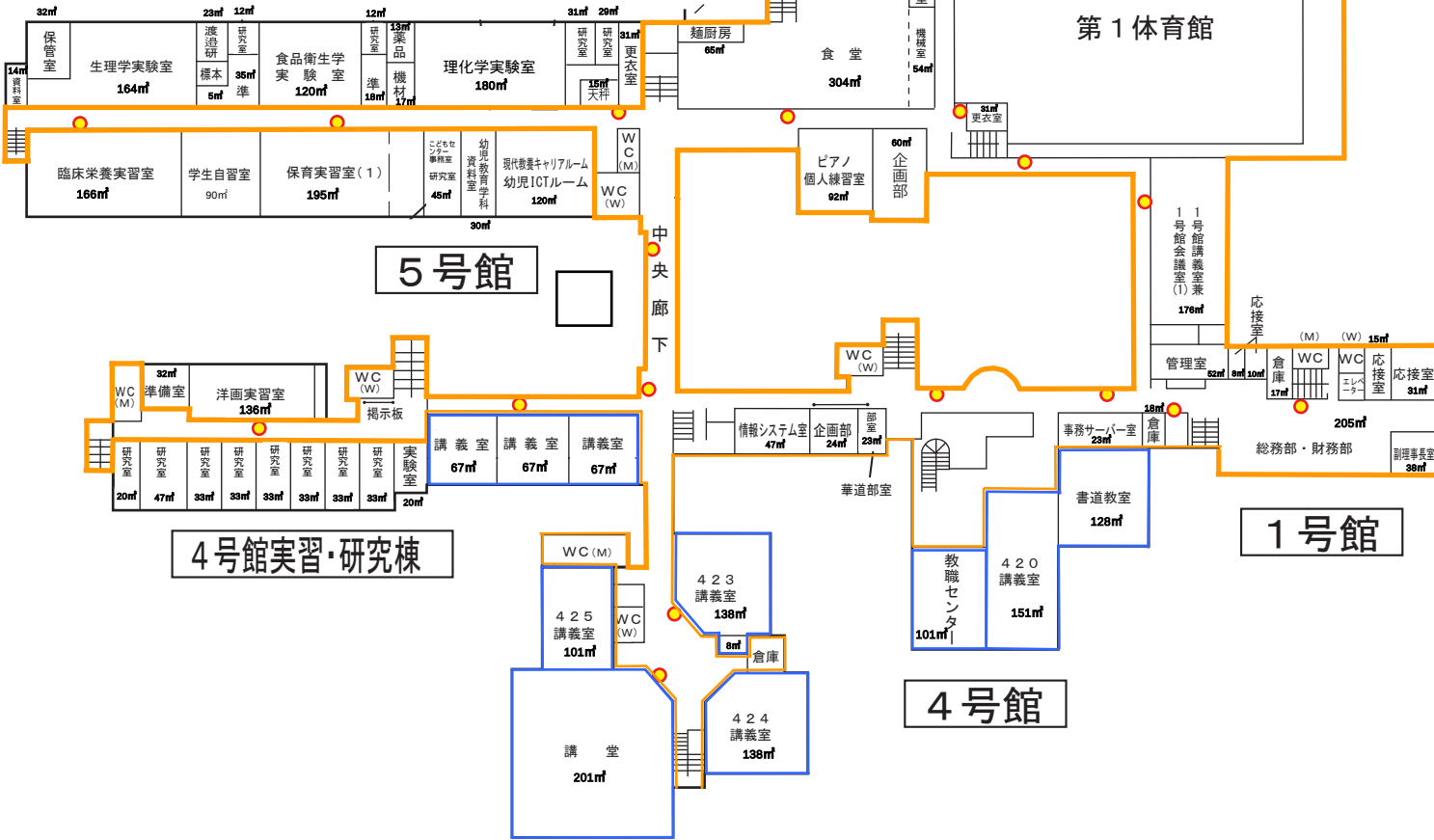
● 消火器

避難用具庫

1・4・5・6号館	2階
-----------	----



6 号館



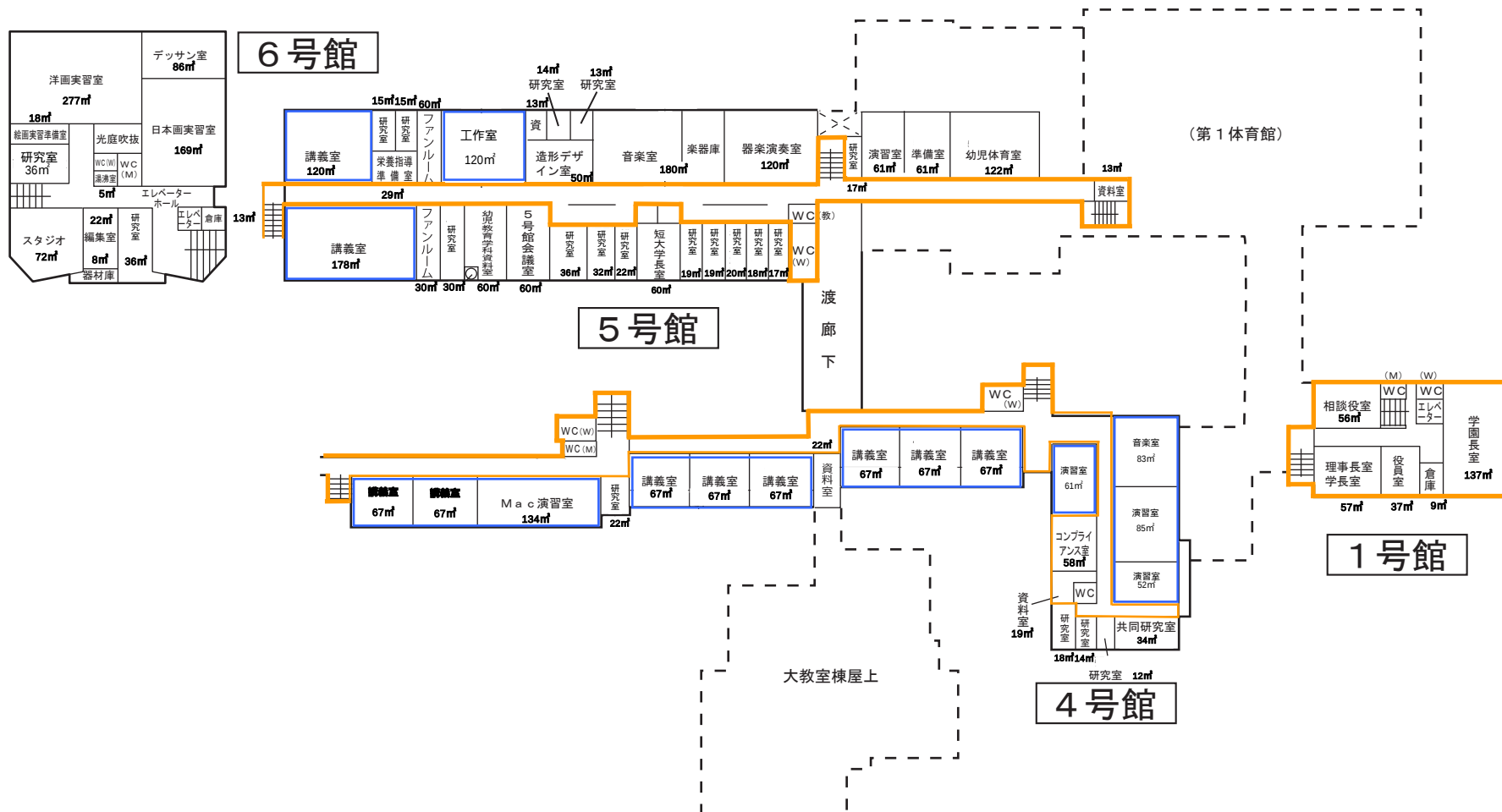
1 号館

4 号館

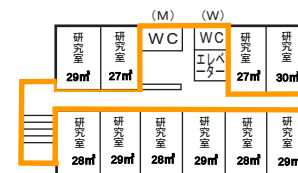
● 消火器 ■ 避難用具庫

● 消火器 ■ 避難用具庫

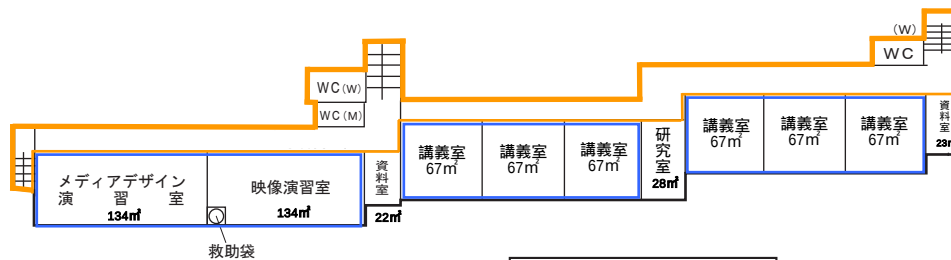
1・4・5・6号館	3階
-----------	----



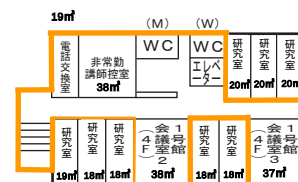
1・4号館 3階



1号館 5 F

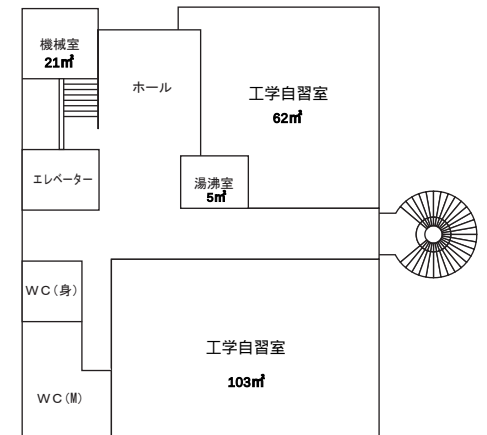
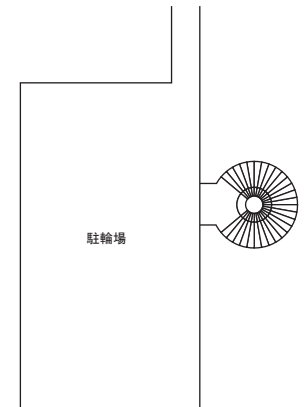
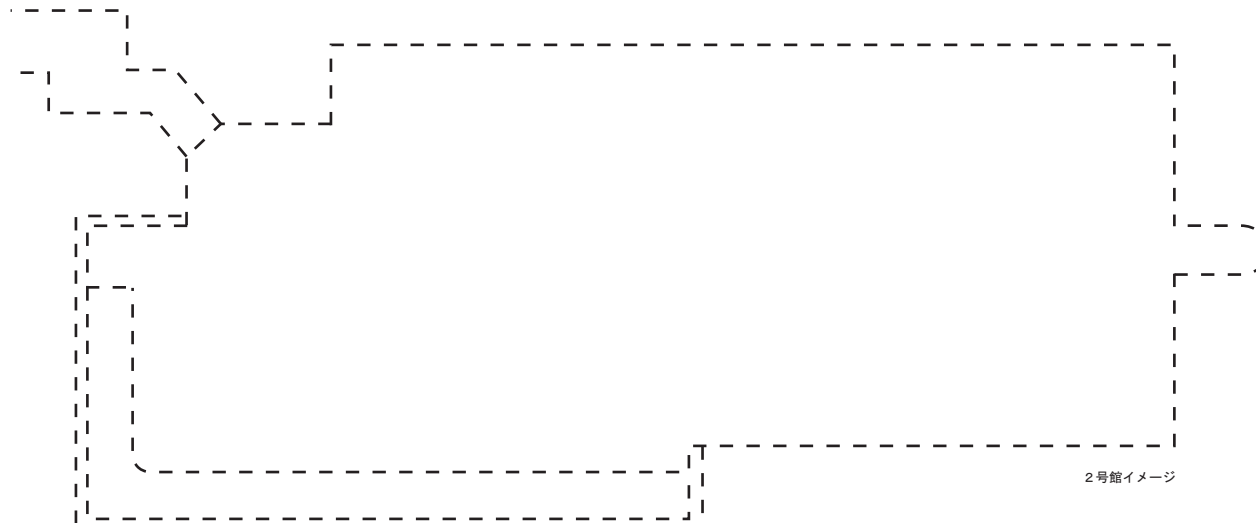


4号館 4 F

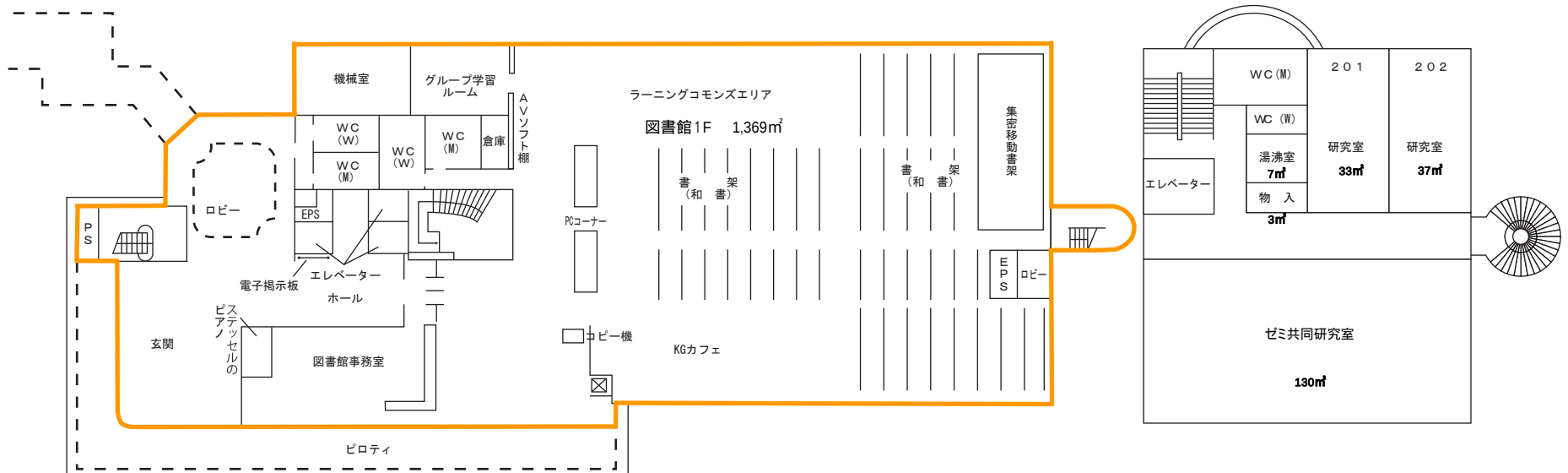


1号館 4 F

2号館地下1階、2号館B棟1階

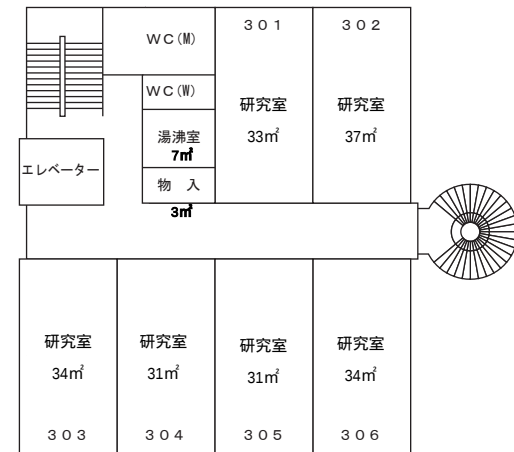
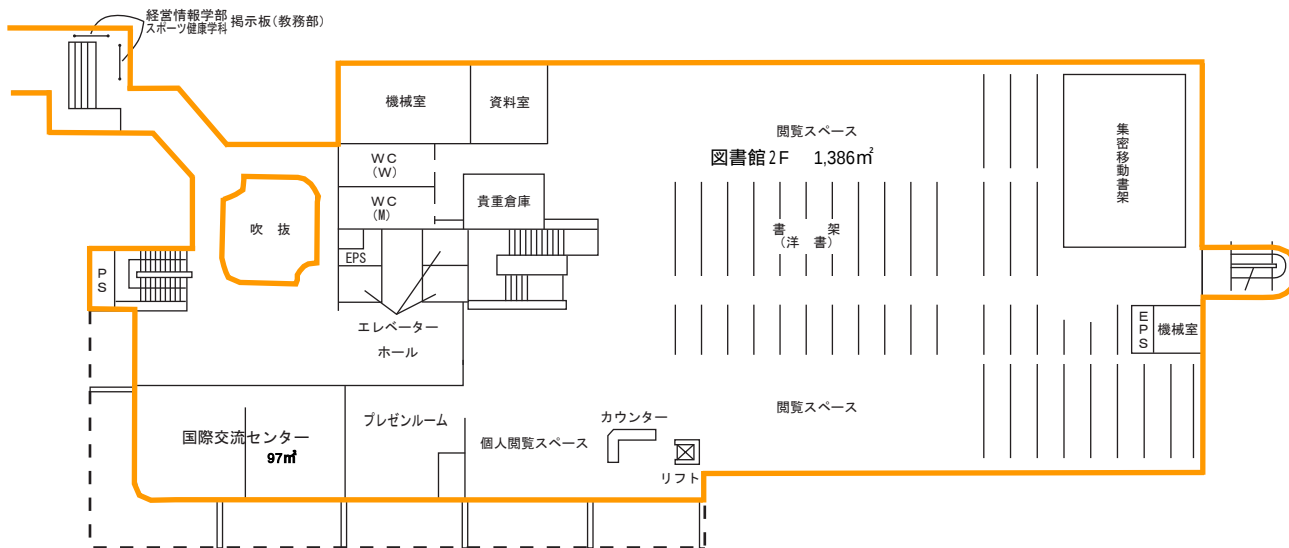


2号館1階、2号館B棟2階

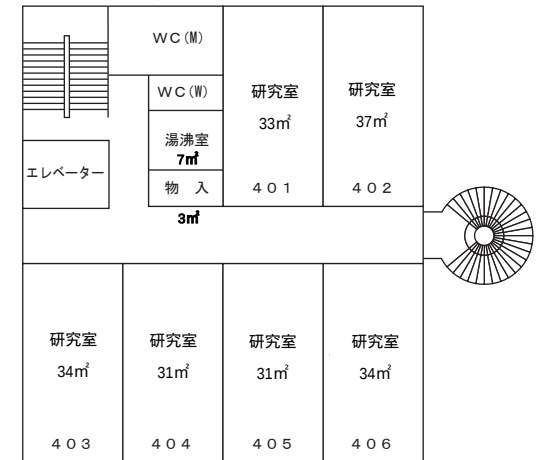
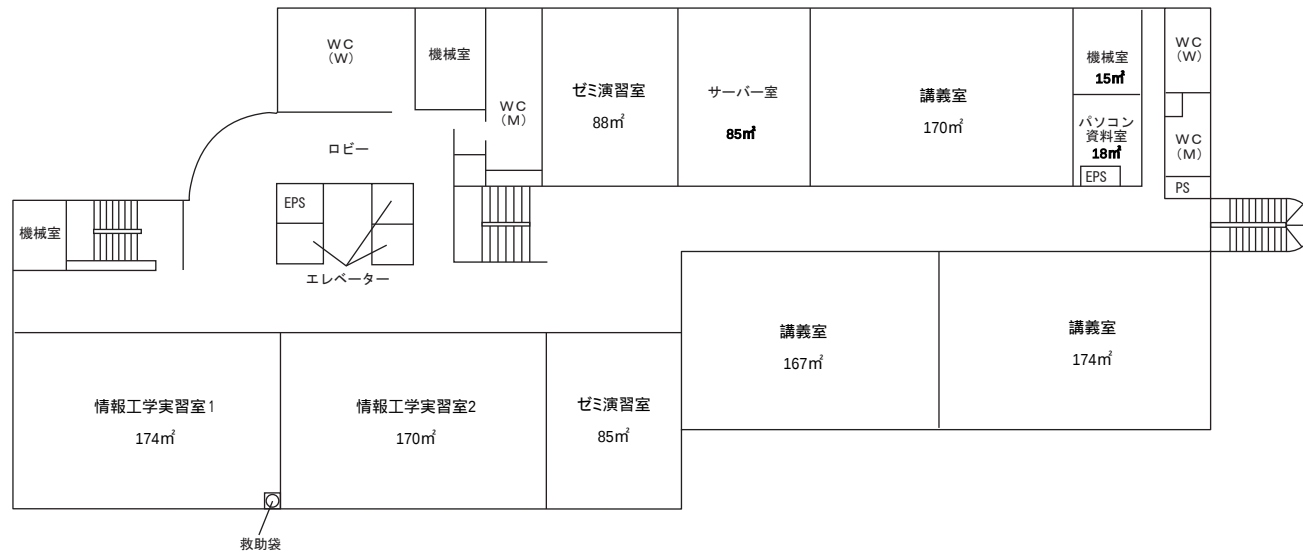


2号館2階、2号館B棟3階

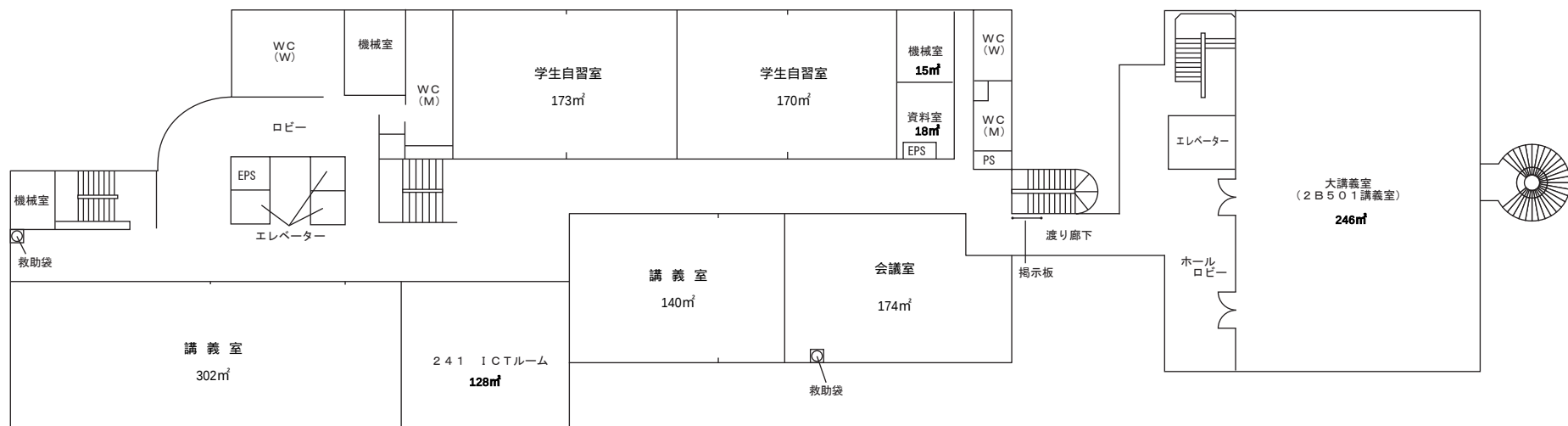
←至3号館



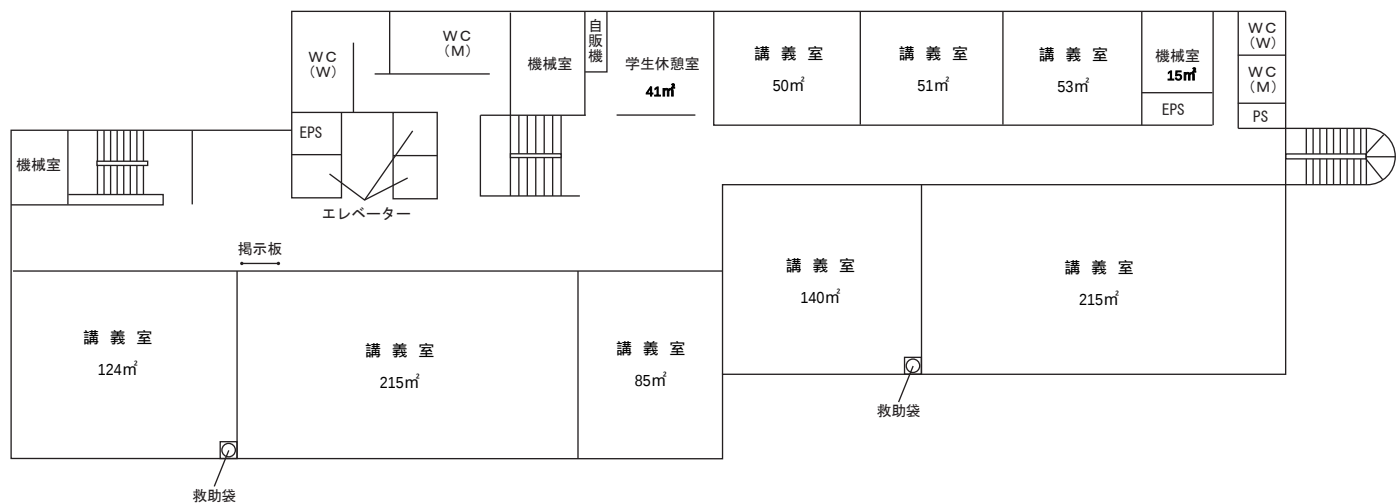
2号館3階、2号館B棟4階



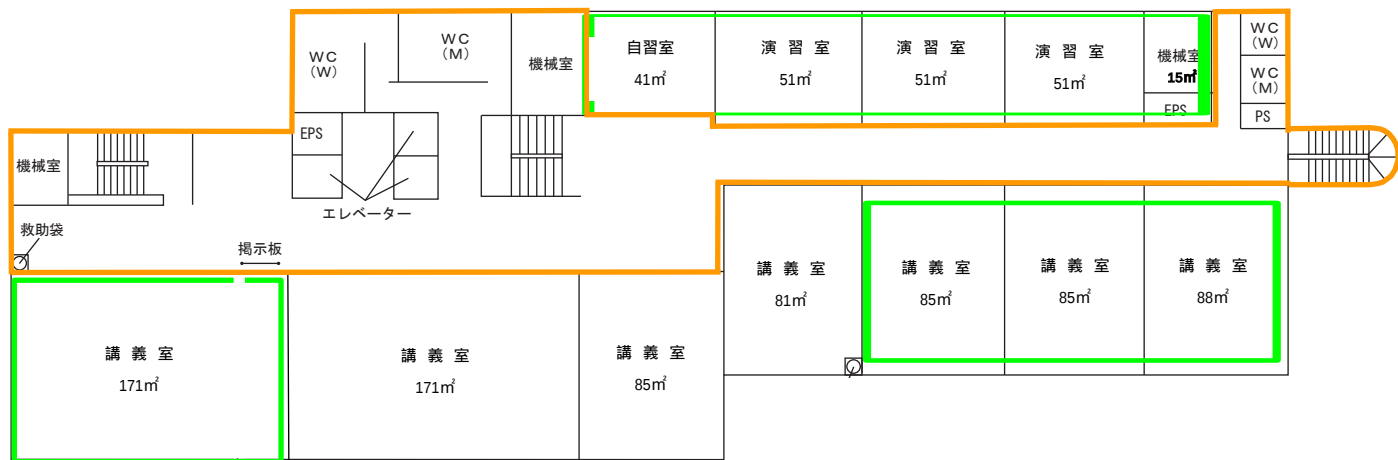
2号館4階、2号館B棟5階



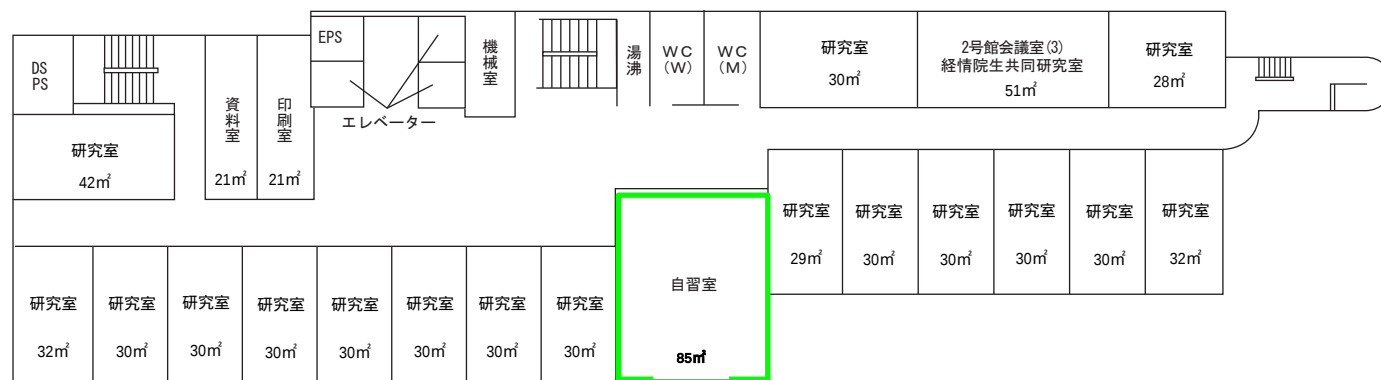
2号館5階



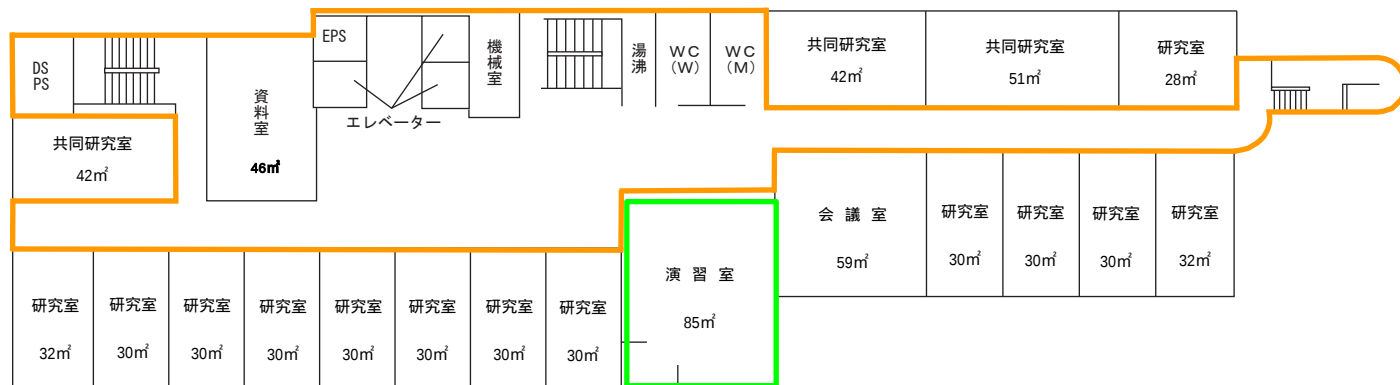
2号館6階



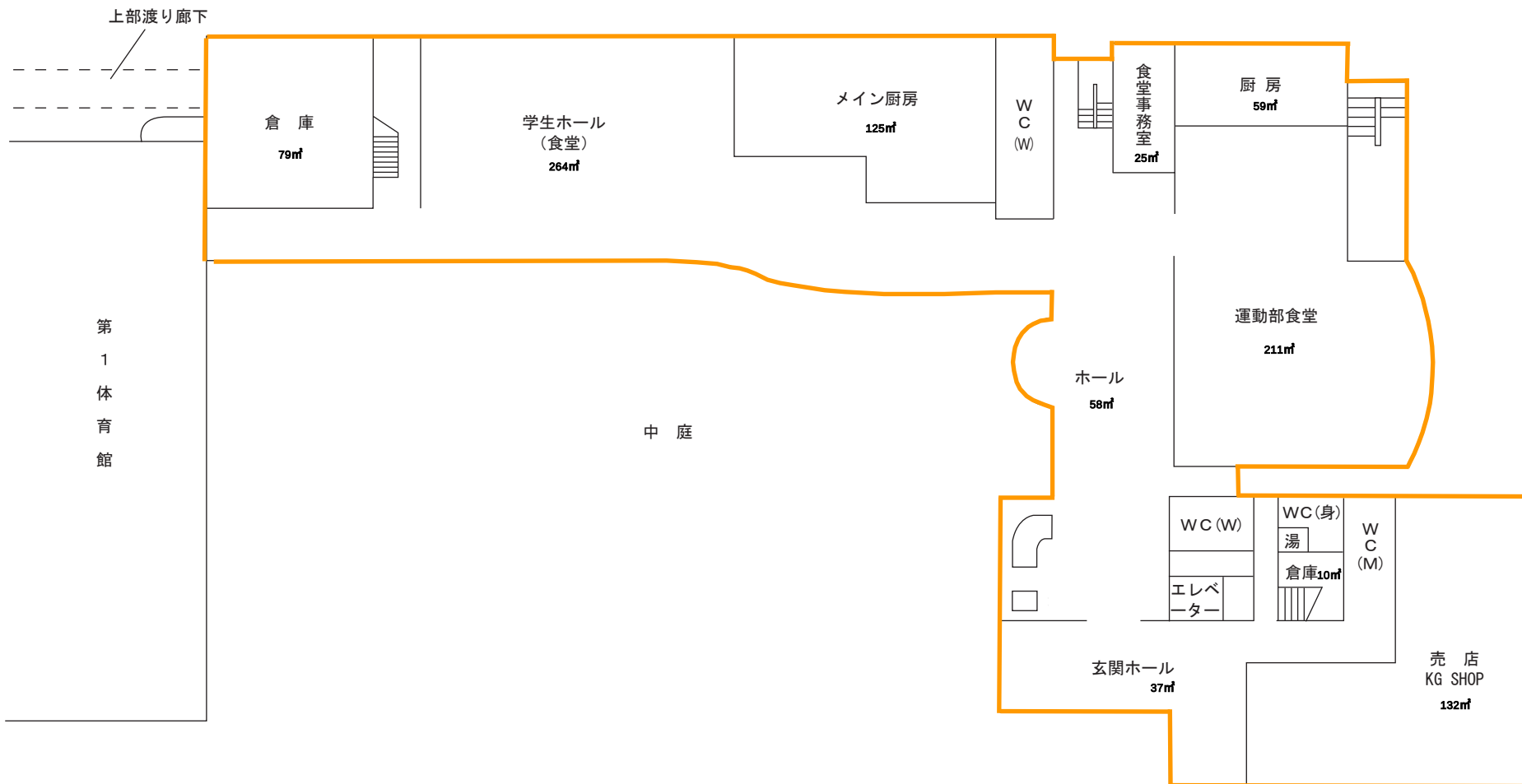
2号館7階



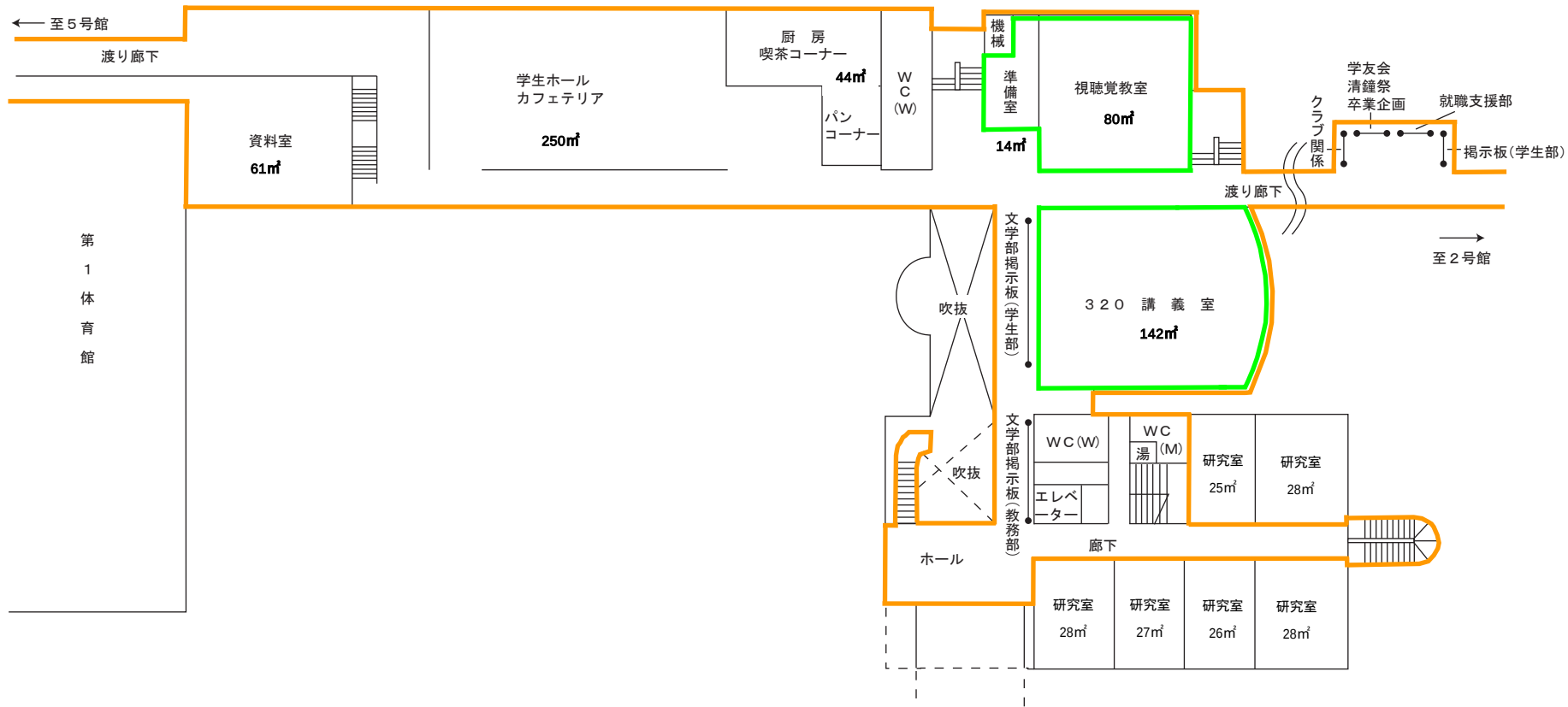
2号館8階



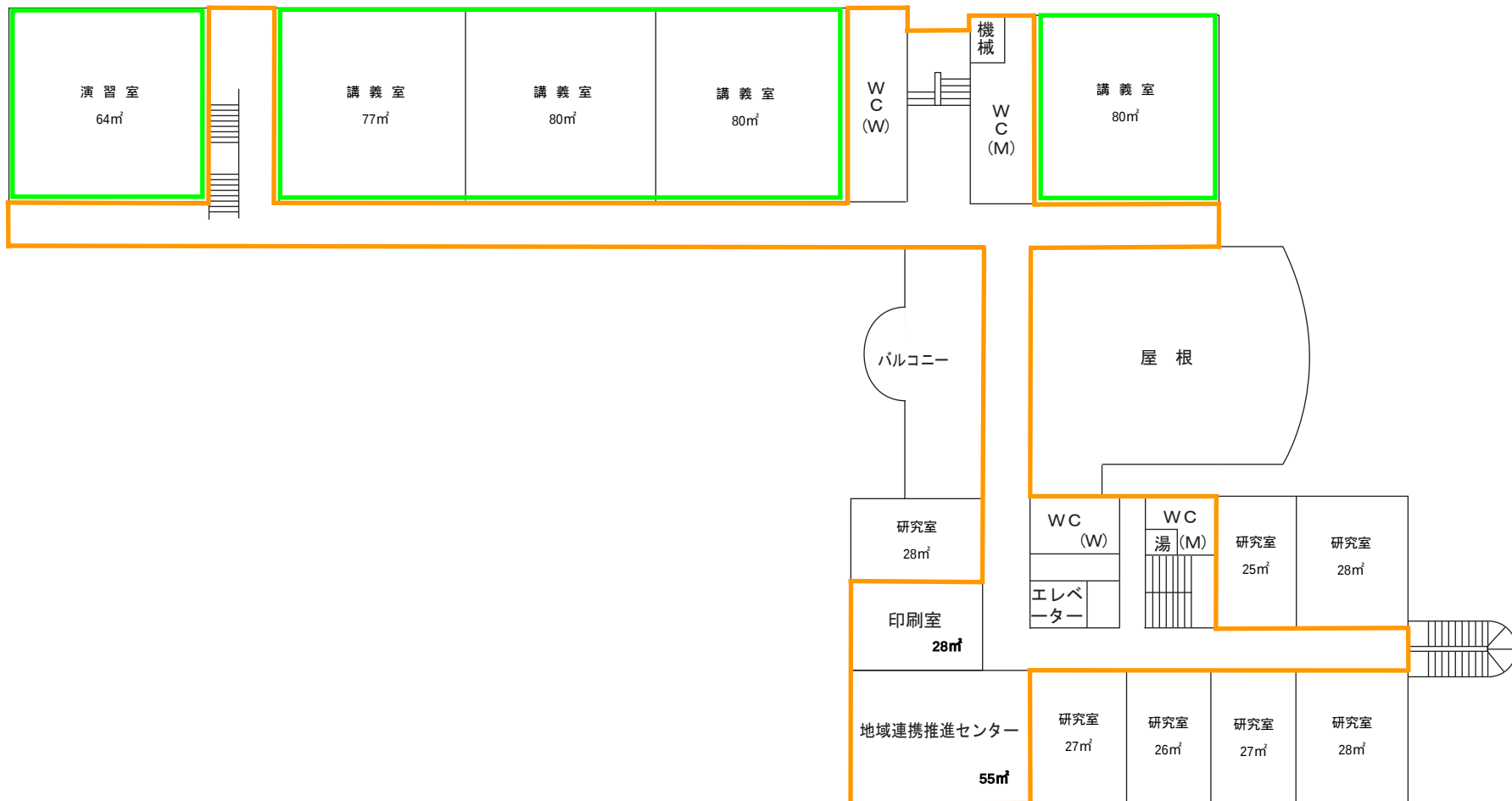
3号館 1階



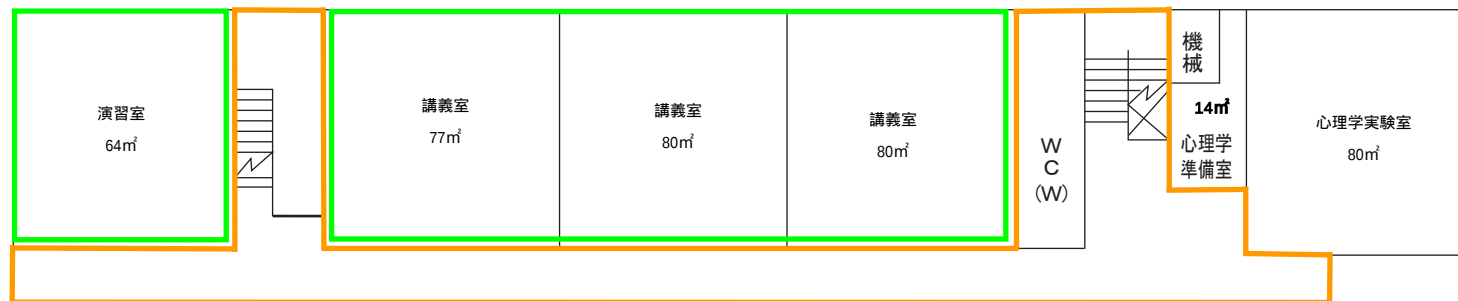
3号館2階



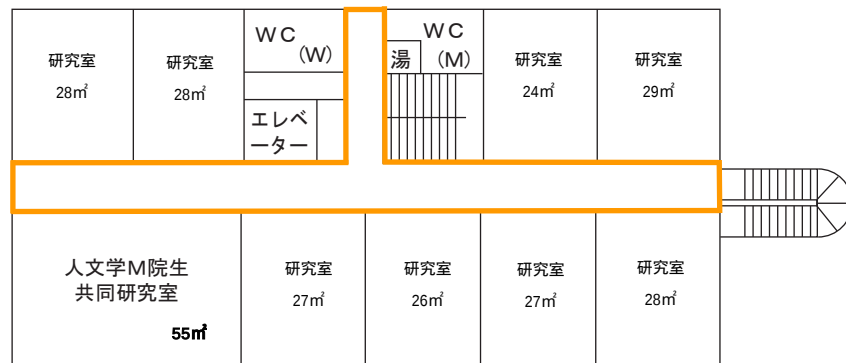
3号館3階



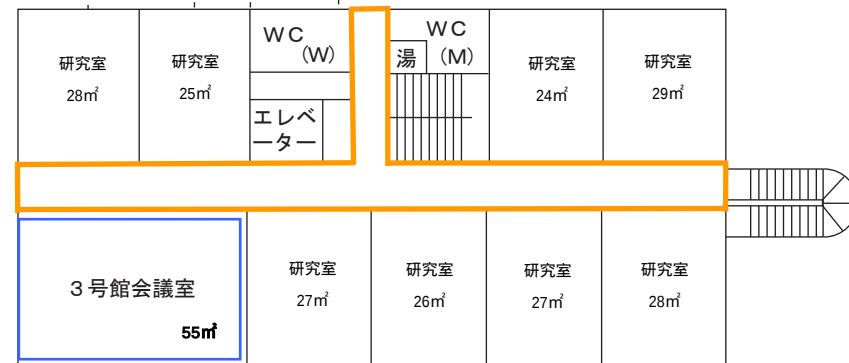
3号館4階、5階



4 F



5 F



4 F

金沢学院大学学則（案）

施 行 昭和61年4月1日

第1章 総則

（目的）

第1条 金沢学院大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法に従い、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的応用能力及び道徳的教養を豊かにして、建学の精神、愛と理性の伸長を指標に、人格を陶冶し、創造性と実行力により文化日本の建設に貢献し、進んで世界の平和と人類の福祉に奉仕する有為な人材を育成することを目的とする。

2 前項が示す人材の育成のために、教育理念として掲げる「創造」のもとに、教育の具体化を図るとともに、以下の第2条が規定する各学部・学科、大学院等が養成する具体的人材像について、各学部規程、大学院学則等で定めるものとする。

第2章 学部、学科、大学院等

（学部、学科及び収容定員）

第2条 本学に文学部、教育学部、経済学部、芸術学部、スポーツ科学部、栄養学部、及び情報工学部を置く。

2 学部に属する学科及び収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文 学 部	文 学 科	170	8	696
	日本文学専攻	[55]		
	英米文学専攻	[30]		
	歴史学・考古学専攻	[45]		
	心理学専攻	[40]		
教 育 学 部	教 育 学 科	70	5	290
経 済 学 部	経 済 学 科	140	5	570
	経 営 学 科	90	5	370
芸 術 学 部	芸 術 学 科	80	7	334
ス ポ ー ツ 科 学 部	ス ポ ー ツ 科 学 科	180	10	740
栄 養 学 部	栄 養 学 科	80	5	330
情 報 工 学 部	情 報 工 学 科	100	—	400
計		910	45	3,730

（基礎教育機構）

第2条の2 前条第1項の定めのほか、本学に全学的教育を行う基礎教育機構を置く。

(大学院)

第2条の3 本学に大学院を置く。

2 大学院に次の研究科を置く。

経営情報学研究科

人文学研究科

スポーツ健康学研究科

3 大学院に関する学則は、別に定める。

(専攻科)

第2条の4 本学に次の専攻科を置く。

美術文化専攻科 美術工芸専攻・メディアデザイン専攻

2 専攻科に関する規則は、別に定める。

(修業年限・在学年数)

第3条 本学の修業年限は、4年とする。

2 学生は、8年を超えて在学することができない。ただし、第12条第1項により入学した学生は、同条第2項により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

第3章 学年、学期及び休業日

(学年)

第4条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第5条 学年を、次の2学期4クォーターに分ける。

学期	クォーター	期 間
前期	1クォーター	4月1日から9月30日までの間で別に定める。
	2クォーター	
後期	3クォーター	10月1日から翌年3月31日までの間で別に定める。
	4クォーター	

2 前項の学期の開始日及び終了日については、学長は臨時に変更することができる。

3 各学期の授業実施日等は、別に定める学年暦による。

(年間授業期間)

第5条の2 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週とする。

(休業日)

第6条 休業日は次のとおりとする。

日曜日及び土曜日

国民の祝日に関する法律に定める休日

学年暦により定める夏季休業日、冬季休業日及び春季休業日

2 学長は休業日の追加及び変更を行うことができる。

3 休業日であっても、必要に応じて授業を行うことがある。

第4章 入学、退学、休学、復学、転学、除籍等

(入学期)

第7条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

第8条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一つに該当する者でなければならない。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

(入学の出願)

第9条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に入学検定料を添えて提出しなければならない。提出の時期、方法、提出すべき書類等については別に定める。

(入学者の選考)

第10条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

(入学手続・入学許可)

第11条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに保証人連署の誓約書及び学生指導資料を提出するとともに、所定の入学金その他の学納金を納入しなければならない。

2 保証人のうち1名は学生の保護者とし、他の1名は独立の生計を営む者を充てなければならない。保証人は学生の在学中の一切の責任を負うものとする。保証人の身分、住所等に異動が生じたときは、直ちに届け出なければならない。

3 学長は、第1項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(再入学・編入学・転入学)

第12条 次の各号の一つに該当する者で本学に再入学、編入学又は転入学を志願する者があるときは、選考のうえ相当年次に入学を許可することがある。

- (1) 大学を卒業した者又は退学した者
- (2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすもの）を修了した者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
- (4) 学則第13条により退学した者で再び入学を志願する者

2 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取扱い、並びに在学すべき年数については、当該学部の教授会の議を経て、学長が決定する。

(退学)

第13条 退学しようとする者は、保証人連署のうえ願い出て、学長の許可を得なければならない。

(休学)

第14条 疾病その他やむを得ない事由により、3ヵ月以上修学することができない者は、学長の許可を得て休学することができる。ただし、疾病の場合は医師の診断書、その他の場合は詳細な事由書を添えるものとする。

2 疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(休学の期間)

第15条 休学の期間は1年を超えることができない。ただし、特別の事由がある場合は、引き続き更に1年延長することができる。

2 休学の期間は、通算して4年を超えることができない。

3 休学の期間は、第3条の在学年数に算入しない。

(復学)

第16条 休学期間中にその事由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。ただし、復学の時期は各学期の始めとする。

2 疾病による休学の場合は、医師の診断書を添えるものとする。

(転学部・転学科・転専攻)

第17条 本学の学生で、在学する学部から本学の他の学部の学科・専攻への転学部、又は同一学部の他の学科・専攻への転学科・転専攻を志願する者があるときは、選考のうえ、学長は許可することがある。

2 転学部・転学科・転専攻について必要な事項は、別に定める。

(転学)

第18条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を得なければならない。

(除籍)

第19条 次の各号の一つに該当する者は、学長が除籍する。

(1) 第3条第2項に定める在学年数を超えた者

(2) 第15条第2項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者

(3) 授業料の納入を怠り、督促してもなお納入しない者

(4) 死亡又は長期間にわたり行方不明の者

第5章 教育課程及び履修方法

(教育課程の編成方針)

第20条 本学は、学部及び学科又は課程等の教育目的達成のために、必要授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。

2 教育課程編成に当たっては、学部等の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮するものとする。

(教育課程の編成方法)

第21条 教育課程は、各授業科目を必修科目及び選択科目に分け、これを各年次に配当して編成する。

2 前項に定めるほか、本学では教職に関する科目及び学芸員に関する科目並びに司書に関する科目を開設する。

3 各学部で開設する授業科目の名称及び単位数は、別表第1、別表第2、別表第3、別表第4、別表第5、別表第6、別表第7及び別表第8のとおりとする。

(単位の計算方法)

第22条 各授業科目に対する単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを基準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験・実習及び実技等については、30時間の授業をもって1単位とする。

ただし、栄養学科の実験・実習については、45時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作については、これらに必要な学修を考慮して単位数を定めるものとする。

(単位の授与)

第23条 本学は、前条に基づき授業科目を履修し、その試験等に合格した者には、所定の単位を与えるものとする。

(学修の評価)

第24条 授業科目の単位修得の評価は、試験及び平素の履修状況により行う。

2 前項の評価は、秀、優、良、可、不可をもって表し、可以上を合格とし、不可を不合格とする。

(教育内容の点検・改善等)

第24条の2 本学は、教育内容及び方法の改善を図るために、自ら点検・評価を行うとともに、組織的な研修及び研究を実施するものとする。

(他大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第25条 本学が教育上有益と認めるときは、本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学において修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

(大学以外の教育施設における学修)

第26条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、大学の定めるところにより単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(本大学における他学部の学修)

第26条の2 学生は、許可を受けて、在籍する学部以外の学部で授業科目を履修することができる。

2 前項により履修した授業科目の修得単位は、当該学部の卒業要件単位数として認定することができる。その限度は、別に定める。

3 前2項及び第25条、第26条により認定、修得したとみなす単位数は、全てを合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第27条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学へ入学後、本学において修得したものとみなすことができる。

2 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし単位を与えることができる。

3 前2項により与えることができる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第25条第1項及び第2項並びに前条第1項により、本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(その他)

第27条の2 この章に定めるもののほか、授業科目の配当年次及び時間数並びに履修方法については、各学部で定める。

第6章 卒業及び進級の要件等

(卒業の要件)

第28条 本学を卒業するには、本学に4年以上在学し、別表第1、別表第2、別表第3、別表第4、別表第5、別表第6、及び別表第7に定める授業科目及び単位数を修得しなければならない。

2 前項の定める卒業の要件を満たしている場合であっても、願出により、半年あるいは1年間の期間を設けて、その卒業認定を留保することができる。

(進級の要件)

第28条の2 進級の要件については、別に定める。

(卒業証書)

第29条 本学所定の課程を修めた者を卒業とし、卒業証書を授与する。

(学位記)

第30条 前条の卒業者には、次の区分に従い、学士の学位を授与する。

文学部	文学科	学士（文学）
教育学部	教育学科	学士（教育学）
経済学部	経済学科	学士（経済学）
	経営学科	学士（経営学）
芸術学部	芸術学科	学士（芸術学）
スポーツ科学部	スポーツ科学科	学士（スポーツ科学）
栄養学部	栄養学科	学士（栄養学）
情報工学部	情報工学科	学士（工学）

2 学位の授与に関し必要な事項は、別に定める。

(資格の取得)

第31条 本学において取得できる教育職員免許状及び資格は次のとおりとする。

学 科	取得できる教育職員免許状の種類、教科		資 格
文 学 科			
日本文学専攻	中学校教諭一種免許状	国語	学芸員、司書
英米文学専攻	高等学校教諭一種免許状	英語	
歴史学・考古学専攻	中学校教諭一種免許状	社会	
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史	
心理学専攻			
教 育 学 科	幼稚園教諭一種免許状		保育士
	小学校教諭一種免許状		
	中学校教諭一種免許状	英語	
経 済 学 科	高等学校教諭一種免許状	公民	
経 営 学 科	高等学校教諭一種免許状	商業	
芸 術 学 科	中学校教諭一種免許状	美術	学芸員
	高等学校教諭一種免許状		
	高等学校教諭一種免許状	工芸	
ス ポ ー ツ 科 学 科	中学校教諭一種免許状	保健体育	
	高等学校教諭一種免許状		
栄 養 学 科	栄養教諭一種免許状		栄養士
情 報 工 学 科	中学校教諭一種免許状	数学	
	高等学校教諭一種免許状		
	高等学校教諭一種免許状	情報	

- 2 教育職員免許状(教諭)を取得しようとする者は、第28条に規定するもののほか、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に基づく所定の単位を修得しなければならない。
- 3 教育職員免許状（栄養教諭）を取得しようとする者は、第28条に規定するもののほか、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に基づく所定の単位を修得し、かつ管理栄養士養成施設の課程を修了し、栄養士免許を受けていなければならない。
- 4 学芸員の資格を取得しようとする者は、第28条に規定するもののほか、博物館法施行規則（昭和30年文部省令第24号）に基づく所定の単位を修得しなければならない。
- 5 司書の資格を取得しようとする者は、第28条に規定するもののほか、図書館法施行規則（昭和25年文部省令第27号）に基づく所定の単位を修得しなければならない。
- 6 栄養士免許を取得しようとする者は、第28条に規定するもののほか、栄養士法（昭和22年法律第245号）及び栄養士法施行規則（昭和23年1月16日厚生省令第2号）に基づく所定の単位を修得しなければならない。
- 7 栄養士法（昭和22年法律第245号）第5条の3第4号の規定に基づく管理栄養士国家試験の受験資格を取得しようとする者は、栄養学科に在籍し、栄養士法施行令（昭和28年政令第231号）及び管理栄養士学校指定校指定規則（昭和41年文部省・厚生省令第2号）に基づく所定の単位を修得しなければならない。
- 8 保育士の資格を取得しようとする者は、第28条に規定するもののほか、児童福祉法施行規則（昭和23年厚生省令第11号）に基づく所定の単位を取得しなければならない。

第7章 入学検定料及び学納金

（入学検定料・学納金）

第32条 入学検定料及び学納金は、別表第9のとおりとする。

（学納金の納入）

第33条 学納金は、次の期日までに納入しなければならない。ただし、入学手続き時の学納金の納入については、別に定める。

（1） 前期 4月25日（金融機関が休業日の場合は翌営業日）

（2） 後期 10月25日（金融機関が休業日の場合は翌営業日）

2 経済的な理由により、前項の期日までに学納金の納入が困難な者は、その期日までに保証人連署の上、延納・分納願を提出し、許可を得なければならない。

3 延納・分納の許可を得た者の納入期限は次のとおりとする。

（1） 前期 9月末日

（2） 後期 2月末日

4 前項の納入期限までに学納金の納入が困難な者は、延納・分納願の再提出により、さらに延納・分納を認められる場合がある。ただし、その場合の最終期限は卒業年度の2月末日までとする。

（退学・転学・除籍及び停学の場合の学納金）

第34条 学期の途中で退学若しくは転学した者、又は除籍された者の当該期分の学納金は徴収する。

2 停学期間中の学納金は徴収する。

（休学の場合の学納金）

第35条 休学した者については、休学期間中の学納金は免除する。

（学年の途中で卒業する場合の学納金）

第36条 学年の途中で卒業する見込みの者の当該期分の学納金は徴収する。

(学納金の返還等)

第37条 既に納入された学納金は返還しない。ただし、入学手続き時の学納金については、所定の期間内に入学辞退の申し出のあった者に限り、入学金以外の学納金を返還する。

第8章 教職員組織

(教職員)

第38条 本学に学長、研究科長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員を置く。

第39条 前条のほか、副学長、技術職員その他必要な教職員を置くことができる。

第9章 教学審議会及び教授会

(教学審議会)

第39条の2 本学に、本学の教学に関する重要事項を審議するため、教学審議会を置く。

第39条の3 教学審議会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長及び当職に準ずる者
- (3) 研究科長
- (4) 各学部長
- (5) 基礎教育機構長（以下「機構長」という。）
- (6) 各学部学科長
- (7) その他学長が特に必要と認めた者若干名

第39条の4 教学審議会は、次の事項を審議し、学長に意見を述べることができる。

- (1) 学則その他の教学上の重要な規程の制定改廃の立案に関する事項
- (2) 学部、学科その他の教学上重要な施設の設置廃止の計画に関する事項
- (3) 学部その他教学上の附属施設間の連絡調整に関する事項
- (4) 理事長の諮問に対する答申案に関する事項
- (5) 教育課程に関する事項
- (6) その他教育研究に関する事項

第39条の5 学長は、教学審議会を招集し、その議長となる。

2 学長に事故があるときは、副学長又は研究科長若しくは学部長がその職務を代行する。

3 教学審議会が必要と認めたときは、第39条の3各号に掲げる者以外の教職員の出席を求めて意見を聴くことができる。

第39条の6 教学審議会は、構成員の3分の2以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

2 議事は、出席構成員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第39条の7 教学審議会について必要な事項は、別に定める。

(教授会)

第40条 学部及び基礎教育機構（以下「学部等」という。）に、それぞれの学部等の重要事項を審議するため、教授会を置く。

第41条 教授会は、それぞれの学部等の教授をもって組織する。

2 前項の規定にかかわらず、学部長又は機構長が必要と認めた場合は、教授会にそれぞれの学部等の准教授、専任講師及び助教を加えることができる。

第42条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業等学生の身分に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) 学生の賞罰に関する事項
- (4) その他学長から諮問された事項

2 教授会は、前項に規定するもののほか、教育研究に関わる次の事項を審議し、学長に意見を述べることができる。

- (1) 学部規程等の制定改廃に関する事項
- (2) 教育研究に関する事項
- (3) 教育課程に関する事項
- (4) 学生の退学、転学、休学、復学、再入学、除籍等学生の身分に関する事項
- (5) 学生の試験に関する事項
- (6) 学生の厚生補導に関する事項
- (7) 教員の研究業績審査に関する事項
- (8) 当該学部及び基礎教育機構の委員会等の選任に関する事項
- (9) その他、研究及び教育に関する事項

第43条 教授会について必要な事項は、それぞれの学部等で定める。

第10章 科目等履修生及び外国人留学生

(科目等履修生)

第44条 本学は、別に定めるところにより、本学の学生以外の者で1又は複数の授業科目を履修する者（以下「科目等履修生」という。）に対し、単位を与えることができる。

- 2 科目等履修生に対する単位の授与については、第23条の規定を準用する。
- 3 科目等履修生に関する事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第45条 外国人で、本学に入学を志願する者については、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可することがある。

- 2 外国人留学生に関する事項は、別に定める。

第11章 賞罰

(表彰)

第46条 学生として表彰に値する行為があった者は、教授会及び教学審議会の議を経て学長が表彰することがある。

(懲戒)

第47条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会及び教学審議会の議を経て学長が懲戒する。

- 2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。
- 3 前項の退学は次の各号の一つに該当する学生に対して行う。
 - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - (2) 正当な理由がなく出席が常でない者
 - (3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第12章 附属施設

(図書館)

第48条 本学に図書館を置く。

2 図書館に関する規程は別に定める。

(研修センター)

第49条 本学に研修センターを置く。

2 研修センターに関する規程は別に定める。

附 則

この学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則 (平成2年3月26日改正)

この学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則 (平成2年12月21日改正)

この学則は、平成3年4月1日から施行する。ただし、学生の入学定員は第2条第2項の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間は、文学部日本文学科入学定員100人、文学部英米文学科入学定員100人とする。

附 則 (平成3年3月22日改正)

この学則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則 (平成4年3月10日改正)

この学則は、平成4年4月1日から施行する。

ただし、1. 第30条は平成4年3月10日から施行する。

2. 平成元年度及び平成2年度入学生については、第28条の規定にかかわらず卒業認定単位数は124単位とする。

附 則 (平成4年3月31日改正)

この学則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則 (平成6年8月23日改正)

1 この学則は、平成6年10月1日から施行する。

2 平成6年9月30日に在学する者に係る授業料の額は、改正後の別表第2にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (平成7年1月17日改正)

1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。

2 平成7年3月31日以前の入学者の教育課程の編成方法、単位の計算方法、授業科目の配当年次及びその時間数並びに履修方法並びに卒業の要件については、改正後の学則第21条、第22条第1項、第27条の2及び第28条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成7年度から平成14年度までは次のとおりとする。

学部学科	年度	平成7年度			平成8年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 員 定	編入学 員 定	総定員	入 学 員 定	編入学 員 定	総定員
文学部	日 本 文 学 科	100		400	100		400
	英 米 文 学 科	100		400	100		400
経営情報学部	経 営 情 報 学 科	200		200	175		375
	産 業 情 報 学 科	200		200	175		375
計		600		1,200	550		1,550

学部学科	年度	平成9年度			平成10年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 員 定	編入学 員 定	総定員	入 学 員 定	編入学 員 定	総定員
文学部	日 本 文 学 科	100		400	100		400
	英 米 文 学 科	100		400	100		400
経営情報学部	経 営 情 報 学 科	175	5	555	175	5	735
	産 業 情 報 学 科	175	5	555	175	5	735
計		550	10	1,910	550	10	2,270

学部学科	年度	平成11年度			平成12年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 員 定	編入学 員 定	総定員	入 学 員 定	編入学 員 定	総定員
文学部	日 本 文 学 科	100		400	70		370
	英 米 文 学 科	100		400	70		370
経営情報学部	経 営 情 報 学 科	175	5	710	125	5	660
	産 業 情 報 学 科	175	5	710	125	5	660
計		550	10	2,220	390	10	2,060

学部学科	年度	平成13年度			平成14年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 員 定	編入学 員 定	総定員	入 学 員 定	編入学 員 定	総定員
文学部	日 本 文 学 科	70		340	70		310
	英 米 文 学 科	70		340	70		310
経営情報学部	経 営 情 報 学 科	125	5	610	125	5	560
	産 業 情 報 学 科	125	5	610	125	5	560
計		390	10	1,900	390	10	1,740

附 則（平成7年8月23日改正）

- 1 この学則は、平成7年10月1日から施行する。
- 2 平成7年9月30日に在学する者に係る授業料、施設充実費及び実験実習費の額は、改正後の別表第2にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成8年3月27日改正）

- 1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成8年度から平成14年度までは次のとおりとする。

学部学科	年度	平成8年度			平成9年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 員 入 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 員 入 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	日 本 文 学 科	100	10	410	100	10	420
	英 米 文 学 科	100	10	410	100	10	420
経営情報学部	経 営 情 報 学 科	200		400	200	5	605
	産 業 情 報 学 科	200		400	200	5	605
計		600	20	1,620	600	30	2,050

学部学科	年度	平成10年度			平成11年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 員 入 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 員 入 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	日 本 文 学 科	100	10	420	100	10	420
	英 米 文 学 科	100	10	420	100	10	420
経営情報学部	経 営 情 報 学 科	200	5	810	200	5	810
	産 業 情 報 学 科	200	5	810	200	5	810
計		600	30	2,460	600	30	2,460

学部学科	年度	平成12年度			平成13年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 員 入 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 員 入 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	日 本 文 学 科	70	10	390	70	10	360
	英 米 文 学 科	70	10	390	70	10	360
経営情報学部	経 営 情 報 学 科	125	5	735	125	5	660
	産 業 情 報 学 科	125	5	735	125	5	660
計		390	30	2,250	390	30	2,040

学部学科	年度	平成14年度		
		収 容 定 員		
		入 学 員 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	日 本 文 学 科	70	10	330
	英 米 文 学 科	70	10	330
経営情報学部	経 営 情 報 学 科	125	5	585
	産 業 情 報 学 科	125	5	585
計		390	30	1,830

附 則（平成9年3月12日改正）

この学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則（平成10年1月13日改正）

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則（平成11年3月26日改正）

- 1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 平成10年度以前の入学者については、改正後の別表第1から別表第3にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成12年3月24日改正）

- 1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 平成12年3月31日現在、英米文学科に在学の学生は、改正後の学則第2条第2項、学則第31条第1項の規定及び別表第1の定めにかかわらず、なお従前の例による。
- 3 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成12年度から平成19年度までは、文学部日本文学科においては、次のとおりとする。

学部学科	年度	平成12年度			平成13年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 員 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 員 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	日 本 文 学 科	82	10	402	79	10	381

学部学科	年度	平成14年度			平成15年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 員 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 員 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	日 本 文 学 科	76	10	357	73	10	330

	年度	平成16年度			平成17年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 員 入 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 員 入 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	日 本 文 学 科	70	10	318	70	10	309

	年度	平成18年度			平成19年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 員 入 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 員 入 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	日 本 文 学 科	70	10	303	70	10	300

附 則（平成13年 3 月29日改正）

- 1 この学則は、平成13年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成14年 3 月27日改正）

- 1 この学則は、平成14年 4 月 1 日から施行する。
- 2 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第 2 条第 2 項の規定にかかわらず、平成14年度から平成17年度までは、文学部日本文学科においては、次のとおりとする。

	年度	平成14年度			平成15年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 員 入 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 員 入 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	日 本 文 学 科	60	10	341	60	10	301

	年度	平成16年度			平成17年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 員 入 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 員 入 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	日 本 文 学 科	60	10	279	60	10	260

附 則（平成15年 3 月27日改正）

この学則は、平成15年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成16年 3 月31日改正）

- 1 この学則は、平成16年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成16年 3 月31日現在、産業情報学科に在学の学生は、改正後の学則第 2 条第 2 項及び別表第 2 の定めにかかわらず、なお従前の例による。
- 3 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第 2 条第 2 項の規定にかかわらず、平成16年度から平成19年度までは、経営情報学部産業情報学科においては、次のとおりとする。

学 部 学 科		平成16年度			平成17年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
経営情報 学部	産業情報 学科	0	5	210	0	5	130

学 部 学 科		平成18年度			平成19年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
経営情報 学部	産業情報 学科	0	0	65	0	0	0

附 則（平成17年 3 月19日改正）

この学則は、平成17年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成17年 7 月15日改正）

- この学則は、平成18年 4 月 1 日から施行する。
- 平成18年 3 月31日現在、経営情報学部経営情報学科、ネットワークビジネス学科に在籍する学生は、改正後の学則第 2 条第 2 項、学則第21条第 3 項、学則第32条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第 2 条第 2 項の規定にかかわらず、平成18年度から平成21年度までは、経営情報学部経営情報学科及びネットワークビジネス学科においては、次のとおりとする。

学 部 学 科		平成18年度			平成19年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
経営情報 学部	経営情報学科	0	10	495	0	10	380
	ネットワークビジネス 学科	0	0	300	0	0	200

学 部 学 科		平成20年度			平成21年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
経営情報 学部	経営情報学科	0	10	190	0	0	0
	ネットワークビジネス 学科	0	0	100	0	0	0

附 則（平成18年 3 月30日改正）

この学則は、平成18年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成18年10月19日改正）

この学則は、平成19年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成19年 3 月28日改正）

- この学則は、平成19年 4 月 1 日から施行する。

- 2 平成19年3月31日現在、文学部日本文学科、国際文化学科に在学の学生は、改正後の別表第1の定めに関わらず、なお従前の例による。

附 則（平成20年1月24日改正）

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年3月31日現在、文学部日本文学科並びに美術文化学部在籍する学生は、改正後の別表第1、別表第3の定めに関わらず、なお従前の例による。

附 則（平成20年4月16日改正）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日現在、経営情報学部経営・会計学科及びスポーツビジネス学科に在籍する学生は、改正後の学則第2条第2項、学則第32条、経営・会計学科に在籍する学生は、学則第21条第3項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成21年度から平成24年度までは、経営情報学部経営・会計学科及びスポーツビジネス学科においては、次のとおりとする。

学 部 学 科		平成21年度			平成22年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
経営情報 学部	経営・会計学科	0	10	320	0	10	220
	スポーツビジネス学科	85	0	310	85	0	320

学 部 学 科		平成23年度			平成24年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
経営情報 学部	経営・会計学科	0	0	110	0	0	0
	スポーツビジネス学科	85	0	330	85	0	340

附 則（平成21年3月25日改正）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日現在、文学部、経営情報学部在籍する学生は、改正後の別表第5の定めに関わらず、なお従前の例による。
- 3 平成21年3月31日現在、美術文化学部在籍する学生は、改正後の別表第3、別表第5の定めに関わらず、なお従前の例による。

附 則（平成21年5月28日改正）

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成22年3月31日現在、美術文化学部情報デザイン学科に在籍する学生は、改正後の学則第2条第2項、第30条、第31条、別表第3、別表第5の定めに関わらず、なお従前の例による。

附 則（平成21年10月22日改正）

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成22年3月24日改正）

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。

- 2 平成22年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第31条、別表第1、別表第2及び別表第4の定めに関わらず、なお従前の例による。

附 則（平成23年3月29日改正）

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第2条、第21条、第30条、第31条、第32条及び別表第1～別表第6の定めに関わらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月29日改正）

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の別表第1、別表第3及び別表第5の定めに関わらず、なお従前の例による。ただし、改正後の別表第4については、平成23年度入学者より適用する。

附 則（平成24年5月29日改正）

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成25年度から平成28年度までは、文学部日本文学科、国際文化学科及び歴史文化学科においては、次のとおりとする。

学 部 学 科		年度	平成25年度			平成26年度		
			収 容 定 員			収 容 定 員		
			入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	日本文学科		50	10	235	50	10	230
	国際文化学科		35	10	190	35	10	180
	歴史文化学科		50	0	120	50	0	170

学 部 学 科		年度	平成27年度			平成28年度		
			収 容 定 員			収 容 定 員		
			入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	日本文学科		50	10	225	50	10	220
	国際文化学科		35	10	170	35	10	160
	歴史文化学科		50	0	185	50	0	200

附 則（平成25年3月14日改正）

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成25年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第2条第2項、第30条、第31条、別表第2及び別表第3の定めに関わらず、なお従前の例による。

附 則（平成26年3月26日改正）

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成26年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第24条第2項、第28条の2、別表第3及び別表第5の定めに関わらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年3月31日改正）

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。

- 2 平成27年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第2条第2項、第17条、第31条第1項、別表第1、別表第2、別表第3、別表第4、別表第5及び別表第6の定めに関わらず、なお従前の例による。
- 3 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成27年度から平成30年度までは、文学部、経営情報学部経営システム学科、スポーツ健康学部においては、次のとおりとする。

学 部 学 科		平成 2 7 年度			平成 2 8 年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	文学科	130	0	130	130	0	260
	日本文学科	0	10	175	0	10	120
	国際文化学科	0	10	135	0	10	90
	歴史文化学科	0	0	135	0	0	100
経営情報学部	経営システム学科	70	0	295	70	0	290
スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	100	0	370	100	0	380

学 部 学 科		平成 2 9 年度			平成 3 0 年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	文学科	130	20	410	130	20	560
	日本文学科	0	0	60	0	0	0
	国際文化学科	0	0	45	0	0	0
	歴史文化学科	0	0	50	0	0	0
経営情報学部	経営システム学科	70	0	285	70	0	280
スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	100	0	390	100	0	400

附 則（平成28年3月24日改正）

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第2条第2項、第17条、第31条第1項、別表第1、別表第2、別表第3、別表第4、別表第5及び別表第6の定めに関わらず、なお従前の例による。
- 3 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成28年度から平成31年度までは、経営情報学部、芸術学部、美術文化学部においては、次のとおりとする。

学 部 学 科		年度	平成28年度			平成29年度		
			収 容 定 員			収 容 定 員		
			入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
経営情報学部	経営情報学科		160	0	160	160	0	320
	経営ビジネス学科		0	10	290	0	10	200
	経営システム学科		0	0	220	0	0	145
芸術学部	芸術学科		70	0	70	70	0	140
美術文化学部	美術学科		0	0	90	0	0	60
	メディアデザイン学科		0	0	120	0	0	80

学 部 学 科		年度	平成30年度			平成31年度		
			収 容 定 員			収 容 定 員		
			入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
経営情報学部	経営情報学科		160	10	490	160	10	660
	経営ビジネス学科		0	0	100	0	0	0
	経営システム学科		0	0	70	0	0	0
芸術学部	芸術学科		70	0	210	70	0	280
美術文化学部	美術学科		0	0	30	0	0	0
	メディアデザイン学科		0	0	40	0	0	0

附 則（平成29年 3 月31日改正）

- この学則は、平成29年 4 月1日から施行する。
- 平成29年 3 月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第 2 条第 2 項、第31条第 1 項、別表第 1 及び別表第 6 の定めにかかわらず、なお従前の例による。
- 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成29年度から平成32年度までは、文学部文学科、人間健康学部スポーツ健康学科においては、次のとおりとする。

学 部 学 科		年度	平成29年度			平成30年度		
			収 容 定 員			収 容 定 員		
			入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	文学科		130	10	400	130	10	540
人間健康学部	スポーツ健康学科		120	10	420	120	10	460

学 部 学 科		平成31年度			平成32年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	文学科	130	10	540	130	10	540
人間健康学部	スポーツ健康学科	120	10	480	120	10	500

附 則（平成30年 3 月27日改正）

- 1 この学則は、平成30年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成30年 3 月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第 2 条第 2 項、第30条第 1 項、第31条第 1 項、第 8 項、別表第 1、別表第 4 及び別表第 6 の定めにかかわらず、なお従前の例による。
- 3 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第 2 条第 2 項の規定にかかわらず、平成30年度から平成33年度までは、文学部文学科、経営情報学部経営情報学科においては、次のとおりとする。

学 部 学 科		平成30年度			平成31年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	文学科	150	10	560	150	10	580
経営情報学部	経営情報学科	180	10	680	180	10	700

学 部 学 科		平成32年度			平成33年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	文学科	150	10	600	150	10	620
経営情報学部	経営情報学科	180	10	720	180	10	740

附 則（平成 3 1 年 3 月 2 6 日改正）

- 1 この学則は、平成 3 1 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の別表第 1、別表第 2、別表第 4 及び別表第 5 の定めに関わらず、なお従前の例による。

附 則（令和 2 年 3 月 2 5 日改正）

- 1 この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 2 年 3 月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第 2 条第 2 項、第30条第1項、第31条第 1 項、別表第 2 及び別表第 7 の定めにかかわらず、なお従前の例による。
- 3 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第 2 条第 2 項の規定にかかわらず、令和 2 年度から令和 5 年度までは、経済学部経済学科及び経営学科、経済情報学部並びに経営情報学部においては次のとおりとする。

学 部 学 科		令和 2 年度			令和 3 年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	教育学科	70	5	275	70	5	350
経済学部	経済学科	80	5	80	90	5	170
	経営学科	60	5	60	90	5	150
経済情報学部	経済情報学科	70		70	70		140
経営情報学部	経営情報学科	0	10	540	0	10	380

学 部 学 科		令和 4 年度			令和 5 年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	教育学科	70	5	320	70	5	290
経済学部	経済学科	90	5	265	90	5	360
	経営学科	90	5	245	90	5	340
経済情報学部	経済情報学科	70		210	70		280
経営情報学部	経営情報学科	0	10	190	0	0	0

附 則（令和 3 年 3 月 2 4 日改正）

- この学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 令和 3 年 3 月 3 1 日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第 2 条、第 1 1 条、第 2 1 条第 3 項、第 2 8 条第 1 項、第 3 0 条第 1 項、第 3 1 条第 1 項、第 3 2 条、第 3 9 条第 4 項、別表第 1、別表第 5、別表第 6、別表第 7 及び別表第 8 の定めにかかわらず、なお従前の例による。
- 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第 2 条第 2 項の規定にかかわらず、令和 3 年度から令和 6 年度までは、文学部、芸術学部、スポーツ科学部、栄養学部、人間健康学部スポーツ健康学科及び健康栄養学科においては次のとおりとする。

学 部 学 科		令和 3 年度			令和 4 年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	文学科	180	8	648	180	8	676
芸術学部	芸術学科	70	2	282	70	2	284
スポーツ科学部	スポーツ科学科	150		150	150		300
栄養学部	栄養学科	80		80	80		160
人間健康学部	スポーツ健康学科	0	10	380	0	10	260
	健康栄養学科	0	5	250	0	5	170

学 部 学 科		令和 5 年度			令和 6 年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	文学科	180	8	706	180	8	736
芸術学部	芸術学科	70	2	284	70	2	284
スポーツ科学部	スポーツ科学科	150	10	460	150	10	620
栄養学部	栄養学科	80	5	245	80	5	330
人間健康学部	スポーツ健康学科	0	0	130	0	0	0
	健康栄養学科	0	0	85	0	0	0

附 則（令和 4 年 3 月 2 4 日改正）

- この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 令和 4 年 3 月 3 1 日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第 2 条、第 2 1 条第 3 項、第 2 8 条第 1 項、第 3 0 条第 1 項、第 3 2 条、別表第 1、別表第 2、別表第 3 及び別表第 8 の定めにかかわらず、なお従前の例による。
- 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第 2 条第 2 項の規定にかかわらず、令和 4 年度から令和 7 年度までは、教育学部、経済学部、文学部教育学科においては次のとおりとする。

学 部 学 科		令和 4 年度			令和 5 年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
教育学部	教育学科	70		70	70		140
経済学部	経済学科	110	5	275	110	5	390
	経営学科	70	5	195	70	5	270
文学部	教育学科	0	5	250	0	5	150

学 部 学 科		令和 6 年度			令和 7 年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
教育学部	教育学科	70	5	215	70	5	290
経済学部	経済学科	110	5	420	110	5	450
	経営学科	70	5	280	70	5	290
文学部	教育学科	0	0	75	0	0	0

附 則（令和 5 年 3 月 3 1 日改正）

- この学則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

- 令和5年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第2条第2項、別表第1、別表第3、別表第4、別表第5、別表第6、別表第7、別表第8及び別表第9の定めにかかわらず、なお従前の例による。
- 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、令和5年度から令和8年度までは、芸術学部においては次のとおりとする。

学 部 学 科		令和5年度			令和6年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
芸術学部	芸術学科	80	7	299	80	7	314
学 部 学 科		令和7年度			令和8年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
芸術学部	芸術学科	80	7	324	80	7	334

附 則（令和6年3月27日改正）

- この学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 令和6年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第2条第2項、第23条、第30条第1項、第31条、別表第9の定めにかかわらず、なお従前の例による。また、別表第1、別表第2、別表第3、別表第4、別表第5、別表第6については適用できるものとする。
- 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、令和6年度から令和9年度までは、情報工学部、経済学部においては次のとおりとする。

学 部 学 科		令和6年度			令和7年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
経済学部	経済学科	160	5	470	160	5	550
	経営学科	90	5	300	90	5	330
情報工学部	情報工学科	100		100	100		200
学 部 学 科		令和8年度			令和9年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
経済学部	経済学科	160	5	600	160	5	650
	経営学科	90	5	350	90	5	370
情報工学部	情報工学科	100		300	100		400

附 則（令和7年3月31日改正）

- この学則は、令和7年4月1日から施行する。
- 令和7年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の別表第1、別表第2、別表第3、別表第4、別表第5、別表第6、別表第8については適用できるものとする。

附 則（令和 8 年 月 日改正）

- 1 この学則は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 8 年 3 月 3 1 日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第 2 条第 2 項の定めにかかわらず、なお従前の例による。
- 3 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第 2 条第 2 項の規定にかかわらず、令和 8 年度から令和 11 年度までは、文学部、経済学部、スポーツ科学部においては次のとおりとする。

学 部 学 科		令和 8 年度			令和 9 年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	文学科	170	8	726	170	8	716
経済学部	経済学科	140	5	580	140	5	610
	経営学科	90	5	350	90	5	370
スポーツ科学部	スポーツ科学科	180	10	650	180	10	680
学 部 学 科		令和 10 年度			令和 11 年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	文学科	170	8	706	170	8	696
経済学部	経済学科	140	5	590	140	5	570
	経営学科	90	5	370	90	5	370
スポーツ科学部	スポーツ科学科	180	10	710	180	10	740

別表第1 文学部教育課程

(1) 文学部教育課程

教養科目・外国語科目

授業科目		単位数		備考
		必修	選択	
教養科目	初年次教育	学 修 基 礎 I a	1	教養科目の必修科目から14単位、選択科目から16単位以上、第一外国語12単位、第二外国語科目から4単位以上、専門教育科目から82単位以上を修得しなければならない。 なお、年間の履修科目の登録の上限は原則48単位以内とする。
		学 修 基 礎 I b	1	
		学 修 基 礎 II a	1	
		学 修 基 礎 II b	1	
		コ ン ピ ュ ー タ 基 礎 演 習 I	2	
		コ ン ピ ュ ー タ 基 礎 演 習 II	2	
	一般教養	人 文 学 入 門 I	1	
		人 文 学 入 門 II	1	
		哲 学 I	2	
		哲 学 II	2	
		法 学 I	2	
		法 学 II (日本国憲法)	2	
		経 済 学 I	2	
		経 済 学 II	2	
		社 会 学 I	2	
		社 会 学 II	2	
		民 俗 学 I	2	
		民 俗 学 II	2	
		自 然 科 学 概 論 I	2	
		自 然 科 学 概 論 II	2	
		健 康 科 学	2	
		ス ポ ー ツ 科 学	2	
		金 沢 ま ち 学 I a	1	
		金 沢 ま ち 学 I b	1	
		金 沢 ま ち 学 II	2	
		コ ン ピ ュ ー タ 活 用 演 習 I	2	
		コ ン ピ ュ ー タ 活 用 演 習 II	2	

キャリア教育	F	S	P	講	座		2		
	キ	ャ	リ	ア	基	礎	2		
	キ	ャ	リ	ア	デ	ザ	2		
	キ	ャ	リ	ア	デ	ザ	2		
	キ	ャ	リ	ア	デ	ザ	2		
	キ	ャ	リ	ア	プ	ラ	2		
	キ	ャ	リ	ア	プ	ラ	2		
	就業体験（インターンシップ等）						1		
	地域貢献Ⅰ（ボランティア等）						1		
	地域貢献Ⅱ（ボランティア等）						1		
	計						14	49	
外国語科目	第一外国語	基	礎	英	語	I	2		
		基	礎	英	語	Ⅱ	2		
		English Communication I					2		
		English Communication Ⅱ					2		
		英語プレゼンテーション初級Ⅰ					2		
		英語プレゼンテーション初級Ⅱ					2		
	第二外国語	ド	イ	ツ	語	I		2	
		ド	イ	ツ	語	Ⅱ		2	
		フ	ラ	ン	ス	語	I	2	
		フ	ラ	ン	ス	語	Ⅱ	2	
		中				国	語	I	2
		中				国	語	Ⅱ	2
		朝				鮮	語	I	2
		朝				鮮	語	Ⅱ	2
	計						12	16	
合計						26	65		

専門教育科目

授業科目				単位数		
				必修	選択	
	必修	日本文学専攻	日本文学入門	2		専門教育科目から82単位以上を修得しなければならない。 ただし、専門教育科目において各専攻毎に定める必修科目または選択必修科目を修得しなければならない。
			日本文学概説Ⅰa	1		
			日本文学概説Ⅰb	1		
			日本文学概説Ⅱa	1		
			日本文学概説Ⅱb	1		
			日本語学概説Ⅰ	2		
			日本語学概説Ⅱ	2		
			日本文学史Ⅰ	2		
			日本文学史Ⅱ	2		
		英米文学専攻	英語学概論Ⅰ	2		日本文学専攻 専門必修科目14単位、学科共通専門必修科目12単位を含め、82単位以上を修得する。
			英米文学概論Ⅰ	2		
			English Presentation (Intermediate)Ⅰ	2		
			English Presentation (Intermediate)Ⅱ	2		
			World Culture through EnglishⅠ	2		
			World Culture through EnglishⅡ	2		
			Advanced EnglishⅠ	2		
			Advanced EnglishⅡ	2		英米文学専攻 専門必修科目16単位、学科共通専門必修科目12単位を含め、82単位以上を修得する
		心理学専攻	心理学概論A	2		
			心理学概論B	2		
			心理学統計法Ⅰ	2		歴史学・考古学専攻 専門選択必修科目12単位以上、学科共通専門必修科目12単位を含め、82単位以上を修得する。
			心理学統計法Ⅱ	2		
	選択必修	歴史学・考古学専攻	日本史概説Ⅰ		2	
			日本史概説Ⅱ		2	
			西洋史概説Ⅰ		2	心理学専攻 専門必修科目8単位、学科共通専門必修科目12単位を含め、82単位以上を修得する。
			西洋史概説Ⅱ		2	
			東洋史概説Ⅰ		2	
			東洋史概説Ⅱ		2	
			考古学概説Ⅰ		2	
			考古学概説Ⅱ		2	

専門科目	選択	日本文学専攻	日 本 語 表 現 法 I		2
			日 本 語 表 現 法 II		2
			現 代 文 章 論		2
			漢 文 学 講 読 I		2
			漢 文 学 講 読 II		2
			古 典 文 学 講 読 I		2
			古 典 文 学 講 読 II		2
			近・現代文学講読 A		2
			近・現代文学講読 B		2
			評 論 の 読 み 方		2
			日 本 語 教 育 学 I		2
			日 本 語 教 育 学 II		2
			地 域 と 文 学 a		1
			地 域 と 文 学 b		1
			現 代 文 章 実 践		2
			書 道 (書 写 実 習)		2
			古 典 文 学 演 習		4
			近・現代文学演習 A		4
			近・現代文学演習 B		4
			日 本 語 学 演 習		4
			日 本 語 教 授 法		2
			日 本 語 教 育 実 習		1
			社 会 言 語 学 I		2
			社 会 言 語 学 II		2
			日 本 語 史 概 説 I		2
			日 本 語 史 概 説 II		2
			創 作 入 門		2
			創 作 実 践		2
			日 本 語 文 法 I		2
			日 本 語 文 法 II		2
			島 清 恋 愛 文 学 講 座 I		2
			島 清 恋 愛 文 学 講 座 II		2
			島 清 恋 愛 文 学 講 座 III		2
			国 語 科 教 育 法 I		4
			国 語 科 教 育 法 II		4

專門科目	選 択	英米文学専攻	英 語 学 概 論 II		2
			英 米 文 学 概 論 II		2
			資 格 英 語 I		2
			資 格 英 語 II		2
			資 格 英 語 III		2
			言 語 習 得 研 究		2
			英 語 文 法 論		2
			英 語 学 講 読 I		2
			英 語 学 講 読 II		2
			英 米 文 学 講 読 I		2
			英 米 文 学 講 読 II		2
			英 米 文 化 論 I		2
			英 米 文 化 論 II		2
			Japanese Culture through English		2
			English Writing		2
			Academic Writing		2
			原 典 講 読 I		2
			原 典 講 読 II		2
			英 語 学 演 習 I		2
			英 語 学 演 習 II		2
			英 米 文 学 演 習 I		2
			英 米 文 学 演 習 II		2
			海 外 留 学		4
			英 語 科 教 育 法 I		4
			英 語 科 教 育 法 II		4

専門科目	選択	歴史学・考古学専攻	保存科学概説Ⅰ		2	自由科目で卒業要件とはならない
			保存科学概説Ⅱ		2	
			自然地理学概説Ⅰ		2	
			自然地理学概説Ⅱ		2	
			人文地理学概説Ⅰ		2	
			人文地理学概説Ⅱ		2	
			歴史学入門		2	
			地誌		2	
			古文書学演習Ⅰ		2	
			古文書学演習Ⅱ		2	
			文献資料研究法Ⅰ		2	
			文献資料研究法Ⅱ		2	
			日本経済史		2	
			古代・中世史演習Ⅰ		2	
			古代・中世史演習Ⅱ		2	
			近世史演習Ⅰ		2	
			近世史演習Ⅱ		2	
			近代史演習Ⅰ		2	
			近代史演習Ⅱ		2	
			東洋史文献講読Ⅰ		2	
			東洋史文献講読Ⅱ		2	
			東洋史演習Ⅰ		2	
			東洋史演習Ⅱ		2	
			西洋史文献講読Ⅰ		2	
			西洋史文献講読Ⅱ		2	
			西洋政治史		2	
			西洋史演習Ⅰ		2	
			西洋史演習Ⅱ		2	
			考古学演習Ⅰ		2	
			考古学演習Ⅱ		2	
			考古学実習Ⅰ		2	
			考古学実習Ⅱ		2	
			考古学特殊講義		2	
			文化財と自然科学		2	
			文化財の保護と活用		2	
			政治学概論		2	
			社会科・地歴科教育法		4	
			社会科・公民科教育法		4	

専門科目	選択	心理学専攻	学 習 ・ 言 語 心 理 学		2
			動 物 ・ 比 較 心 理 学		2
			知 覚 ・ 認 知 心 理 学		2
			神 経 ・ 生 理 心 理 学		2
			認 知 学 習 心 理 学 演 習 I		2
			認 知 学 習 心 理 学 演 習 II		2
			発 達 心 理 学		2
			感 情 ・ 人 格 心 理 学		2
			発 達 心 理 学 演 習 I		2
			発 達 心 理 学 演 習 II		2
			臨 床 心 理 学 概 論		2
			心 理 学 的 支 援 法		2
			健 康 ・ 医 療 心 理 学		2
			臨 床 心 理 学 演 習 I A		2
			臨 床 心 理 学 演 習 I B		2
			臨 床 心 理 学 演 習 II A		2
			臨 床 心 理 学 演 習 II B		2
			社 会 ・ 集 団 ・ 家 族 心 理 学		2
			産 業 ・ 組 織 心 理 学		2
			社 会 心 理 学 演 習 I		2
			社 会 心 理 学 演 習 II		2
			心 理 学 文 献 講 読		2
			心 理 学 研 究 法 I A		2
			心 理 学 研 究 法 I B		2
			心 理 学 研 究 法 II		2
			心 理 学 実 験 I A		2
			心 理 学 実 験 I B		2
			心 理 学 実 験 II		2
			心 理 演 習		2
			心 理 的 ア セ ス メ ン ト		2
			福 祉 心 理 学		2
			教 育 ・ 学 校 心 理 学		2
			障 害 者 ・ 障 害 児 心 理 学		2
			司 法 ・ 犯 罪 心 理 学		2
			人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 疾 病		2
			精 神 疾 患 と そ の 治 療		2
			関 係 行 政 論		1
			公 認 心 理 師 の 職 責		1

		心 理 実 習 I		2	
		心 理 実 習 II		2	
学 科 共 通 専 門		地 域 実 践 研 究 I		2	
		地 域 実 践 研 究 II		2	
		実 践 ビ ジ ネ ス 英 語 I		2	
		実 践 ビ ジ ネ ス 英 語 II		2	
		海 外 演 習 A		2	
		海 外 演 習 B		2	
		プ レ 卒 業 研 究 演 習	4		
		卒 業 研 究	8		
計			50	321	
合計			76	386	

別表第2 教育学部教育課程

(1) 教育学科

授業科目		単位数		備考
		必修	選択	
教養科目	教育学の基礎		1	卒業要件となる科目の履修上限は、原則年間48単位とする。
	教育学入門		1	
	教職入門Ⅰ	1		
	教職入門Ⅱ	1		
	教職入門Ⅲ	1		
	教職入門Ⅳ	1		
	コンピュータ基礎演習	2		卒業に要する単位数 教養科目から必修14単位、専門科目から必修30単位を含む128単位以上を修得しなければならない。
	日本国憲法	2		
	哲学		2	
	社会学		2	
	地理学		2	
	体育理論	1		
	体育実技	1		
	英語Ⅰ	2		
	英語Ⅱ	2		
	計	14	8	
専門科目	教職基幹科目	教職論	2	なお、上記必修科目のほか、各コースで卒業に必要な単位について別に定める。
		教育原理	2	
		教育心理学	2	
		教育経営概論	2	
		教育課程論	2	
		教育方法・技術論(情報通信技術の活用含む)	2	
	小学校・中学校教諭専門科目	道徳教育の指導法		2
		特別活動の理論と実践		2
		総合的な学習の時間の指導法		2
		生徒・進路指導論		2
		初等教科教育法（国語）		2
		初等教科教育法（社会）		2
		初等教科教育法（算数）		2
		初等教科教育法（理科）		2
		初等教科教育法（生活）		2
		初等教科教育法（音楽）		2
		初等教科教育法（図画工作）		2
		初等教科教育法（家庭）		2
		初等教科教育法（体育）		2
		初等教科教育法（英語）		2
		英語科教育法Ⅰ		4
		英語科教育法Ⅱ		4

授業科目		単位数		備考
		必修	選択	
専門科目	幼稚園教諭・保育士専門科目	保 育 原 理	2	
		保 育 課 程 論	2	
		子 ど も 家 庭 福 祉	2	
		社 会 福 祉	2	
		社 会 的 養 護 I	2	
		保 育 者 論	2	
		保 育 の 心 理 学	2	
		子ども家庭支援の心理学	2	
		子どもの理解と援助	1	
		子どもの保健	2	
		子どもの健康と安全	1	
		子どもの食と栄養	2	
		子ども家庭支援論	2	
		保 育 内 容 総 論	1	
		幼 児 と 健 康	2	
		幼 児 と 人 間 関 係	2	
		幼 児 と 環 境	2	
		幼 児 と 言 葉	2	
		幼 児 と 表 現	2	
		保育内容指導法（健康）	1	
		保育内容指導法（人間関係）	1	
		保育内容指導法（環境）	1	
		保育内容指導法（言葉）	1	
		保育内容指導法（表現）	1	
		幼児理解と教育相談	2	
		乳 児 保 育 I	2	
		乳 児 保 育 II	1	
		社 会 的 養 護 II	1	
		子 育 て 支 援	1	
		幼 児 ・ 児 童 文 化	1	
		表 現 演 習 I	1	
		表 現 演 習 II	1	

授業科目		単位数		備考
		必修	選択	
専門科目	教科専門科目	国 語 （ 書 写 含 む ）	2	
		社 会	2	
		算 数	2	
		理 科	2	
		生 活	2	
		音 楽 基 礎	2	
		図 画 工 作	2	
		体 育 I	2	
		体 育 II （ リズムダンス ）	1	
		家 庭	2	
		小 学 校 英 語	2	
		英 語 学 概 論	2	
	英語専門科目	英 語 文 法 論	2	
		英 語 文 法 演 習	2	
		英 米 文 学 概 要	2	
		英 米 文 学 史	2	
		英 米 文 学 講 読	2	
		英 米 文 学 演 習	2	
		言 語 修 得 研 究	2	
		英 語 表 現 I	2	
		英 語 表 現 II	2	
		E n g l i s h W r i t i n g	2	
	グローバル人材の育成	国 際 理 解 教 育 概 論	2	
		多 文 化 理 解 概 論	2	
		文 化 比 較 論	2	
		地 球 市 民 論	2	
		グ ロ ー バ ル 対 話 論	2	
		生 物 多 様 性 概 説	2	
		海 外 英 語 教 材 比 較 研 究	2	
		小 学 校 英 語 教 育 概 論	2	
		英 語 プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	2	
		英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	2	
		英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	2	
		多 文 化 共 生 社 会 と 保 育	2	

授業科目		単位数		備考
		必修	選択	
専門科目	新課題対応力の育成	ICT 活 用 教 育 概 論	2	
		デ ジ タ ル 教 材 開 発		2
		ICT活用とインクルーシブ教育 「チーム学校」と学校組織マネジメント		2
			2	
		地 域 協 働 と 学 校 の 役 割		2
		ス ク ー ル ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 論		2
		特 別 支 援 教 育 総 論	2	
		教 育 相 談		2
		障 が い 児 保 育		2
		障 が い 児 教 育		2
	実習関連科目	学 校 イ ン タ ー ン シ ッ プ		2
		保 育 イ ン タ ー ン シ ッ プ		2
		保 育 実 習 I （ 保 育 所 ）		2
		保 育 実 習 I （ 施 設 ）		2
		保 育 実 習 II		2
		保 育 実 習 III		2
		保 育 実 習 指 導 I		2
		保 育 実 習 指 導 II		1
		保 育 実 習 指 導 III		1
専門科目	実習関連科目	教 育 実 習 I （ 幼 ）		2
		教 育 実 習 II （ 幼 ）		2
		教 育 実 習 指 導 I （ 幼 ）		1
		教 育 実 習 指 導 II （ 幼 ）		1
		教 育 実 習 （ 幼 ・ 小 ）		4
		教 育 実 習 指 導 （ 幼 ・ 小 ）		1
		教 育 実 習 （ 小 ・ 中 ）		4
		教 育 実 習 A		2
		教 育 実 習 指 導 （ 小 ・ 中 ）		1
		保 育 ・ 教 職 実 践 演 習 （ 幼 ）		2
		教 職 実 践 演 習 （ 幼 ・ 小 ・ 中 ）		2
	セミナー・卒業研究	教 育 学 基 礎 セ ミ ナ ー I	1	
		教 育 学 基 礎 セ ミ ナ ー II	1	
		教 育 学 セ ミ ナ ー I	1	
		教 育 学 セ ミ ナ ー II	1	
		卒 業 研 究	2	
	計		30	199
合計			44	207

別表第3 経済学部教育課程
(1) 経済学科
教養科目

授業科目			単位数		備考
			必修	選択	
教養科目	修学基礎科目	学 修 基 礎 I a	1		○卒業に要する単位数 教養科目は、必修科目から16単位、教養科目の選択科目から16単位以上修得しなければならない。
		学 修 基 礎 I b	1		
		コ ン ピ ュ ー タ 基 礎 演 習	2		
		小計	4		
	人文・社会・自然科学科目	哲 学 I		2	
		哲 学 II		2	
		哲 学 と 倫 理		2	
		社 会 学 I		2	
		社 会 学 II		2	
		西 洋 史 概 説 I		2	
		西 洋 史 概 説 II		2	
		日 本 史 概 説 I		2	
		日 本 史 概 説 II		2	
		東 洋 史 概 説 I		2	
		東 洋 史 概 説 II		2	
		人 文 地 理 学 概 説 I		2	
		人 文 地 理 学 概 説 II		2	
		地 誌		2	
		法 学 （ 日 本 国 憲 法 ）		2	
		心 理 学 の 基 礎		2	
		一 般 数 学		2	
		自 然 科 学 概 論 I		2	
		自 然 科 学 概 論 II		2	
		自 然 地 理 学 概 説 I		2	
		自 然 地 理 学 概 説 II		2	
		経 済 ・ 経 営 入 門		1	
		経 済 ・ 経 営 の し く み		1	
		小計		44	
	語学科目	英 語 I	2		
		英 語 II	2		
		英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I		2	
		英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II		2	
		総 合 英 語 I		2	
		総 合 英 語 II		2	
		小計	4	8	
	スポーツ科目	ス ポ ー ツ 科 学		2	
		小計		2	
	キャリア科目	キ ャ リ ア 基 礎		2	
		F S P 講 座		2	
		キ ャ リ ア デ ザ イ ン I	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イ ン II	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イ ン III	2		
		キ ャ リ ア プ ラ ン ニ ン グ I	2		
		キ ャ リ ア プ ラ ン ニ ン グ II		2	
		就 業 体 験 （ イン タ ー ン シ ッ プ ° 等 ）		1	
		ボ ラ ン テ ィ ア 体 験		1	
		小計	8	8	

専門科目

専門必修科目	基礎科目	現代経済論	2	○卒業に要する単位数 専門科目の必修科目から12単位、専門科目の選択科目から84単位を修得しなければならない。 選択科目のうち、経済学専攻では「マクロ経済学Ⅰ」を、経済情報学専攻では「計量経済学Ⅰ」を、それぞれ選択必修とする。 なお、年間の履修科目の登録の上限は原則48単位とする。
		ミクロ経済学Ⅰ	2	
	展開科目	基礎演習Ⅰ	2	
		基礎演習Ⅱ	2	
		演習Ⅰ	2	
		演習Ⅱ	2	
	小計		12	
基礎科目	マクロ経済学Ⅰ	2		
	計量経済学Ⅰ	2		
	経営学基礎Ⅰ	2		
	経営学基礎Ⅱ	2		
	会計学基礎Ⅰ	2		
	会計学基礎Ⅱ	2		
	実践簿記Ⅰ	4		
	実践簿記Ⅱ	8		
	情報マネジメント基礎Ⅰ	2		
	実践情報学	4		
	経済数学	2		
	統計基礎	2		
	プログラミング基礎	2		
	実践ビジネス英語Ⅰ	2		
	実践ビジネス英語Ⅱ	2		
	観光と経済	2		
	社会保障論	2		
	経済学史	2		
	経済データ分析Ⅰ	2		
	経済データ分析Ⅱ	2		
	計量経済学Ⅱ	2		
	原価計算Ⅰ	2		
	原価計算Ⅱ	2		
	財務会計Ⅰ	2		
	商業簿記Ⅰ	2		
	商業簿記Ⅱ	2		
	政治学概論	2		
	税法基礎	2		
	日本経済史	2		
	世界経済史	2		
	法律学概論	2		
	マーケティング論Ⅰ	2		
	マーケティング論Ⅱ	2		
	マクロ経済学Ⅱ	2		
	ミクロ経済学Ⅱ	2		
	経営管理論Ⅰ	2		
経営管理論Ⅱ	2			
ビジネス英語Ⅰ	2			
ビジネス英語Ⅱ	2			
海外事例研究Ⅰ	2			
海外事例研究Ⅱ	2			

専 門 科 目	専 門 選 択 科 目	簿記論Ⅰ	8
		簿記論Ⅱ	8
		財務諸表論Ⅰ	8
		財務諸表論Ⅱ	8
		情報マネジメント基礎Ⅱ	2
		財務会計Ⅱ	2
		管理会計	2
		公共経済学	2
		公共政策論	2
		民法Ⅰ	2
		民法Ⅱ	2
		労働経済学	2
		ファイナンスⅠ	2
		ファイナンスⅡ	2
		金融論Ⅰ	2
		金融論Ⅱ	2
		国際金融論	2
		国際マーケティング論	2
		金融データ分析	2
		経営組織論	2
		産業組織論	2
		計量社会科学Ⅰ	2
		計量社会科学Ⅱ	2
		ミクロ経済学Ⅲ	2
		マクロ経済学Ⅲ	2
		環境経済学	2
	プログラミング	2	
	ゲーム理論	2	
	国際経済Ⅰ	2	
	国際経済Ⅱ	2	
	財政学Ⅰ	2	
	財政学Ⅱ	2	
	社会データ分析	2	
	商法Ⅰ	2	
	商法Ⅱ	2	
	人的資源管理	2	
	政治学	2	
	税法	2	
	地域経済論Ⅰ	2	
	地域経済論Ⅱ	2	
	ビジネス・ケーススタディ	2	
	ビジネス戦略	2	
	北陸経済産業論	2	
	コーポレートファイナンスⅠ	2	
	コーポレートファイナンスⅡ	2	
	監査論	2	
	マーケティング・リサーチ	2	
	流通論Ⅰ	2	
	流通論Ⅱ	2	
	経済・経営学特講Ⅰ	2	
	経済・経営学特講Ⅱ	2	
	経済・経営学特講Ⅲ	2	
	経済・経営学特講Ⅳ	2	
	経済・経営学特講Ⅴ	2	
	公民科教育法	4	
	小計		228
合計		28 290	

(2) 経営学科

授業科目			単位数		備考
			必修	選択	
教養科目	修学基礎科目	学修基礎Ⅰa	1		○卒業に要する単位数 教養科目は、必修科目から16単位、教養科目の選択科目から16単位以上修得しなければならない。
		学修基礎Ⅰb	1		
		コンピュータ基礎演習	2		
		小計	4		
	人文・社会・自然科学科目	哲学Ⅰ		2	
		哲学Ⅱ		2	
		哲学と倫理		2	
		社会学Ⅰ		2	
		社会学Ⅱ		2	
		西洋史概説Ⅰ		2	
		西洋史概説Ⅱ		2	
		日本史概説Ⅰ		2	
		日本史概説Ⅱ		2	
		東洋史概説Ⅰ		2	
		東洋史概説Ⅱ		2	
		人文地理学概説Ⅰ		2	
		人文地理学概説Ⅱ		2	
		法学（日本国憲法）		2	
		一般数学		2	
		自然科学概論Ⅰ		2	
		自然科学概論Ⅱ		2	
		自然地理学概説Ⅰ		2	
		自然地理学概説Ⅱ		2	
		経済・経営入門		1	
		経済・経営のしくみ		1	
		小計		40	
	語学科目	英語Ⅰ	2		
		英語Ⅱ	2		
		英語コミュニケーションⅠ		2	
		英語コミュニケーションⅡ		2	
		総合英語Ⅰ		2	
		総合英語Ⅱ		2	
		小計	4	8	
	スポーツ科目	スポーツ科学		2	
		小計		2	
	キャリア科目	キャリア基礎		2	
		F S P 講座		2	
		キャリアデザインⅠ	2		
		キャリアデザインⅡ	2		
		キャリアデザインⅢ	2		
		キャリアプランニングⅠ	2		
		キャリアプランニングⅡ		2	
		就業体験（インターンシップ°等）		1	
		ボランティア体験		1	
		小計	8	8	

	専門必修科目	基礎科目	経営学基礎Ⅰ	2	○卒業に要する単位数 専門科目の必修科目から14単位、専門科目の選択科目から82単位を修得しなければならない。 なお、年間の履修科目の登録の上限は原則48単位とする。
			会計学基礎Ⅰ	2	
			現代経済論	2	
		展開科目	基礎演習Ⅰ	2	
			基礎演習Ⅱ	2	
			演習Ⅰ	2	
			演習Ⅱ	2	
		小計		14	
	基礎科目		プログラミング基礎	2	
			経営学基礎Ⅱ	2	
			会計学基礎Ⅱ	2	
			実践簿記Ⅰ	4	
			実践簿記Ⅱ	8	
			情報マネジメント基礎Ⅰ	2	
			実践情報学	4	
			統計基礎	2	
			実践ビジネス英語Ⅰ	2	
			実践ビジネス英語Ⅱ	2	
			経営管理論Ⅰ	2	
			経営管理論Ⅱ	2	
			マーケティング論Ⅰ	2	
			マーケティング論Ⅱ	2	
			ミクロ経済学Ⅰ	2	
			マクロ経済学Ⅰ	2	
			日本経済史	2	
			世界経済史	2	
			財務会計Ⅰ	2	
			商業簿記Ⅰ	2	
			商業簿記Ⅱ	2	
			原価計算Ⅰ	2	
			原価計算Ⅱ	2	
			税法基礎	2	
			税務会計Ⅰ	2	
			ビジネス英語Ⅰ	2	
			ビジネス英語Ⅱ	2	
			海外事例研究Ⅰ	2	
			海外事例研究Ⅱ	2	
			経済数学	2	
			プログラミング	2	
			簿記論Ⅰ	8	
			簿記論Ⅱ	8	
			財務諸表論Ⅰ	8	
			財務諸表論Ⅱ	8	

専 門 科 目	専 門 選 択 科 目	展開科目	経 営 科 学 I	2
			経 営 科 学 II	2
			情 報 マ ネ ジ メ ン ト 基 礎 II	2
			ミ ク ロ 経 済 学 II	2
			財 務 会 計 II	2
			マ ク ロ 経 済 学 II	2
			観 光 と 経 済	2
			公 共 経 済 学	2
			労 働 経 済 学	2
			計 量 経 済 学 I	2
			計 量 経 済 学 II	2
			ゲ ー ム 理 論	2
			経 営 組 織 論	2
			組 織 行 動 論	2
			人 的 資 源 管 理	2
			消 費 者 行 動 論	2
			ビ ジ ネ ス 戦 略	2
			地 域 経 済 論 I	2
			地 域 経 済 論 II	2
			国 際 経 済 I	2
			国 際 経 済 II	2
			フ ァ イ ナ ン ス I	2
			フ ァ イ ナ ン ス II	2
			金 融 論 I	2
			金 融 論 II	2
			国 際 金 融 論	2
			国 際 マ ー ケ テ ィ ン グ 論	2
			財 政 学	2
			産 業 組 織 論	2
			環 境 経 済 学	2
政 治 学	2			
経 営 分 析	2			
企 業 価 値 評 価	2			
管 理 会 計	2			
商 法 I	2			
商 法 II	2			
税 法	2			
ヒ ッ シ ャ ン ス ・ ケ ー ス ス タ デ ィ	2			
職 業 指 導	2			
北 陸 経 済 産 業 論	2			
マ ー ケ テ ィ ン グ ・ リ サ ー チ	2			
流 通 論 I	2			
流 通 論 II	2			
コ ー ホ ー レ ー ト フ ァ イ ナ ン ス I	2			
コ ー ホ ー レ ー ト フ ァ イ ナ ン ス II	2			
監 査 論	2			
税 務 会 計 II	2			
経 済 ・ 経 営 学 特 講 I	2			
経 済 ・ 経 営 学 特 講 II	2			
経 済 ・ 経 営 学 特 講 III	2			
経 済 ・ 経 営 学 特 講 IV	2			
経 済 ・ 経 営 学 特 講 V	2			
商 業 科 教 育 法	4			
小計			212	
合計			30 270	

別表第4 芸術学部教育課程
I. 教養科目

授業科目		単位数		備考
		必修	選択	
一般教養科目	学修基礎Ⅰ	1		卒業に要する単位数は128単位以上教養科目は、一般教養科目の必修科目から15単位、選択科目から5単位以上の計20単位以上、語学の必修科目から、4単位、選択科目から4単位以上の計8単位以上修得しなければならない。
	学修基礎Ⅱ	1		
	キャリア基礎		2	
	キャリアデザインⅠ	2		
	キャリアデザインⅡ	2		
	キャリアデザインⅢ	2		
	スポーツ科学		2	
	コンピュータ基礎演習Ⅰ	2		
	コンピュータ基礎演習Ⅱ	2		
	コンピュータの仕組みとその活用		1	
	キャリアプランニングⅠ	2		
	キャリアプランニングⅡ		2	
	就業体験（インターンシップ等）		1	
	キャリアデザイン基礎		2	
	金沢まち学 a		1	
	金沢まち学 b		1	
	金沢まち学特講 a	1		
	金沢まち学特講 b	1		
	地域課題研究		2	
	経済学の基礎		2	
	法学（日本国憲法）		2	
	心理学の基礎		2	
	知的所有権論 a		1	
	知的所有権論 b		1	
	社会学Ⅰ		2	
	社会学Ⅱ		2	
	哲学Ⅰ		2	
	哲学Ⅱ		2	
	芸術入門		1	
	小計	16	31	
語学	英語Ⅰ	2		
	英語Ⅱ	2		
	英語資格対策講座Ⅰ		2	
	英語資格対策講座Ⅱ		2	
	English PresentationⅠ		2	
	English PresentationⅡ		2	
	フランス語Ⅰ		2	
	フランス語Ⅱ		2	
	ドイツ語Ⅰ		2	
	ドイツ語Ⅱ		2	
	中国語Ⅰ		2	
	中国語Ⅱ		2	
	小計	4	20	
	教養科目計	20	51	

Ⅱ．専門科目

授業科目		単位数		備考
		必修	選択	
専門共通科目	芸術表現基礎 a	3		専門科目は、必修科目から18単位、選択科目から82単位以上の計100単位以上修得しなければならない。なお、卒業要件となる科目の履修上限は原則年間48単位とする。
	芸術表現基礎 b	3		
	絵画工芸基礎 a		2	
	絵画工芸基礎 b		2	
	デザイン		2	
	人体と美術		2	
	美術概論		2	
	工芸史		2	
	工芸概論		2	
	日本美術史		2	
	東洋美術史		2	
	西洋美術史		2	
	日本美術特論 a		1	
	日本美術特論 b		1	
	東洋美術特論 a		1	
	東洋美術特論 b		1	
	西洋美術特論 a		1	
	西洋美術特論 b		1	
	美術文化交流史		2	
	近現代美術史 a		1	
	近現代美術史 b		1	
	文化芸術活用特論		2	
	美術材料学 a		1	
	美術材料学 b		1	
	図学		2	
	基礎造形論Ⅰ		2	
	基礎造形論Ⅱ		2	
	デザイン概論Ⅰ		2	
	デザイン概論Ⅱ		2	
	メディアデザイン論 a		1	
	メディアデザイン論 b		1	
	シヤーマリスム・ドキュメンタリー論 a		1	
	シヤーマリスム・ドキュメンタリー論 b		1	
	デザイン基礎		2	
	映像基礎 a		1	
	映像基礎 b		1	
	CG演習 a		1	
	CG演習 b		1	
	メディア基礎		2	
	ソフトウェア基礎論 a		1	
	ソフトウェア基礎論 b		1	
	芸術ボランティア演習		2	
	マルチメディア論 a		1	
	マルチメディア論 b		1	

授業科目		単位数		備考
		必修	選択	
	ウェブ基礎Ⅰa		1	
	ウェブ基礎Ⅰb		1	
	ウェブ基礎Ⅱa		1	
	ウェブ基礎Ⅱb		1	
	ウェブデザイン演習a		1	
	ウェブデザイン演習b		1	
	色彩学a		1	
	色彩学b		1	
	プレゼンテーション基礎a	1		
	プレゼンテーション基礎b	1		
	プレゼンテーション活用a	1		
	プレゼンテーション活用b	1		
	芸術社会実装演習		2	
	芸術社会実装研究		2	
	卒業制作・研究Ⅰ	4		
	卒業制作・研究Ⅱ	4		
	小計	18	74	
専門選択科目	絵画分野	絵画演習	2	
		絵画Ⅰ	4	
		絵画Ⅱ	4	
		絵画Ⅲ	4	
		絵画Ⅳ	4	
		絵画表現法Ⅰa	1	
		絵画表現法Ⅰb	1	
		絵画表現法Ⅱa	1	
		絵画表現法Ⅱb	1	
		絵画表現法Ⅲa	1	
		絵画表現法Ⅲb	1	
		絵画表現法Ⅳa	1	
		絵画表現法Ⅳb	1	
	造形分野	工芸演習	2	
		工芸Ⅰ	4	
		工芸Ⅱ	4	
		工芸Ⅲ	4	
		工芸Ⅳ	4	
		美術科教育法Ⅰ	4	
		美術科教育法Ⅱ	4	
		工芸科教育法	4	
		工芸表現法Ⅰa	1	
		工芸表現法Ⅰb	1	
		工芸表現法Ⅱa	1	
		工芸表現法Ⅱb	1	
		工芸表現法Ⅲa	1	
		工芸表現法Ⅲb	1	
		工芸表現法Ⅳa	1	
		工芸表現法Ⅳb	1	

授業科目			単位数		備考
			必修	選択	
	造形分野	彫 刻 基 礎		2	
		彫 刻 表 現		2	
		版 画 基 礎		2	
		版 画 表 現		2	
		複 合 表 現 演 習 I a		1	
		複 合 表 現 演 習 I b		1	
		複 合 表 現 演 習 II a		1	
		複 合 表 現 演 習 II b		1	
専門選択科目	ビジュアルデザイン分野	視 覚 伝 達 論 a		1	
		視 覚 伝 達 論 b		1	
		マ ル チ メ デ ィ ア 演 習 a		2	
		マ ル チ メ デ ィ ア 演 習 b		2	
		ビ ジ ュ ア ル デ ザ イ ン a		1	
		ビ ジ ュ ア ル デ ザ イ ン b		1	
		デ ザ イ ン 演 習 I a		2	
		デ ザ イ ン 演 習 I b		2	
		デ ザ イ ン 演 習 II a		2	
		デ ザ イ ン 演 習 II b		2	
		広 告 メ デ ィ ア 論		2	
		デ ザ イ ン 演 習 III a		2	
		デ ザ イ ン 演 習 III b		2	
		デ ザ イ ン マ ネ ジ メ ン ト I		2	
		デ ザ イ ン マ ネ ジ メ ン ト II		2	
		DTP デ ザ イ ン a		1	
		DTP デ ザ イ ン b		1	
	映像メディア分野	CG 活 用 演 習 a		2	
		CG 活 用 演 習 b		2	
		サ ウ ン ド メ デ ィ ア I		2	
		サ ウ ン ド メ デ ィ ア II		2	
		ゲ ー ム デ ザ イ ン a		2	
		ゲ ー ム デ ザ イ ン b		2	
		ウ ェ ブ 活 用 演 習 I		2	
		ウ ェ ブ 活 用 演 習 II		2	
		イ ラ ス ト レ ー シ ョ ン I		2	
		イ ラ ス ト レ ー シ ョ ン II		2	
		メ デ ィ ア コ ン テ ン ツ 制 作 論 a		1	
		メ デ ィ ア コ ン テ ン ツ 制 作 論 b		1	
		ウ ェ ブ ポ ー ト フ ォ リ オ		2	
		映 像 制 作 I		4	

授業科目			単位数		備考
			必修	選択	
映像メディア分野	映像メディア分野	映 像 表 現		4	
		映 像 論		2	
		シ ナ リ オ 論		2	
		アニメーション演習Ⅰ（実写・クレイ） ^a		1	
		アニメーション演習Ⅰ（実写・クレイ） ^b		1	
		映 像 制 作 Ⅱ		4	
		アニメーション演習Ⅱ（2 DCG） ^a		1	
		アニメーション演習Ⅱ（2 DCG） ^b		1	
		ポ ス ト プ ロ ダ ク シ ョ ン ^a		1	
		ポ ス ト プ ロ ダ ク シ ョ ン ^b		1	
		CM 制 作 ^a		1	
		CM 制 作 ^b		1	
		アニメーション演習Ⅲ（3 DCG） ^a		1	
		アニメーション演習Ⅲ（3 DCG） ^b		1	
専門選択科目	デザイン工学分野	プ ロ ダ ク ト デ ザ イ ン ^a		1	
		プ ロ ダ ク ト デ ザ イ ン ^b		1	
		空 間 デ ザ イ ン ^a		1	
		空 間 デ ザ イ ン ^b		1	
		デ ザ イ ン 工 学 ^a		1	
		デ ザ イ ン 工 学 ^b		1	
		プ ロ グ ラ ミ ン グ Ⅰ ^a		1	
		プ ロ グ ラ ミ ン グ Ⅰ ^b		1	
		プ ロ グ ラ ミ ン グ Ⅱ ^a		1	
		プ ロ グ ラ ミ ン グ Ⅱ ^b		1	
		人 間 工 学 ^a		1	
		人 間 工 学 ^b		1	
		デ ザ イ ン 工 学 応 用 ^a		1	
		デ ザ イ ン 工 学 応 用 ^b		1	
シ ス テ ム デ ザ イ ン 論 ^a		1			
シ ス テ ム デ ザ イ ン 論 ^b		1			
小 計			0	170	
専 門 科 目 計			18	244	
合 計			38	295	

別表第5 スポーツ科学部教育課程
スポーツ科学部スポーツ科学科

授業科目		単位数		備考
		必修	選択	
教養科目	学 修 基 礎 I a	1		○卒業に要する単位数 教養科目は、必修17単位を含め22単位以上修得しなければならない。
	学 修 基 礎 I b	1		
	学 修 基 礎 II	1		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン I	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン II	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン III	2		
	哲 学 I		2	
	哲 学 II		2	
	法 学（日本国憲法）		2	
	経 済 学 の 基 礎		2	
	倫 理 学		2	
	F S P 講 座		2	
	キ ャ リ ア 基 礎		2	
	ス ポ ー ツ 科 学		2	
	コンピュータ基礎演習Ⅰ	2		
	コンピュータ基礎演習Ⅱ	2		
	キャリアプランニングⅠ	2		
	キャリアプランニングⅡ	2		
	インターンシップ実習		1	
	ス ポ ー ツ 科 学 入 門		1	
	小計	17	18	
外国語科目	英 語 I	2		○卒業に要する単位数 外国語科目は、必修4単位を含め8単位以上修得しなければならない。
	英 語 II	2		
	英 語 コミュニケーションⅠ		2	
	英 語 コミュニケーションⅡ		2	
	中 国 語 I		2	
	中 国 語 II		2	
	朝 鮮 語 I		2	
	朝 鮮 語 II		2	
	小計	4	12	
専門科目	専門必修科目	運 動 生 理 学	2	○卒業に要する単位数 専門科目は、必修36単位、選択必修スポーツ実技から6単位以上を含めて、計98単位以上修得しなければならない。 なお、卒業要件となる科目の履修上限は、年間48単位以内とする。
		健 康 科 学	2	
		ス ポ ー ツ 心 理 学	2	
		ト レ ー ニ ン グ 論	2	
		機 能 的 解 剖 学	2	
		生 理 学	2	
		運 動 学	2	
		ス ポ ー ツ 経 営 管 理	2	
		運 動 発 達 ・ 老 化 学	2	

専門必修科目	体 育 原 理	2	
	体 育 史	2	
	スポーツ医学(救急処置を含む。)	2	
	ス ポ ー ツ 社 会 学	2	
	ス ポ ー ツ 統 計 学	2	
	専 門 演 習 I	4	
	専 門 演 習 II	4	
	小計	36	0
専門選択必修スポーツ実技科目	ス ポ ー ツ 実 技 I (水 泳)		1
	スポーツ実技Ⅱ(体づくり・ニュースポーツ)		1
	ス ポ ー ツ 実 技 III (陸 上 I)		1
	スポーツ実技Ⅳ(テニス・バドミントン)		1
	ス ポ ー ツ 実 技 V (バ レ ー ボ ー ル)		1
	ス ポ ー ツ 実 技 VI (ダ ン ス)		1
	スポーツ実技Ⅶ(器械体操・トランポリン)		1
	スポーツ実技Ⅷ(柔道・剣道)		1
	スポーツ実技Ⅸ(ソフトボール)		1
	スポーツ実技Ⅹ(野外スポーツ)		1
	ス ポ ー ツ 実 技 XI (卓 球)		1
	スポーツ実技Ⅻ(ラグビーⅠ)		1
	スポーツ実技ⅩⅢ(ラグビーⅡ)		1
	スポーツ実技ⅩⅣ(サッカーⅠ)		1
	スポーツ実技ⅩⅤ(サッカーⅡ)		1
	スポーツ実技ⅩⅥ(バスケットボール)		1
	ス ポ ー ツ 実 技 X VII (野 球)		1
	スポーツ実技ⅩⅧ(ウエイトリフティング)		1
	スポーツ実技ⅩⅨ(スノースポーツ)		1
	ス ポ ー ツ 実 技 X X (陸 上 II)		1
	小計	0	20
専門選択科目	地 域 と ス ポ ー ツ		2
	ス ポ ー ツ メ デ ィ ア 論		2
	ス ポ ー ツ 文 化 論		2
	ス ポ ー ツ 法 学		2
	ス ポ ー ツ 政 策 論		2
	生 命 倫 理		2
	情 報 活 用 演 習		4
	ス ポ ー ツ 測 定 評 価		2
	運 動 処 方		2
	スポーツコンディショニング論		2
	スポーツコンディショニング演習Ⅰ		1
	スポーツコンディショニング演習Ⅱ		1
	コ ー チ ン グ 論		2
	コ ー チ ン グ 演 習 I		1
	コ ー チ ン グ 演 習 II		1

専門選択科目	メンタルトレーニング論		2
	スポーツ技術・戦術論		2
	武道論		2
	武道演習Ⅰ		1
	武道演習Ⅱ		1
	球技論		2
	球技演習Ⅰ		1
	球技演習Ⅱ		1
	運動学習心理学		2
	スポーツイベント企画運営論		2
	スポーツボランティア論		2
	スポーツボランティア演習		2
	競技者育成システム		2
	生涯スポーツ論		2
	スポーツビジネス概論		2
	生活習慣病概論		2
	スポーツ栄養学		2
	衛生・公衆衛生学		2
	学校保健		2
	病理学		2
	スポーツトレーナー演習		2
	レクリエーション論		2
	公務員と法		2
	体力トレーニング実習		1
	資格柔道		1
	健康管理演習		2
	健康産業施設現場研修		2
	健康運動演習		2
	サッカー指導演習		2
	スポーツ心理学演習		2
	オリンピックへの挑戦と指導		2
	保健体育科教育法Ⅰ		4
	保健体育科教育法Ⅱ		4
	専攻基礎Ⅰ		1
	専攻基礎Ⅱ		1
	小計	0	94
	合計	57	144

別表第6 栄養学部教育課程

I. 教養科目

授業科目			単位数		備考
			必修	選択	
教養科目	学修基礎	学修基礎 I	2		卒業に要する単位数 教養科目は、必修科目18単位及び自然科学分野から4単位以上を含め20単位以上修得しなければならない。
		学修基礎 II	2		
		学修基礎 III	2		
		学修基礎 IV	2		
		食生活と健康		1	
	人文・社会科学	心理学の基礎		2	
		法学（日本国憲法）		2	
		経済学の基礎		2	
		哲学 I		2	
		哲学 II		2	
	スポーツ科学		2		
	キャリア	情報処理演習 I	2		
		情報処理演習 II	2		
		就業体験（インターンシップ）		1	
		就職対策講座 I	2		
		就職対策講座 II	2		
	自然科学	生物学基礎		2	
		科学基礎		2	
		生理学基礎		2	
		健康科学の基礎		1	
	地域連携	地域課題研究		2	
教養科目合計			18	21	

Ⅱ. 外国語科目

授業科目		単位数		備考
		必修	選択	
外国語科目	英 語 I	2		卒業に要する単位数 必修4単位を含め8単位以上 修得しなければならない。
	英 語 II	2		
	英語コミュニケーション I		2	
	英語コミュニケーション II		2	
	中 国 語 I		2	
	中 国 語 II		2	
	朝 鮮 語 I		2	
	朝 鮮 語 II		2	
外国語科目合計		4	12	

Ⅲ. 専門科目

授業科目			単位数		備考
			必修	選択	
専門基礎分野	社会・環境と健康	健康 管 理 概 論	2		卒業に要する単位数 専門基礎分野から31単位の 必修科目、専門分野から34 単位の必修科目を含め、さ らに関連科目を加えた中か ら100単位以上を修得し、合 計128単位以上を修得しなけ ればならない。卒業条件と なる科目の履修上限単位 は、原則年間48単位とす る。
		社 会 福 祉 概 論	2		
		公 衆 衛 生 学 I	2		
		疫 学 保 健 統 計 学 演 習		2	
		公 衆 衛 生 学 II		2	
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解 剖 生 理 学	2		
		解 剖 生 理 学 実 験	1		
		生 化 学 I	2		
		生 化 学 II		2	
		生 化 学 実 験 I	1		
		生 化 学 実 験 II		1	
		病 態 生 理 学 I	2		
		病 態 生 理 学 II		2	
		病 態 生 理 学 III		2	
		運 動 生 理 学	2		

専門基礎分野	食べ物と健康	食 品 学 I	2	
		食 品 学 II	2	
		食 品 学 実 験	1	
		食 品 衛 生 学	2	
		食 品 衛 生 学 実 験	1	
		食 品 加 工 学		2
		食 品 機 能 論		2
		調 理 学	2	
		調 理 科 学 実 験	1	
		調 理 学 実 習 I	1	
		調 理 学 実 習 II	1	
		調 理 学 実 習 III (食品加工学実習含む)	1	
		献 立 作 成 実 習	1	
		専門基礎科目合計	31	15

	基礎栄養学	基 礎 栄 養 学 I	2	
		基 礎 栄 養 学 II		2
		基 礎 栄 養 科 学 実 験	1	
	応用栄養学	応 用 栄 養 学 I	2	
		応 用 栄 養 学 II	2	
		応 用 栄 養 学 III		2
		応 用 栄 養 学 実 習	1	
	栄養教育論	食 生 活 論	2	
		栄 養 教 育 論 I	2	
		栄 養 教 育 論 II	2	
		栄 養 教 育 論 実 習 I	1	
		栄 養 教 育 論 実 習 II		1
	臨床栄養学	臨 床 栄 養 学 I	2	
		臨 床 栄 養 学 II	2	
		臨 床 栄 養 学 III		2
		臨 床 栄 養 実 践 演 習		2
		臨 床 栄 養 学 実 習	1	

専門分野	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	2		
		公衆栄養学Ⅱ		2	
		公衆栄養活動論		1	
		公衆栄養学実習		1	
	給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	2		
		給食経営管理論Ⅱ		2	
		給食経営管理実習Ⅰ	1		
		給食経営管理実習Ⅱ		1	
	総合演習	総合演習		2	
	臨地実習	臨地実習事前・事後指導Ⅰ	2		いずれか1科目 選択必修
		臨地実習事前・事後指導Ⅱ		2	
		臨地実習事前・事後指導Ⅲ		2	
		臨地実習事前・事後指導Ⅳ		2	
		臨地実習Ⅰ（給食の運営）	1		いずれか1科目 選択必修
		臨地実習Ⅱ（臨床栄養）		2	
		臨地実習Ⅲ（公衆栄養）		1	
		臨地実習Ⅳ（給食経営管理）		1	
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	3		
		卒業研究Ⅱ	3		
	栄養教諭	学校栄養教育法		2	栄養に係わる教育に関する科目
		食に関する指導法		2	
専門科目合計			34	32	

関連科目	北陸の食文化		2	
	レポート・プレゼンテーション演習		2	
	調理学実践演習		2	
	栄養カウンセリング演習		1	
	専門英語		2	
	スポーツ栄養学		2	
	実践栄養学特論Ⅰ		2	
	実践栄養学特論Ⅱ		2	
	実践栄養学特論Ⅲ		2	
	実践栄養学特論Ⅳ		2	

自由科目	食料経済			卒業要件には含まれない
	フードスペシャリスト論			
	フードコーディネーター論			
関連科目・自由科目合計		0	19	

合計		65	66	
----	--	----	----	--

別表第7 情報工学部教育課程表
情報工学部情報工学科

I. 教養科目・英語科目

授業科目			単位数			備考
			必修	選択	自由	
教養科目	人文・社会・自然科学科目	哲学Ⅰ		2		○卒業に要する単位数 卒業に要する単位数は128単位以上 教養科目は12単位以上、英語科目は必修科目8単位を含め12単位以上修得しなければならない。
		哲学Ⅱ		2		
		社会学Ⅰ		2		
		社会学Ⅱ		2		
		心理学の基礎		2		
		法学（日本国憲法）		2		
		経済学概論		2		
		自然科学概論Ⅰ		2		
		自然科学概論Ⅱ		2		
		自然地理学概説Ⅰ		2		
		自然地理学概説Ⅱ		2		
		小計		22		
	スポーツ科目	スポーツ科学		2		
		小計		2		
	キャリア科目	就業体験（インターンシップ等）		1		
		ボランティア体験		1		
		小計		2		
英語科目	英語Ⅰ		2			
	英語Ⅱ		2			
	英語Ⅲ		2			
	英語Ⅳ		2			
	TOEIC EnglishⅠ			2		
	TOEIC EnglishⅡ			2		
	総合英語Ⅰ			2		
	総合英語Ⅱ			2		
	英語コミュニケーションⅠ			2		
	英語コミュニケーションⅡ			2		
	英語コミュニケーションⅢ			2		
	英語コミュニケーションⅣ			2		
	小計		8	16		
	教養科目・英語科目計		8	42		

Ⅱ．専門科目

授業科目			単位数			備考
			必修	選択	自由	
専門科目	基礎科目	微分積分学Ⅰ	3			「物理A（力学）」「物理B（電磁気学）」前期に不合格、または未履修の場合は「後期の履修を認める」。前期に合格となった場合「後期の履修を認めない」。
		微分積分学Ⅱ	3			
		線形代数学Ⅰ	3			
		線形代数学Ⅱ	3			
		統計基礎	2			
		統計	2			
		確率基礎	2			
		物理A（力学）	2			
		物理B（電磁気学）	2			
		代数学		2		
		幾何学		2		
		小計	22	4		
	共通科目	マルチメディア表現と技術Ⅰ	2			○卒業に要する単位数 専門科目のうち必修単位48単位を含め104単位を修得しなければならない。
		マルチメディア表現と技術Ⅱ	2			
		基礎データ分析	2			
		プログラミングⅠ及び演習	3			「コンピュータ工学コース」では専門選択科目のうち、共通科目の確率と統計、オペレーティングシステム、機械学習Ⅰ、情報セキュリティ、およびコンピュータ工学コース科目より18単位を、「データ科学コース」では専門選択科目のうち、共通科目の確率と統計、オペレーティングシステム、機械学習Ⅰ、統計的モデリング、情報セキュリティ、およびデータ科学コース科目より18単位を、それぞれ選択必修とする。
		プログラミングⅡ及び演習	3			
		プログラミングⅢ及び演習		3		
		アルゴリズムとデータ構造	2			ただし、「コンピュータ工学コース」ではコンピュータ工学実践演習A及び同Bを、「データ科学コース」ではデータ科学実践演習A及び同Bを、必ず選択必修科目に含めることとする。
		コンピュータの構成	2			
		情報通信ネットワークⅠ	2			
		確率と統計		2		また本人が所属するコース以外の専門選択科目を履修することは、コンピュータ工学実践演習A及び同B、そしてデータ科学実践演習A及び同Bを除き、これを妨げない。
		最適化Ⅰ		2		
		最適化Ⅱ		2		
		人工知能入門	2			半期の履修科目登録の上限は、原則24単位以内とする。
		機械学習Ⅰ		2		
		機械学習Ⅱ		2		
		オペレーティングシステム		2		
		ソフトウェア工学		2		
		データベースⅠ	2			
		データベースⅡ		2		
		統計的モデリング		2		
		情報セキュリティ		2		
		情報と職業		2		
		アルゴリズム論		2		
		情報システム		2		
		プロジェクトマネジメント		2		
		地理情報システム		2		
		複雑系科学		2		
		情報社会論		2		

授業科目		単位数			備考		
		必修	選択	自由			
		ヒューマン・コンピュータ・インタラクション		2			
		グラフィックス		2			
		IoTとビッグデータ		2			
		知的財産権管理		2			
		情報倫理		2			
		小計	22	47			
専門科目	コンピュータ工学コース科目	電気・電子回路		2		「コンピュータ工学実践演習A・B」前期に不合格、または未履修の場合は「後期の履修を認める」。前期に合格となった場合「後期の履修を認めない」。	
		デジタル回路		2			
		コンピュータアーキテクチャ		2			
		情報通信ネットワークⅡ		2			
		デジタル信号処理		2			
		組込みシステム		2			
		コンピュータ工学実践演習A		3			
		コンピュータ工学実践演習B		3			
		小計		18			
	データ科学コース科目	データ分析		2			「データ科学実践演習A・B」前期に不合格、または未履修の場合は「後期の履修を認める」。前期に合格となった場合「後期の履修を認めない」。
		多変量解析		2			
		時系列分析		2			
		データ収集とクリーニング		2			
		社会統計学Ⅰ		2			
		社会統計学Ⅱ		2			
		データ科学実践演習A		3			
		データ科学実践演習B		3			
		小計		18			
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	2				
		卒業研究Ⅱ	2				
		小計	4				
専門科目計		48	87				

Ⅲ. 教職科目

授業科目		単位数			備考
		必修	選択	自由	
教職科目	数学科教育法Ⅰ			2	
	数学科教育法Ⅱ			2	
	数学科教育法Ⅲ			2	
	数学科教育法Ⅳ			2	
	情報科教育法Ⅰ			2	
	情報科教育法Ⅱ			2	
	小計			12	
	教職科目計			12	
合計		56	129	12	

(1) 教育の基礎的理解に関する科目等(中高教諭)

教職(中学)のみ

中免は4単位以上、高免は2単位以上を
選択必修

授 業 科 目	単位数		備 考
	必修	選択	
教 職 論	2		
教 育 原 論	2		
教 育 心 理 学	2		
特 別 支 援 教 育 概 論	1		
教 育 社 会 学	2		
教 育 課 程 論	2		
道 徳 教 育 論	2		
特別活動と総合的な学習の時間の理論と実践	2		
教育方法・技術論(情報通信技術の活用含む)	2		
生 徒 指 導 論	2		
教 育 相 談	2		
栄養教育実習事前事後指導	1		
栄 養 教 育 実 習	<u>2</u>		
教 職 実 践 演 習 (栄 養 教 諭)	2		
計	26	0	

(3) 学芸員に関する科目

授 業 科 目	単位数		備 考
	必修	選択	
生涯学習概論	2		
博物館概論	2		
博物館経営論	2		
博物館資料論	2		
博物館資料保存論	2		
博物館展示論	2		
博物館教育論	2		
博物館情報・メディア論	2		
博物館実習Ⅰ	2		
博物館実習Ⅱ	1		
民俗学Ⅰ		2	

(4) 司書に関する科目

授 業 科 目	単位数		備 考
	必修	選択	
生 涯 学 習 概 論	2		2科目(2単位)以上選択
図 書 館 概 論	2		
図 書 館 制 度 ・ 経 営 論	2		
図 書 館 情 報 技 術 論	2		
図 書 館 サ ー ビ ス 概 論	2		
情 報 サ ー ビ ス 論	2		
児 童 サ ー ビ ス 論	2		
情 報 サ ー ビ ス 演 習	4		
図 書 館 情 報 資 源 概 論	2		
情 報 資 源 組 織 論	2		
情 報 資 源 組 織 演 習	4		
図 書 館 サ ー ビ ス 特 論		1	
図 書 館 情 報 資 源 特 論		1	
図 書 ・ 図 書 館 史		1	
図 書 館 総 合 演 習		2	
計	26	5	

別表第9

区分					金額		
入学検定料					30,000円		
学納金	入学金				200,000円		
	授業料等	学部・学科・専攻			初年度(前・後期毎)	2～4年次(前・後期毎)	
		文学部	文学科	日本文学専攻 英米文学専攻 心理学専攻	授業料	365,000 円	365,000 円
					教育充実費	140,000 円	145,000 円
					合計	505,000 円	510,000 円
				歴史学・考古学専攻	授業料	365,000 円	365,000 円
					教育充実費	140,000 円	155,000 円
					合計	505,000 円	520,000 円
		教育学部	教育学科		授業料	375,000 円	375,000 円
					教育充実費	185,000 円	185,000 円
					合計	560,000 円	560,000 円
		経済学部	経済学科 経営学科		授業料	365,000 円	365,000 円
					教育充実費	135,000 円	165,000 円
					合計	500,000 円	530,000 円
		芸術学部	芸術学科		授業料	425,000 円	425,000 円
					教育充実費	215,000 円	215,000 円
					合計	640,000 円	640,000 円
		スポーツ科学部	スポーツ科学科		授業料	385,000 円	385,000 円
					教育充実費	170,000 円	170,000 円
					合計	555,000 円	555,000 円
		栄養学部	栄養学科		授業料	425,000 円	425,000 円
					教育充実費	215,000 円	215,000 円
					合計	640,000 円	640,000 円
		情報工学部	情報工学科		授業料	500,000 円	500,000 円
					教育充実費	200,000 円	200,000 円
					合計	700,000 円	700,000 円
	課程履修費	教職課程			2年次前期	15,000円	
					3年次前期	15,000円	
					4年次前期	15,000円	
		学芸員課程			4年次前期	30,000円	
		司書課程			2年次前期	15,000円	
	3年次前期				15,000円		

入学金について

①金沢学院大学附属高校からの入学生

※特別進学制度の入学金は100,000円とする。

※学校推薦型選抜・エントリー選抜の入学金は150,000円とする。

②金沢学院大学及び金沢学院短期大学出身学生の入学金は免除する。

金沢学院大学学則の変更事項を記載した書類

1. 学則変更の事由

- (1) スポーツ科学部スポーツ科学科の入学定員を 30 名増やし、文学部文学科の入学定員を 10 名、経済学部経済学科の入学定員を 20 名減らす。

学則第 2 条第 2 項に記載する学科表について、スポーツ科学部スポーツ科学科の入学定員を 150 名から 180 名に、文学部文学科の入学定員を 180 名から 170 名（日本文学専攻の入学定員を 60 名から 55 名、歴史学・考古学専攻の入学定員を 50 名から 45 名）に、経済学部経済学科の入学定員を 160 名から 140 名に変更する。

- (2) 附則を加え、施行日を明らかにする。

2. 学則変更の時期

令和 8 年 4 月 1 日

金沢学院大学 学則変更部分の新旧対照表

新					旧																																																																																																																																												
金沢学院大学学則																																																																																																																																																	
第1章 総則					第1章 総則																																																																																																																																												
(略)					(略)																																																																																																																																												
第2章 学部、学科、大学院等 (学部、学科及び収容定員)					第2章 学部、学科、大学院等 (学部、学科及び収容定員)																																																																																																																																												
第2条 本学に文学部、教育学部、経済学部、芸術学部、 スポーツ科学部、栄養学部及び情報工学部を置く。					第2条 本学に文学部、教育学部、経済学部、芸術学部、 スポーツ科学部、栄養学部及び情報工学部を置く。																																																																																																																																												
2 学部に属する学科及び収容定員は、次のとおりとする。					2 学部に属する学科及び収容定員は、次のとおりとする。																																																																																																																																												
<table><tr><th rowspan="2">学 部</th><th rowspan="2">学 科</th><th colspan="3">収 容 定 員</th></tr><tr><th>入 学 定 員</th><th>編入学 定 員</th><th>総定員</th></tr><tr><td rowspan="5">文 学 部</td><td>文 学 科</td><td>170</td><td>8</td><td>696</td></tr><tr><td>日本文学専攻</td><td>[55]</td><td></td><td></td></tr><tr><td>英米文学専攻</td><td>[30]</td><td></td><td></td></tr><tr><td>歴史学専攻</td><td>[45]</td><td></td><td></td></tr><tr><td>心理学専攻</td><td>[40]</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教 育 学 部</td><td>教 育 学 科</td><td>70</td><td>5</td><td>290</td></tr><tr><td rowspan="2">経 済 学 部</td><td>経 済 学 科</td><td>140</td><td>5</td><td>570</td></tr><tr><td>経 営 学 科</td><td>90</td><td>5</td><td>370</td></tr><tr><td>芸 術 学 部</td><td>芸 術 学 科</td><td>80</td><td>7</td><td>334</td></tr><tr><td>ス ポ ー ツ 科学部</td><td>ス ポ ー ツ 科学科</td><td>180</td><td>10</td><td>740</td></tr><tr><td>栄 養 学 部</td><td>栄 養 学 科</td><td>80</td><td>5</td><td>330</td></tr><tr><td>情 報 工 学 部</td><td>情 報 工 学 部</td><td>100</td><td></td><td>400</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>910</td><td>45</td><td>3,730</td></tr></table>					学 部	学 科	収 容 定 員			入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	文 学 部	文 学 科	170	8	696	日本文学専攻	[55]			英米文学専攻	[30]			歴史学専攻	[45]			心理学専攻	[40]			教 育 学 部	教 育 学 科	70	5	290	経 済 学 部	経 済 学 科	140	5	570	経 営 学 科	90	5	370	芸 術 学 部	芸 術 学 科	80	7	334	ス ポ ー ツ 科学部	ス ポ ー ツ 科学科	180	10	740	栄 養 学 部	栄 養 学 科	80	5	330	情 報 工 学 部	情 報 工 学 部	100		400	計		910	45	3,730	<table><tr><th rowspan="2">学 部</th><th rowspan="2">学 科</th><th colspan="3">収 容 定 員</th></tr><tr><th>入 学 定 員</th><th>編入学 定 員</th><th>総定員</th></tr><tr><td rowspan="5">文 学 部</td><td>文 学 科</td><td>180</td><td>8</td><td>736</td></tr><tr><td>日本文学専攻</td><td>[60]</td><td></td><td></td></tr><tr><td>英米文学専攻</td><td>[30]</td><td></td><td></td></tr><tr><td>歴史学専攻</td><td>[50]</td><td></td><td></td></tr><tr><td>心理学専攻</td><td>[40]</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教 育 学 部</td><td>教 育 学 科</td><td>70</td><td>5</td><td>290</td></tr><tr><td rowspan="2">経 済 学 部</td><td>経 済 学 科</td><td>160</td><td>5</td><td>650</td></tr><tr><td>経 営 学 科</td><td>90</td><td>5</td><td>370</td></tr><tr><td>芸 術 学 部</td><td>芸 術 学 科</td><td>80</td><td>7</td><td>334</td></tr><tr><td>ス ポ ー ツ 科学部</td><td>ス ポ ー ツ 科学科</td><td>150</td><td>10</td><td>620</td></tr><tr><td>栄 養 学 部</td><td>栄 養 学 科</td><td>80</td><td>5</td><td>330</td></tr><tr><td>情 報 工 学 部</td><td>情 報 工 学 部</td><td>100</td><td></td><td>400</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>910</td><td>45</td><td>3,730</td></tr></table>					学 部	学 科	収 容 定 員			入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	文 学 部	文 学 科	180	8	736	日本文学専攻	[60]			英米文学専攻	[30]			歴史学専攻	[50]			心理学専攻	[40]			教 育 学 部	教 育 学 科	70	5	290	経 済 学 部	経 済 学 科	160	5	650	経 営 学 科	90	5	370	芸 術 学 部	芸 術 学 科	80	7	334	ス ポ ー ツ 科学部	ス ポ ー ツ 科学科	150	10	620	栄 養 学 部	栄 養 学 科	80	5	330	情 報 工 学 部	情 報 工 学 部	100		400	計		910	45	3,730
学 部	学 科	収 容 定 員																																																																																																																																															
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員																																																																																																																																													
文 学 部	文 学 科	170	8	696																																																																																																																																													
	日本文学専攻	[55]																																																																																																																																															
	英米文学専攻	[30]																																																																																																																																															
	歴史学専攻	[45]																																																																																																																																															
	心理学専攻	[40]																																																																																																																																															
教 育 学 部	教 育 学 科	70	5	290																																																																																																																																													
経 済 学 部	経 済 学 科	140	5	570																																																																																																																																													
	経 営 学 科	90	5	370																																																																																																																																													
芸 術 学 部	芸 術 学 科	80	7	334																																																																																																																																													
ス ポ ー ツ 科学部	ス ポ ー ツ 科学科	180	10	740																																																																																																																																													
栄 養 学 部	栄 養 学 科	80	5	330																																																																																																																																													
情 報 工 学 部	情 報 工 学 部	100		400																																																																																																																																													
計		910	45	3,730																																																																																																																																													
学 部	学 科	収 容 定 員																																																																																																																																															
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員																																																																																																																																													
文 学 部	文 学 科	180	8	736																																																																																																																																													
	日本文学専攻	[60]																																																																																																																																															
	英米文学専攻	[30]																																																																																																																																															
	歴史学専攻	[50]																																																																																																																																															
	心理学専攻	[40]																																																																																																																																															
教 育 学 部	教 育 学 科	70	5	290																																																																																																																																													
経 済 学 部	経 済 学 科	160	5	650																																																																																																																																													
	経 営 学 科	90	5	370																																																																																																																																													
芸 術 学 部	芸 術 学 科	80	7	334																																																																																																																																													
ス ポ ー ツ 科学部	ス ポ ー ツ 科学科	150	10	620																																																																																																																																													
栄 養 学 部	栄 養 学 科	80	5	330																																																																																																																																													
情 報 工 学 部	情 報 工 学 部	100		400																																																																																																																																													
計		910	45	3,730																																																																																																																																													
(略)					(略)																																																																																																																																												
附 則 (令和8年 月 日改正)					追加																																																																																																																																												
1 この学則は、令和8年4月1日から施行する。																																																																																																																																																	
2 令和8年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、 改正後の学則第2条第2項の定めにかかわらず、なお 従前の例による。																																																																																																																																																	
3 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則 第2条第2項の規定にかかわらず、令和8年度から令和 11年度までは、文学部、経済学部、スポーツ科学部にお いては、次のとおりとする。																																																																																																																																																	
<table><tr><th colspan="2" rowspan="3">学 部 学 科</th><th colspan="3">令和8年度</th><th colspan="3">令和9年度</th></tr><tr><th colspan="3">収 容 定 員</th><th colspan="3">収 容 定 員</th></tr><tr><th>入 学 定 員</th><th>編入学 定 員</th><th>総定員</th><th>入 学 定 員</th><th>編入学 定 員</th><th>総定員</th></tr><tr><td>文学部</td><td>文学科</td><td>170</td><td>8</td><td>726</td><td>170</td><td>8</td><td>716</td></tr><tr><td rowspan="2">経済学部</td><td>経済学科</td><td>140</td><td>5</td><td>580</td><td>140</td><td>5</td><td>610</td></tr><tr><td>経営学科</td><td>90</td><td>5</td><td>350</td><td>90</td><td>5</td><td>370</td></tr><tr><td>スポーツ科学部</td><td>スポーツ科学科</td><td>180</td><td>10</td><td>650</td><td>180</td><td>10</td><td>680</td></tr></table>					学 部 学 科		令和8年度			令和9年度			収 容 定 員			収 容 定 員			入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	文学部	文学科	170	8	726	170	8	716	経済学部	経済学科	140	5	580	140	5	610	経営学科	90	5	350	90	5	370	スポーツ科学部	スポーツ科学科	180	10	650	180	10	680	<table><tr><th colspan="2" rowspan="3">学 部 学 科</th><th colspan="3">令和10年度</th><th colspan="3">令和11年度</th></tr><tr><th colspan="3">収 容 定 員</th><th colspan="3">収 容 定 員</th></tr><tr><th>入 学 定 員</th><th>編入学 定 員</th><th>総定員</th><th>入 学 定 員</th><th>編入学 定 員</th><th>総定員</th></tr><tr><td>文学部</td><td>文学科</td><td>170</td><td>8</td><td>706</td><td>170</td><td>8</td><td>696</td></tr><tr><td rowspan="2">経済学部</td><td>経済学科</td><td>140</td><td>5</td><td>590</td><td>140</td><td>5</td><td>570</td></tr><tr><td>経営学科</td><td>90</td><td>5</td><td>370</td><td>90</td><td>5</td><td>370</td></tr><tr><td>スポーツ科学部</td><td>スポーツ科学科</td><td>180</td><td>10</td><td>710</td><td>180</td><td>10</td><td>740</td></tr></table>					学 部 学 科		令和10年度			令和11年度			収 容 定 員			収 容 定 員			入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	文学部	文学科	170	8	706	170	8	696	経済学部	経済学科	140	5	590	140	5	570	経営学科	90	5	370	90	5	370	スポーツ科学部	スポーツ科学科	180	10	710	180	10	740																																		
学 部 学 科		令和8年度					令和9年度																																																																																																																																										
		収 容 定 員					収 容 定 員																																																																																																																																										
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員																																																																																																																																										
文学部	文学科	170	8	726	170	8	716																																																																																																																																										
経済学部	経済学科	140	5	580	140	5	610																																																																																																																																										
	経営学科	90	5	350	90	5	370																																																																																																																																										
スポーツ科学部	スポーツ科学科	180	10	650	180	10	680																																																																																																																																										
学 部 学 科		令和10年度			令和11年度																																																																																																																																												
		収 容 定 員			収 容 定 員																																																																																																																																												
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員																																																																																																																																										
文学部	文学科	170	8	706	170	8	696																																																																																																																																										
経済学部	経済学科	140	5	590	140	5	570																																																																																																																																										
	経営学科	90	5	370	90	5	370																																																																																																																																										
スポーツ科学部	スポーツ科学科	180	10	710	180	10	740																																																																																																																																										
(略)					(略)																																																																																																																																												

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目 次

ア	学則変更（収容定員変更）の内容	p. 2
イ	学則変更（収容定員変更）の必要性	p. 2
ウ	学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	p. 3
	（ア）教育課程の変更内容	p. 3
	（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容	p. 4
	（ウ）教員組織の変更内容	p. 4
	（エ）大学全体や収容定員を増加する学科等で使用する施設・設備の変更内容	p. 4
エ	2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画	p. 4
オ	大学設置基準第25条の4の規定に基づき、授業の一部をサテライトキャンパス等の校舎以外の場所で行う場合の具体的計画	p. 5
カ	教育課程等の特例制度の認定を受けた大学については、認定を受けた学部等ごとの特例対象規定、認定機関及びその内容	p. 5

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

金沢学院大学の入学定員を、令和3年度から下記の通り変更することとする。

既設のスポーツ科学部スポーツ科学科の入学定員を現行の150名より180名に増員する。また、既設の文学部文学科の入学定員を180名から170名に、経済学部経済学科の入学定員を160名から140名にそれぞれ変更する。

これらの変更は学部間の定員振替によるものであり、金沢学院大学全体の収容定員に変更はない。なお、これらの定員変更の適用開始時期は、令和8年4月1日とする。

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

金沢学院大学は前身の金沢女子専門学園（昭和21年開設）の設立以来「愛と理性」を建学の精神とし、愛と理性の人間性を培いつつ自由と協同のよき訓練を行うことを目指して真摯な教育と有為な人材の育成を行ってきた。昭和62年4月に日本海側で初となる4年制の女子大学「金沢女子大学」を文学部の単科大学として開学した本学は、平成7年4月の経営情報学部（現経済学部及び経済情報学部）開設を機に男女共学化を図るとともに「金沢学院大学」へと改称した。平成18年には学園創設60周年を機に建学の精神を礎とする教育理念「創造」を制定し、併せて「創造」に基づく教育研究を推進する方向性をより具体的に示すため、「ふるさとを愛し、地域社会に貢献する」「良識を培い、礼節を重んじる」「社会の要請に応え、構想する力、実践する力を育む」という3つの教育指針を掲げている。開学35年を経た現在、7学部8学科を擁する総合大学へと発展するとともに、地域が求める有為な人材を育成している。

本学のスポーツ科学部は、平成18年に高レベルの運動選手育成とスポーツ産業の隆盛を背景に、経営情報学部にはスポーツビジネス学科を設置したことに始まる。さらに、平成23年には「地域のスポーツ愛好者から競技力の向上を目指すアスリートにいたるまで、最先端のトレーニング論と、現代社会に求められる健康づくり・身体づくりのための健康科学を、理論と実践の両面から学び、スポーツおよび健康分野に深く貢献できる」人材の育成を目的として、スポーツ健康学部を設置した。

平成27年には、スポーツ健康学部を基盤として、高度な教育研究および専門的職業人の養成を可能とする大学院、スポーツ健康学研究科修士課程を設置した。そして、平成28年には健康寿命の延伸が求められる社会的要請のもと、運動と栄養の両面から健康増進を図る人材の必要性に応える形で、人間健康学部（スポーツ健康学部より名称変更）において、スポーツ健康学科に加え管理栄養士養成課程として健康栄養学科を設置した。スポーツ健康学科は、アスリート養成を目指す学科として設置されて以来、スポーツ教育を実践し多くのスポーツに携わる社会人を育てることにより地域社会に貢献している

と同時に、地方私立大学としては例を見ないほどのオリンピック選手を輩出している。この実績により、志願者は高い水準で推移しており、それを受けて平成 27 年 4 月に学内定員振替により入学定員を 90 人より 100 人に、平成 29 年には認可によりさらに 120 人に増やしたのちも順調に入学定員を確保し続け、多くの人材を社会に送り出してきた。その後、幼児から高齢者まで、国民一人ひとりが生活の質（QOL）の向上を目指して生涯にわたりスポーツに親しみ、スポーツ文化を享受・形成することが求められる時代のニーズを踏まえ、令和 3 年にはスポーツの自然科学・社会科学両面からの理論を総合的に理解し、指導力・実践力・マネジメント能力を兼ね備えた人材を育成するスポーツ科学部を、人間健康学部から独立させる形で開設した。スポーツ科学部スポーツ科学科における就職率は、毎年 97%以上を維持しており、新体制となった後も地域の期待に応える人材を継続的に輩出しており、評価されている。今後も、地元で活躍できる優れた人材を多く養成していくことは、北陸地域における大学としての重要な社会的責務であると考えている。

本来、地方に設置された本学は、地域の高等学校との関係を良好に維持し、連携を密にして、共に未来の社会を担う人材を育成することを目標としている。スポーツ科学部スポーツ科学科は、開設初年度の令和 3 年度から現在に至るまで、その入学定員充足率について、令和 3 年度には 1.14、令和 4 年度には 1.15、令和 5 年度には 1.08、令和 6 年度には 1.25、令和 7 年度には 1.20 と推移しており、収容定員充足率も令和 3 年度には 1.14、令和 4 年度には 1.13、令和 5 年度には 1.08、令和 6 年度には 1.09、令和 7 年度には 1.11 となっている。いずれも 5 年連続で充足率が 100%を上回っており、これ以上の超過を避けるため、入学を希望する高校生の期待に必ずしも沿えていない状況が生じていることも事実であり、この現状は、志願者の意欲・関心に合った高等教育への受験を後押しする高等学校と本学、そして地域にとって大きな機会損失となっている。

直近 5 年間の平均値では、人間健康学部スポーツ健康学科およびスポーツ科学部スポーツ科学科の入学定員充足率は 1.16、収容定員充足率が 1.11 と 110%を超える高水準であり、適正な定員管理の観点から、スポーツ科学部スポーツ科学科の入学定員の見直しは不可欠であり、こうした状況は早急に改善されることが望まれる。

このような背景のもと、今般、文学部文学科の入学定員を 10 名減の 170 名に、経済学部経済学科の入学定員を 20 名減の 140 名に見直すとともに、学内定員振替によりスポーツ科学部スポーツ科学科の入学定員を 30 名増の 180 名とする届出を行うこととする。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

今般の収容定員変更は、スポーツ科学部スポーツ科学科の収容定員の適正化をはかるために文学部文学科および経済学部経済学科の入学定員を減じ、スポーツ科学部スポーツ科学科へ学内定員振替を行うものであり、それ以外の変更は伴わない。このため、

教育課程に関しては現在の内容を維持し、変更を行う予定はない。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

今般の収容定員変更は、文学部文学科および経済学部経済学科の入学定員をスポーツ科学部スポーツ科学科に振り替えることによって行われるものであるため、収容定員以外の教育方法や履修指導方法の変更は行わない。

(ウ) 教員組織の変更内容

今回の収容定員変更により、大学設置基準に基づくスポーツ科学科の必要基幹教員数は14名から15名に、必要教授数は7名から8名にそれぞれ増加する。しかしながら、現時点でスポーツ科学科には基幹教員が21名、うち教授が8名配置されており、既に基準を十分に満たしているため、教員組織については現状を維持し、変更を行わないものとする。

一方、文学部文学科および経済学部経済学科の必要基幹教員数は、それぞれ12名から11名、11名から10名へと減少するが、いずれも現行の教員組織において基準を満たしていることから、これらの学部・学科においても教員組織はそのまま継続することとする。また、本学には初年次教育及び教養教育に力を入れることを目的とした「基礎教育機構」が設置されており、初年次には学科教員に加え基礎教育機構の所属教員が一体となって教育指導に当たり、手厚い教育を行う体制を整えている。その、教育の質を向上させる仕組みを継続的に推し進めることにより、教育内容等の質保証はより高いものへと移行するものとする。

(エ) 大学全体や収容定員を増加する学科等で使用する施設・設備の変更内容

今回の収容定員変更は、定員の学内振替にとどまり、大学全体の収容定員数に変化はないため、施設・設備に関して新たな整備や変更を行う必要はない。現有の大学内施設は、大学設置基準を大きく上回る水準で整備されており、スポーツ科学部の使用状況においても、今回の定員変更によって教育環境に支障が生じることはない判断している。特に、課題解決型学習あるいは問題解決型学習と呼ばれるPBL科目の導入により、ラーニングコモンズとしての機能を備えた図書館を整備しており、十分な教育効果を上げることができていると考えている。さらに、本学が全学的に導入している、学生本人が所有する情報機器を学内のいたるところで利用できるBYOD (Bring Your Own Device) 環境により、休み時間や講義の空き時間に常に講義の予習復習を行うことができることから、学生が様々な時間や場所で、様々な学習に取り組める体制を整える。

エ 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

本学では、現在および将来的にも2以上の校地において教育研究を行う計画はなく、

全ての教育・研究活動は現行の校地内において一貫して実施する方針である。

オ 大学設置基準第25条の4の規定に基づき授業の一部をサテライトキャンパス等の校舎以外の場所で行う場合の具体的計画

本学では、授業の一部をサテライトキャンパス等の校舎以外の場所で行うことは想定しておらず、全授業は本学の主要校舎において実施する体制を整えている。

カ 教育課程等の特例制度の認定を受けた大学については、認定を受けた学部等ごとの特例対象規定、認定機関及びその内容

本学では、教育課程等の特例制度の認定を受けておらず、すべての学部等において大学設置基準に準拠した教育課程を編成・実施している。

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

(1) 収容定員を変更する組織の概要	p.2
①収容定員を変更する組織の概要（名称、入学定員、収容定員、所在地）	p.2
②収容定員を変更する組織の特色	p.2
(2) 人材需要の社会的な動向等	p.3
①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析	p.3
②中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析	p.4
③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域	p.5
④既設組織の定員充足の状況	p.6
(3) 学生確保の見通し	p.8
①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	p.8
ア 既設組織における取組とその目標	p.8
イ 収容定員を変更する組織における取組とその目標	p.9
ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を変更する組織での入学者の 見込み数	p.10
②競合校の状況分析	p.12
ア 競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析、優位性	p.12
イ 競合校の入学志願動向等	p.12

ウ 収容定員を変更する組織において定員充足できる根拠等	p.13
エ 学生納付金等の金額設定の理由	p.13
③先行事例分析	p.13
④学生確保に関するアンケート調査	p.13
⑤人材需要に関するアンケート調査等	p.13
(4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由	p.14

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 収容定員を変更する組織の概要

① 収容定員を変更する組織の概要（名称、入学定員、収容定員、所在地）

収容定員を変更する組織	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員	所在地
金沢学院大学 スポーツ科学部 スポーツ科学科	180 (150名より 30名増)	10	740	石川県金沢市末町 10の5番地
文学部 文学科	170 (180名より 10名減)	8	696	同上
経済学部 経済学科	140 (160名より 20名減)	5	570	同上

② 収容定員を変更する組織の特色

スポーツ科学部では、幼児から高齢者まで多くの国民が生活の質（QOL）の向上を目指し生涯にわたってスポーツに親しみスポーツ文化を享受・形成する時代となったことに鑑み、スポーツの機能として、心身両面にわたる健康増進・青少年の健全育成・地域コミュニティの醸成・経済発展への寄与・活力ある健全な社会の育成・国際交流への貢献など社会の多様なニーズに応えるために、スポーツの自然・社会科学の理論を総合的に理解し、指導力・実践力およびマネジメント能力を兼ね備えた人材を育成する。教育研究上の目的は、競技力の向上を図るアスリートや、健康増進を図る地域のスポーツ愛好者のための最先端のトレーニング法や健康づくり法などの総合的な能力を身に付けるために、スポーツ科学を理論と実践の両面から学び、それを通じてスポーツに深くかわり貢献できる、次代を担う人材を育成することである。

地域からの強い要請に応え、スポーツ科学部スポーツ科学科の入学定員を増員し、スポーツを通じて地域に貢献できる人材の育成を一層強化することが、今回の収容定

員に関する学則変更の趣旨である。

定員は、以下のように設定することとする。

令和 8 年度より、スポーツ科学部スポーツ科学科の入学定員を、従来の 150 人（編入学定員 10 人）から 30 人増の 180 人とする（編入学定員に変更はない）。これに伴い、文学部文学科の入学定員は、従来の 180 人（編入学定員 8 人）から 10 人減の 170 人に、経済学部経済学科の入学定員は、従来の 160 人（編入学定員 5 人）から 20 人減の 140 人にそれぞれ変更する（いずれも編入学定員に変更はない）。これらの入学定員の変更は、学部間における定員の振替によって実施されるものであり、金沢学院大学全体の収容定員は従前と変わらない。

（２）人材需要の社会的な動向等

① 収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

スポーツ科学部スポーツ科学科が養成する人材は、全国的・地域的・社会的な人材需要の動向を踏まえたものであり、その客観的な証拠として、スポーツ科学科およびその前身である人間健康学部スポーツ健康学科の卒業生における就職状況が挙げられる。

「資料 1 人間健康学部スポーツ健康学科及びスポーツ科学部スポーツ科学科 最近 5 ヶ年の就職状況」に示されている通り、人間健康学部スポーツ健康学科の新卒者の就職率は、令和 3 年 3 月卒が 97.2%、令和 4 年 3 月卒が 97.7%、令和 5 年 3 月卒が 97.3%、令和 6 年 3 月卒が 98.8%と高水準で推移している。また、スポーツ科学部スポーツ科学科として初の卒業生となる令和 7 年 3 月卒においても、就職率は 98.1%と高く、継続的かつ丁寧な出口指導の成果が表れている。これらの数値は、同学科の卒業生が社会の要請に応じ、即戦力として企業や組織に受け入れられていること、ならびに学科で修得した知識・スキルが、現代社会の多様なニーズに的確に対応していることを裏付けている。

「資料 2 スポーツ科学部スポーツ科学科 令和 7 年 3 月卒業生の業種別就職内定状況」によると、就職者 157 人のうち、「複合サービス業・サービス業」への就職が最多で 20.4% (32 人)、次いで「製造業」が 17.2% (27 人)、「卸売・小売業」が 15.3% (24 人)と続いており、そのほかにも建設業、不動産業、教育、公務員、医療・福祉など、業種は多岐にわたっている。このことから、スポーツ科学科での学びは特定の

分野に偏ることなく、社会の多様な領域で活躍できる、汎用性の高い人材育成を実現していることが示されている。

「資料3 スポーツ科学部スポーツ科学科 令和7年3月卒業生の地域別就職状況」によれば、本学の所在地域である北陸・甲信越に全体の6割以上が就職しており、地域への貢献が顕著である。これらの卒業生は、公務員や教員として地域社会の活性化や教育の質の向上に寄与するほか、地域のスポーツ施設を活用した健康寿命の延伸やスポーツ振興を担うなど、地域社会における中核的人材として重要な役割を果たしている。

以上のような就職状況から、人間健康学部スポーツ健康学科およびスポーツ科学部スポーツ科学科が掲げる人材育成の方向性は、学部の特長を生かしつつ、地域社会および全国的なニーズに的確に対応しており、その成果が着実に現れていると評価できる。

(資料1 最近5ヵ年の就職状況)

(資料2 スポーツ科学部スポーツ科学科 令和7年3月卒業生の業種別就職内定状況)

(資料3 スポーツ科学部スポーツ科学科 令和7年3月卒業生の地域別就職状況)

② 中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

文部科学省「2040年以降の社会を見据えた高等教育が目指すべき姿」関連データによると、全国的に18歳人口は2022年には112万人まで減少し、2035年には初めて100万人を割って約96万人となり、2040年には約82万人にまで減少すると予測されている。

しかし大学進学率は依然として上昇傾向にあり、特に女性の上昇幅が大きい。その結果、大学進学者数はおおむね横ばいの傾向を保っているが、2022年の約64万人から2040年には約51万人へと、約20%の減少にとどまると見込まれている。

地域的動向としては、学校基本調査より算出した予測値として、大学進学に関する情報を提供している教育企画センターが2024年に公開した「都道府県別18歳人口予測推移」によると、2021年度に比べ2034年には、石川県は18.7%、富山県は23.2%、そして福井県は17.7%の減少としている。これは全国的な減少率(13.5%)と比較して、石川県、富山県および福井県のいずれもが、より大きな減少幅を示している。

このような傾向を踏まえ、北陸地方を中心とした従来の募集活動に加え、全国を視野に入れた広域的な募集戦略をより一層強化していく必要がある。また、進学率の上昇が著しい女子学生の確保に積極的に取り組むことで、今後の学生確保に対応していく方針である。

③ 収容定員を変更する組織の主な学生募集地域

本学は北陸地方に位置することもあり、資料 4 から分かる通り大学全体では、約 7 割の学生が、石川県・富山県・福井県の 3 県出身者である。一方で、スポーツ科学部においては、これら 3 県出身者の割合は約 45.2%にとどまり、大学全体と比較して北陸地方への偏りが相対的に少ない。この傾向はスポーツ科学部が開設された令和 3 年度以降、R3 年度 52.0%、R4 年度 53.1%、R5 年度 42.9%と推移しており、継続的な学生募集の成果として、北陸 3 県以外の地域からも一定の学生を獲得できていることがわかる。このことにより、近隣の大学との差別化が図れている点も特筆に値する。

スポーツ科学部では、高度な専門知識と実践的な指導を提供しており、近年、健康志向の高まりやスポーツへの関心の増加を背景に、スポーツ科学分野への進学希望者は増加傾向にある。さらに、本学では部活動が盛んであり、相撲やトランポリンなど、日本を代表する選手を多数輩出していることから、地域を問わず多くの学生にとって魅力ある進学先として認識されている。

今後の学生募集戦略においては、これまで実績を積んできた北陸三県に加え、近隣の新潟県や長野県に対する広報活動を引き続き展開する。また、遠方地域に対してはオンラインを活用した情報発信を強化し、本学スポーツ科学部の魅力をより広く、効果的に伝えていく。特に、特定の競技に取り組む高校生やスポーツ指導者を志す学生に焦点を当てた情報提供を行うことで、志の高い学生の確保を図る。

以上の点を総合的に勘案すると、本学スポーツ科学部の学生募集地域は、現在の進学傾向および将来的な学生ニーズを的確に反映しており、今後の募集戦略との整合性も高いことから、妥当であると判断できる。定員増に対応可能な学生数の確保を目指し、より広範な地域からの学生を積極的に受け入れる体制を今後さらに整備していく方針である。

(資料 4 本学及び北信越におけるスポーツ系学部・学科がある大学の出身高校地域

別入学者割合)

④ 既設組織の定員充足の状況

本学においては、令和 6 年 4 月に設置した情報工学部情報工学科、短期大学食物栄養学科及び幼児教育学科が収容定員充足率で 0.7 倍を下回る結果となった。

情報工学部情報工学科は、令和 6 年度に理工系の人材不足を解消すべく時代の要請に応じ、コンピュータや情報ネットワークの仕組みを理解したうえで、AI などの情報技術を駆使し、社会において DX を推進できる人材を養成する、本学初の理工系学部として新設された。

認可申請時のアンケートでは、本学を受験し合格した場合に進学を希望すると回答した者は 353 人に上ったが、2024 年 1 月に発生した能登半島地震の影響等により競合校が例年より多くの合格者を出したこと、さらに経済的な理由から併願を検討していた学生が実績のない新設学部への進学を控える動きが見られるなど、複数の要因が重なり、初年度の入学者は 36 名にとどまった。

令和 6 年度の入試結果を受け、DX ハイスクールの取組を進めている高校等への積極的な訪問や、情報工学部の教員による授業の実施など、情報教育のサポートを展開した結果、令和 7 年度には入学者が 55 名に増加し、一定の改善が見られた。初年度からは増加したものの、依然として厳しい状況にあることに変わりはなく、今後も DX ハイスクールとの連携を継続し、在学生在が本学での学びや活動を後輩に発信していくことにより、入学希望者の増加につなげることを目指し、学生募集に一層注力していく所存である。

短期大学食物栄養学科においては、平成 17 年の開設以来、高齢化社会に対応し、健康の保持・増進に貢献できる栄養の専門家を多数育成してきた。平成 28 年に入学定員を 80 名から 60 名へと変更して以降、年度によって定員未充足となることはあったが、同年に設置された大学の健康栄養学科（現・栄養学部栄養学科）と連携しながら学生募集を進めた結果、令和 5 年度までは一定の充足率を維持していた。しかし、全国的な少子化と短期大学離れの流れには抗しきれず、令和 6 年度および令和 7 年度において大幅な定員割れが発生し、結果として収容定員充足率が 0.7 倍を下回るに至った。

石川県内には、本短期大学以外に栄養系の学科を有する短期大学はなく、高齢化が今後さらに進行する地域社会においては、栄養士の養成に対する一定の需要が今後も見込まれる。こうした状況を踏まえ、今後は定員減も視野に入れた柔軟な対応を検討しつつ、大学栄養学部との連携を一層強化し、より効果的な学生募集に取り組んでいきたい。

表 1 食物栄養学科における志願者・入学者の推移

	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
募集定員(人)	60	60	60	60	60	60	60	60
志願者(人)	75	93	153	106	149	107	59	38
入学者(人)	48	42	60	46	65	72	41	30

幼児教育学科においては、平成 30 年の設置以降、保育士資格取得を卒業要件とし、併せて幼稚園教諭二種免許状を取得できるカリキュラムのもと学生募集を展開し、幼児教育学科が掲げたこれらの特色をオープンキャンパスなどの活動を通じて PR してきた。

開設初年度は入学定員 50 人に対し入学者 31 人と振るわず、2 年目である平成 31 年度には入学者が 34 人となった。そして、令和 2 年度には入学者数が 24 人と初年度をも下回る結果となった。ところが令和 3 年度及び 4 年度には、入学者がそれぞれ 48 人、38 人と増加に転じ、定員充足率 0.7 を上回る状況が続いた。しかし、こうした回復傾向も長続きせず、令和 5 年度には再び入学者が減少し、令和 6 年度には一時的に持ち直したものの、令和 7 年度には再び志願者・入学者ともに減少する結果となった。このように、幼児教育学科の定員充足率は、0.7 付近を上下する状態が続いているのが実情である。

短期大学の志願者減少は全国的な傾向であり、北陸 3 県における幼児教育課程を持

つ私立短期大学でも、定員割れや定員削減の動きが顕著となっている。一方で、今後ますます厳しさを増す経済状況や共働き世帯の増加といった社会環境を考慮すれば、幼稚園教諭および保育士を育成する保育者養成施設の役割は、ますます重要になると考えられる。このような状況を踏まえ、定員の見直しも視野に入れつつ、引き続き大学教育学部教育学科の保育者養成課程との連携を一層強化し、積極的な学生募集活動を展開することで、定員充足の実現を目指していきたい。

表 2 幼児教育学科における志願者・入学者の推移

	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
募集定員(人)	50	50	50	50	50	50	50	50
志願者 (人)	46	63	40	59	58	33	39	32
入学者 (人)	31	34	24	48	38	30	36	29

(3) 学生確保の見通し

① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取り組みとその目標

令和 3 年度に人間健康学部スポーツ健康学科から独立して設置したスポーツ科学部スポーツ科学科は、高度な専門性と実践力を備えたアスリートやスポーツ指導者等を継続的に育成・輩出してきた。スポーツ科学科では、アスリート・指導員養成専攻、体育教員養成専攻、公安・公務員養成専攻、スポーツビジネス専攻の 4 つの専門分野に分かれ、これらに対応したカリキュラムを展開している。また、保健体育教員免許、各種スポーツ指導者資格、健康運動指導士などの資格取得を支援する体制も充実しており、学修成果の可視化とキャリア支援の両面から教育効果を高めている。さらに、最新鋭のトレーニングセンターや健康科学測定室などの充実した施設・設備を活用し、理論と実践を融合した学びを提供している。

学生募集に関しては、設置当初より、オープンキャンパスにおける体験授業や部活動体験、在学生との交流を通じて、学科の魅力を積極的に発信してきた。令和 5 年度入試では 9

回開催、参加人数は 297 人、令和 6 年度入試では 10 回開催、参加人数は 332 人と増加傾向にあり、スポーツ科学部への関心の高さがうかがえる。一方で、受験対象者数が減少する中でも受験者数が横ばいで推移していることから、オープンキャンパスに早期から参加する層を含め、受験意欲の高い学生層を一定数確保できていると分析できる。また、入学者数も安定しており、オープンキャンパスが志願者の最終的な進学決定に与える影響は大きく、実効性のある広報手段となっている。令和 7 年度においては、参加人数が 365 人とさらに増加し、受験者数・入学者数ともに昨年度と比較して横ばいで推移する中、180 人の入学者を確保しており、スポーツ科学科の入学定員を 150 人から 180 人に増員しても、現在の取組を継続・強化することで、定員の充足が十分に見込めると考えられる。

また、学科教員や入試部、広報部の職員が連携し、近隣高校への訪問を通じて、本学学生のスポーツにおける大会実績や、卒業生が指導者・教員・公務員など多様な分野で活躍している事例を具体的に紹介するなど、学科の特色をアピールしている。さらに、部活動指導者が全国を巡り、現場の声を通じて金沢学院大学の魅力を伝えていることも、志願動機の形成に寄与している。これらの取り組みは、継続的に多くの入学者を確保するうえで重要な役割を果たしており、今後も継続して実施していく予定である。

今後も定員充足を安定的に実現していくためには、参加者の多様化に対応したオープンキャンパスのさらなる充実や、柔軟な入試制度の導入を含めた戦略的な対応が求められる。こうした取り組みを一層強化することで、より多くの優秀な学生の確保を目指していく。

(別紙 3 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績)

イ 収容定員を変更する組織における取組とその目標

上記で述べた通り、スポーツ科学科では令和 3 年の開設以来、オープンキャンパスや高校訪問等の継続的な学生募集活動を展開しており、スポーツ分野における本学学生の活躍も相まって、安定的に入学生を確保している。定員を変更した後についても、これまで通りの学生募集活動を継続して実施するだけでなく、スポーツの自然科学および社会科学の理論を総合的に理解し、指導力・実践力・マネジメント能力を兼ね備えた人材を育成しているという本学の特色を活かし、アスリートとしての活躍にとどまらず、卒業生が公務員やスポーツ指導者など多様な分野で専門性を発揮している実績を積極的に訴求していく。本学におけるスポーツ分野での活躍は全国的にも認知されつつあることから、そうした実績を多様なメディアを通じて広く発信することで、北陸地域にとど

まらず、より広範な地域においても効果的な学生募集活動を展開していく予定である。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を変更する組織での入学者の見込み数

スポーツ科学部スポーツ科学科は、今回定員を 150 人から 180 人に増加させた後も、学生募集活動については従来通りの取り組みを継続する予定である。以下では、スポーツ科学部スポーツ科学科の開設以降の実績および今年度の志願状況をもとに、定員充足の見込みについて述べる。

スポーツ科学部スポーツ科学科では、定員を 120 名から 150 名に増員して開設された令和 3 年度に、志願者が 276 人、入学者が 171 人と入学定員を上回る入学者を確保しており、この傾向は令和 4 年度以降も継続している。令和 4 年度には志願者 271 人、入学者 173 人、令和 5 年度には志願者 239 人、入学者 163 人と若干の減少は見られたものの、令和 6 年度には志願者 244 人（前年比 5 人増）、入学者 188 人（前年比 25 人増）と回復傾向を示し、令和 7 年度においても志願者 225 人、入学者 180 人と、増員後の定員と同数の入学者を確保している。特に直近 2 年間では、今回変更する予定の 180 人という定員に実質的に対応した入学実績を達成している点は注目に値する。

また、歩留まり率（合格者に対する入学者の割合）についても、令和 3 年度から 7 年度までの平均は約 81％であり、安定した水準を維持している。中でも、令和 6 年度は約 83％、令和 7 年度は約 86％と、入学意欲の高さを裏付けるデータが示されている。この歩留まり率が今後も維持されると仮定すれば、210 人程度の合格者を確保することで、180 人の入学者数を安定的に確保できると見込まれる。令和 3 年度から 7 年度までの平均合格者数が 216.2 人であることから、この水準は十分に実現可能である。

表 3-1 本学スポーツ科学部スポーツ科学科の入学選抜状況

	志願者数（人）	受験者数（人）	合格者数（人）	入学者数（人）
令和 3 年度	276	273	223	171
令和 4 年度	271	271	203	173
令和 5 年度	239	237	219	163
令和 6 年度	244	243	226	188
令和 7 年度	225	224	210	180

また、選抜区分別に見ると、入学者の増加傾向が主にどの入試区分の受験生によってもたらされているかが、表 3-2 から明確に読み取れる。総合型選抜の受験者数に注目すると、入学者数が多かった令和 6 年度および令和 7 年度では、過年度と比較して受験者数が増加していることが確認できる。総合型選抜の受験者は、早期の段階で本学への進学を希望している生徒が多く、合格後の入学率が高い傾向にあることから、この層の受験者数を確保することが、入学定員を安定的に充足する上で極めて重要であると考えられる。その他、学校推薦型選抜については、毎年安定して一定数の受験者がおり、継続的に入学者を確保できている。一方で、一般選抜および大学入学共通テスト利用選抜における受験者数は年々減少傾向にあるが、これらの選抜方式は全体の受験者に占める割合が相対的に小さいため、この減少が入学者数全体に与える影響は限定的である。

このことから、今後も引き続き、オープンキャンパス等を通じてスポーツ科学部の魅力を積極的に発信し、部活動等における学生のスポーツでの活躍を広くアピールすることによって、本学を第一志望とする生徒を増加させ、総合型選抜における受験者数の拡大を図ることで、定員充足の達成が可能になると見込まれる。

表 3-2 スポーツ科学部スポーツ科学科 入試区分別 受験者数の変化

受験区分	総合型選抜	学校推薦型 選抜 (うち附属高校)	一般選抜	大学入学 共通テスト 利用選抜	合計
令和 3 年度	128	45 (6)	64	36	273
令和 4 年度	126	58 (9)	52	35	271
令和 5 年度	127	35 (6)	43	32	237
令和 6 年度	154	40 (6)	22	27	243
令和 7 年度	140	46 (1)	21	17	224

前述の学則の変更の趣旨等を記載した書類にもあるように、社会的・地域的なニーズを踏まえてスポーツ科学部スポーツ科学科の定員を増加させるにあたり、適切な定員管理のもとで運営を行うとともに、地元高校との良好な関係を維持しながら大学経営の基盤安定を図る必要がある。そして、アドミッション・ポリシーに適した学ぶ意欲の高い

優秀な学生を、計画的かつ継続的に受け入れていくためにも、入学定員を 180 人とする
ことには十分な妥当性があると考えられる。

以上の理由から、スポーツ科学部スポーツ科学科の入学定員を、現行の 150 人から 180
人へと増加させることとしたい。

(別紙 2 既設学科等の入学定員の充足状況)

② 競合校の状況分析

ア 競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析、優位性

スポーツ科学科と競合すると考えられる、北陸・甲信越地域の私立大学におけるス
ポーツ系学科の入学状況は、資料 5 に整理されている通りである。競合校の選定理由と
しては、本学が所在する石川県が北陸地方に位置することから、地域的な共通性を考慮
し、北陸 3 県（富山県、福井県、石川県）に加え、隣接する新潟県および長野県を含め
た 5 県の中で、スポーツ系学科を有する私立大学 4 校を選定したものである。教育内容
については、いずれの大学もスポーツに関する専門知識に加えて、健康・福祉・医療な
ど関連分野との融合的な学びを提供しており、スポーツ指導者、健康運動指導士、保健
体育教員などを主な進路として想定している。

本学の強みとしては、4 つの専攻に専門分化された教育体制により、学生一人ひとりの
将来の目標に応じた柔軟なカリキュラムを構築している点が挙げられる。また、地域
社会との連携を積極的に推進し、スポーツイベントの企画・運営や地域住民へのスポー
ツ指導など、実践的な学びの機会を豊富に提供していることも大きな特長である。さら
に、教員と学生の距離が近く、きめ細やかな個別指導やサポートを受けられる教育環境
が整っていることも本学の優位性として挙げられる。加えて、トレーニングセンターや
最新鋭の機器を備えた健康科学測定室など、教育・研究を支える施設面の充実も顕著で
あり、科学的根拠に基づいたトレーニング法の探究や、栄養学部との連携によるアス
リートに必要な食と栄養に関する専門知識の習得も可能である。

(資料 5：北信越におけるスポーツ系学部・学科の入学志願状況)

イ 競合校の入学志願動向等

資料 5 によると、令和 2 年度から令和 6 年度にかけて、競合校とされる 4 校はすべて
の年度において、定員充足率が 100%を超えていることが確認できる。このように、ス

スポーツ系学科を有する競合校がいずれも安定的に定員を満たしている状況から、本地域においてスポーツ系学科に対する一定の需要が継続して存在していることがうかがえる。したがって、本学スポーツ科学科の定員を 30 人増員したとしても、引き続き定員を充足できる見込みは十分にあると判断される。

また、私学事業団が公表する「私立大学・短期大学等入学志願動向」のデータを基に作成された資料 6 の分析結果によれば、私立大学全体では志願者数・入学者数ともに減少傾向がみられる一方で、スポーツ科学部、スポーツ健康科学部、スポーツ健康学部の入学者数は、令和 3 年度以降毎年着実に増加していることが明らかである。このことから、全国的な傾向としても、スポーツ系学科に対するニーズは継続的に高まっていることが読み取れ、今後も本学において安定的な入学者確保が可能であると見込まれる。

(資料 6：私立大学・短期大学等入学志願動向による全国的な志願者数、入学者数の推移)

ウ 収容定員を変更する組織において定員充足できる根拠等

該当なし

エ 学生納付金等の金額設定の理由

スポーツ科学科の入学金および授業料等の学生納付金の額については、学科設置時に全国および近隣地域におけるスポーツ系学部・学科の学費調査（サーベイ）に基づいて設定されており、入学金は 20 万円、授業料は年間 77 万円とされていた。しかしながら、昨今の光熱水費を含む諸物価の高騰を受け、令和 8 年度入学生より、入学金は現行通り 20 万円、授業料については年間 90 万円に改定する予定である。

この授業料の見直しは、現在の他大学におけるスポーツ系学部の学費と比較しても平均的な水準にあり、教育内容や提供する学修環境とのバランスから見ても、十分な妥当性を有すると考えられる。

③ 先行事例分析

該当なし

④ 学生確保に関するアンケート調査

該当なし

⑤ 人材需要に関するアンケート調査等

該当なし

（４）収容定員を変更する組織の定員設定の理由

本学は、昭和62年に文学部のみの単科大学として、日本海側初の女子大学である金沢女子大学を開学した。その後、平成7年4月に経営情報学部（現・経済学部）を開設すると同時に男女共学化を進め、大学名も金沢学院大学へと変更した。以降、平成12年4月には美術文化学部（現・芸術学部）、平成23年4月にはスポーツ健康学部（現・スポーツ科学部）、平成28年度には健康栄養学科（現・栄養学部栄養学科）、平成30年度には教育学科（現・教育学部教育学科）、そして令和6年度には本学初の理工系学部として情報工学部を設置するなど、北陸地域における私立総合大学としての教育体制を着実に整備してきた。

スポーツ科学部は、平成23年にスポーツ健康学部スポーツ健康学科として入学定員90名でスタートし、平成27年には100名に増員、平成28年には人間健康学科スポーツ健康学科へと名称を変更し、平成29年には定員を120名にさらに増加させた。令和3年にはスポーツ科学部を新たに開設し、入学定員を150名に設定するに至っている。このように、スポーツ科学部は時代のニーズに応じて進化し続けてきた学部であり、平成27年度以降、定員充足率が一度も100%を下回ることなく、着実に入学者を確保し続けている。この実績の背景には、本学が創設当初より部活動を軸としたスポーツ振興に力を注ぎ、全国レベルで成果を上げてきたことが評価され、本学の名が全国的に認知されるようになったことが挙げられる。また、学生のアスリートとしての活躍に加え、スポーツ科学部では高齢化社会の進行に対応したカリキュラムのもとで地域社会のニーズに応える人材を継続的に輩出している。

こうした実績を踏まえ、スポーツ科学部の入学定員を現在の150名（編入学定員10名含む）から30名増加させ180名とすることは、極めて妥当であると考えられる。

大学全体の収容定員は現在、文学部（入学定員180人）、教育学部（同70人）、経済学部（同250人）、芸術学部（同80人）、スポーツ科学部（同150人）、栄養学部（同80人）、情報工学部（同100人）で、編入学定員を含めた総数は3,730人となっている。

令和7年度の入学生を含めた学部別の収容定員充足率を見ると、文学部文学科が0.89、教育学部教育学科が0.84、経済学部経済学科が0.86、同経営学科が1.10、芸術学部

芸術学科が0.96、スポーツ科学部スポーツ科学科が1.11、栄養学部栄養学科が0.96、情報工学部が0.43となっている。情報工学部は設置2年目、教育学部は4年目と設置から日が浅いため、これらの学部は今後の成長が期待される段階である。

したがって、定員充足率が未達となっている文学部文学科および経済学部経済学科からそれぞれ10人、20人の定員を振り替えることは、全学として適切な定員管理を行い、今後の安定的な運営を図るうえで妥当な措置であると判断される。

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

資料 1	スポーツ健康学科及びスポーツ科学科 最近 5 ヶ年の就職状況	p. 2
資料 2	スポーツ科学部スポーツ科学科 令和 7 年 3 月卒業生の業種別就職状況	p. 3
資料 3	スポーツ科学部スポーツ科学科 令和 7 年 3 月卒業生の地域別就職状況	p. 4
資料 4	本学及び北信越におけるスポーツ系学部学科がある大学の出身高校地域別入学者割合	p. 5
資料 5	北信越におけるスポーツ系学部・学科の入学志願状況	p. 6
資料 6	私立大学・短期大学等入学志願動向による全国的な志願者数、入学者数の推移	p. 7
別紙 1	組織が置かれる都道府県への入学状況	p. 8
別紙 2	既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）	p. 9
別紙 3	既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績	p. 10

資料 1

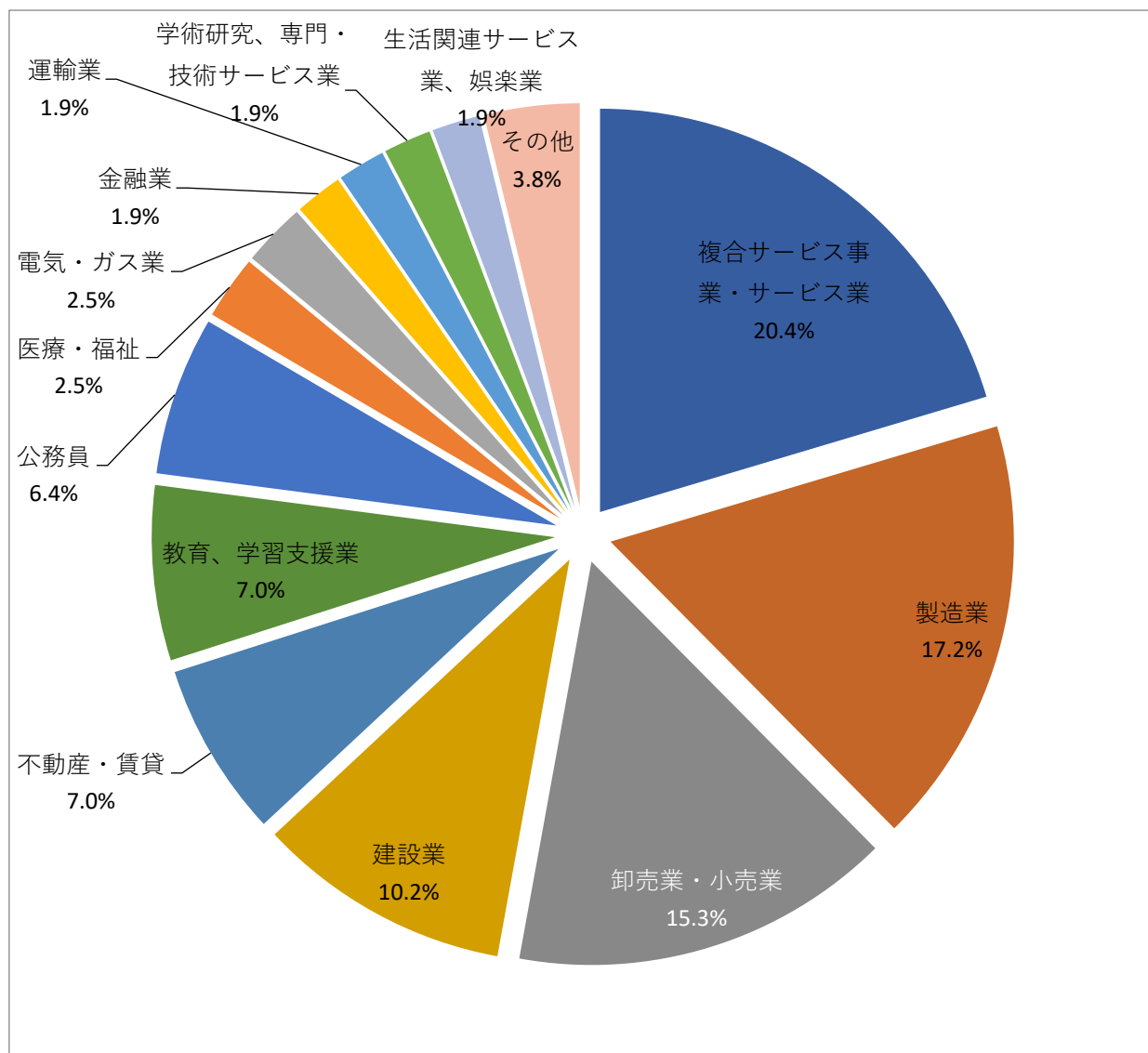
スポーツ健康学科及びスポーツ科学科 最近 5 ヶ年の就職状況

卒業年	就職者/ (学生数-進学者)	卒業生数	就職者	進学者
令和3年3月卒	97.2%	108	104	1
令和4年3月卒	97.7%	129	125	1
令和5年3月卒	97.3%	149	142	3
令和6年3月卒	98.8%	166	161	3
令和7年3月卒	98.1%	162	157	2

※令和7年3月卒のみスポーツ科学部の卒業生の就職状況

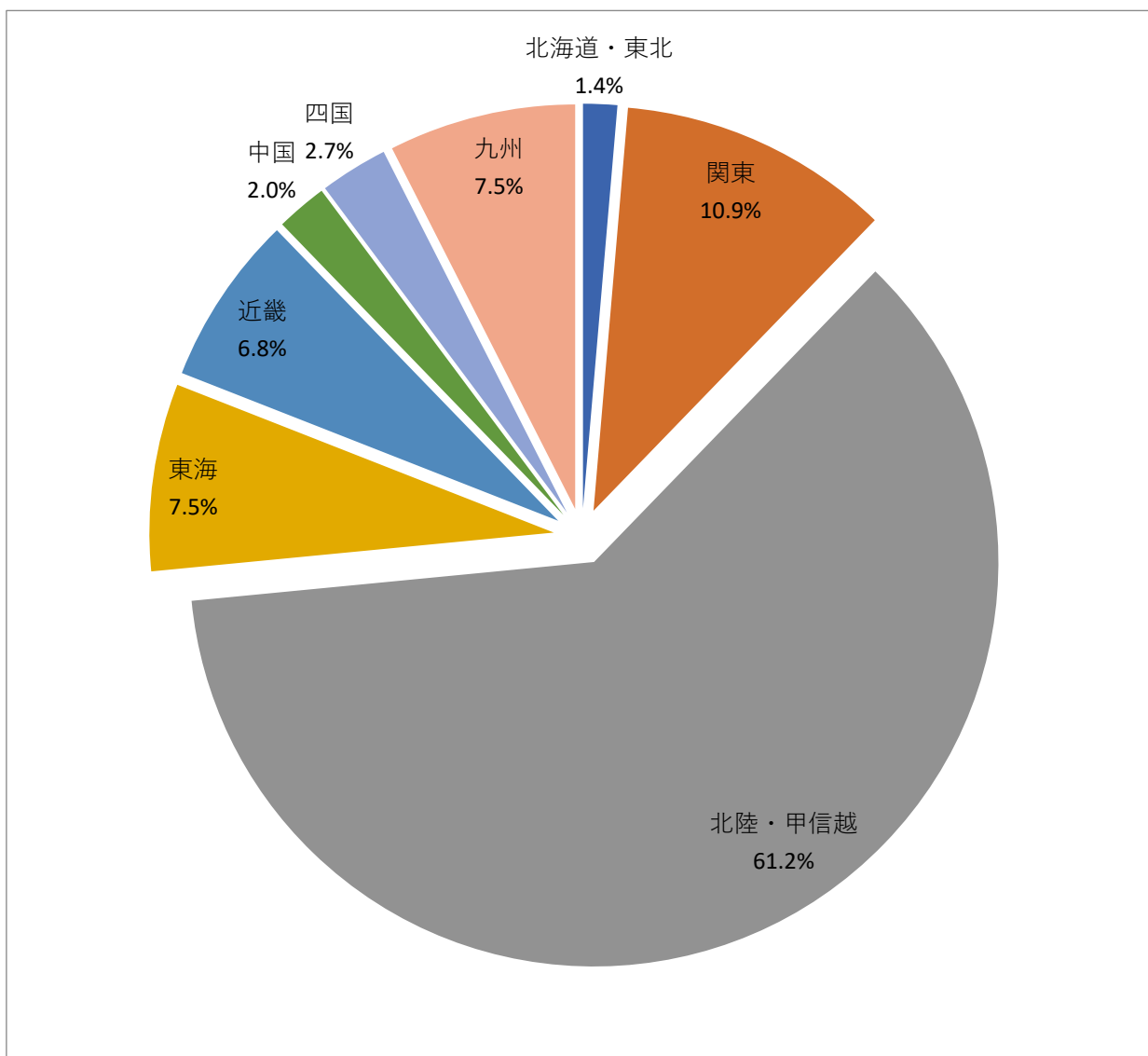
資料 2

スポーツ科学部スポーツ科学科 令和7年3月卒業生の業種別就職状況



資料 3

スポーツ科学部スポーツ科学科 令和7年3月卒業生の地域別就職状況



資料 4

本学及び北信越におけるスポーツ系学部・学科がある大学の出身高校地域別入学者割合

	金沢学院大学	金沢学院大学 スポーツ科学部	R5	R4	R3
石川県	45.9%	23.9%	28.2%	34.1%	36.8%
富山県	18.4%	14.4%	10.4%	15.0%	9.4%
福井県	4.8%	6.9%	4.3%	4.0%	5.8%
新潟県	5.4%	4.3%	3.0%	6.9%	3.5%
長野県	3.2%	5.3%	5.5%	8.7%	4.0%
その他	22.3%	45.2%	48.6%	31.3%	40.5%

	金沢星稜大学	福井工業大学	新潟経営大学	新潟医療福祉大学
石川県	72.6%	5%	1.2%	1.2%
富山県	22.0%	7.5%	1.2%	3.0%
福井県	2.2%	54.7%	1.2%	0.7%
新潟県	0.3%	1.2%	69.0%	55.5%
長野県	0.3%	1.6%	4.2%	7.4%
その他	2.6%	30.0%	23.2%	32.2%

※令和6年度入学者対象

※福井工業大学は在学者の割合

北信越におけるスポーツ系学部・学科の入学志願状況

県名	大学名	学部名	学科名		令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
石川県	金沢星稜大学	人間科学部	スポーツ学科	入学定員（人）	75	75	75	75	75
				志願者（人）	303	321	230	199	166
				入学者（人）	86	76	82	83	76
				定員充足率（％）	114.7	101.4	109.4	110.7	101.4
福井県	福井工業大学	スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	入学定員（人）	70	70	70	70	80
				志願者（人）	データなし				
				入学者（人）	87	81	75	84	87
				定員充足率（％）	124.3	115.8	107.2	120	108.8
長野県	松本大学	人間健康学部	スポーツ健康学科	入学定員（人）	100	100	100	100	100
				志願者（人）	208	207	208	167	163
				入学者（人）	111	106	126	103	112
				定員充足率（％）	111	106	126.0	103	112
新潟県	新潟医療福祉大学	健康科学部	健康スポーツ学科	入学定員（人）	200	250	250	250	250
				志願者（人）	403	474	439	441	436
				入学者（人）	219	258	259	292	266
				定員充足率（％）	109.5	103.2	103.6	116.8	106.4

資料 6

私立大学・短期大学等入学志願動向による全国的な志願者数、入学者数の推移

区分	年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
私立大学全体	志願者数（人）	4,368,215	3,834,862	3,822,509	3,713,827	3,704,471
	入学者数（人）	503,830	494,213	502,199	500,599	494,730
スポーツ科学部	志願者数（人）	12,282	11,735	10,786	11,052	11,980
	入学者数（人）	2,150	2,644	2,762	3,151	3,710
スポーツ健康科学部	志願者数（人）	11,436	9,015	9,627	9,927	10,133
	入学者数（人）	1,611	1,760	1,806	1,870	1,863
スポーツ健康学部	志願者数（人）	5,420	4,282	4,446	4,262	4,722
	入学者数（人）	634	594	630	647	646

※日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」主な学部別の志願者・入学者動向（大学）より抜粋。
区分は、医学、歯学、薬学、保健系、理・工学系、農学系、人文科学系、社会科学系、家政学、教育学、体育学、芸術系、
その他で分類され、スポーツ科学部、スポーツ健康科学部、スポーツ健康学部はいずれもその他の分類に含まれている。

組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙 1

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1			#DIV/0!
2			#DIV/0!
3			#DIV/0!
4			#DIV/0!
5			#DIV/0!
	全 体		#DIV/0!

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合や収容定員の増加に係る学則変更認可申請の場合に作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○収容定員を変更する組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1	北陸	97.84%	92.63%	88.66%
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○収容定員を変更する組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1	体育系学部	104.22%	100.02%	98.05%
2				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

1. 各選抜方法の状況

			R 3 年度入学者	R 4 年度入学者	R 5 年度入学者	R 6 年度入学者	R 7 年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数		60人	60人	75人	80人	80人	71人
	延べ人数	志願者数	130人	126人	127人	155人	141人	136人
		受験者数	128人	126人	127人	154人	140人	135人
		合格者数	123人	123人	127人	154人	138人	133人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	1人	2人	0人	1人
	実人数	志願者数	128人	126人	127人	155人	141人	135人
		受験者数	126人	126人	127人	154人	140人	135人
		合格者数	123人	123人	127人	154人	138人	133人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	1人	2人	0人	1人
	入学者数		122人	122人	126人	152人	138人	132人
学校推薦型選抜	募集人数		40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	志願者数	45人	58人	35人	40人	46人	45人
		受験者数	45人	58人	35人	40人	46人	45人
		合格者数	41人	51人	35人	38人	39人	41人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	7人	7人	5人	2人	5人
	実人数	志願者数	43人	51人	35人	35人	37人	40人
		受験者数	43人	51人	35人	35人	37人	40人
		合格者数	40人	49人	35人	35人	37人	39人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	7人	7人	5人	2人	5人
	入学者数		36人	44人	28人	33人	37人	36人
一般選抜	募集人数		25人	25人	18人	18人	18人	21人
	延べ人数	志願者数	65人	52人	45人	22人	21人	41人
		受験者数	64人	52人	43人	22人	21人	40人
		合格者数	33人	16人	39人	15人	18人	24人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	25人	10人	31人	14人	15人	19人
	実人数	志願者数	45人	29人	29人	15人	16人	27人
		受験者数	44人	29人	28人	15人	16人	26人
		合格者数	29人	15人	28人	13人	15人	20人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	22人	10人	24人	12人	12人	16人
	入学者数		8人	6人	8人	1人	3人	5人
共通テスト利用入試	募集人数		25人	25人	17人	12人	12人	18人
	延べ人数	志願者数	36人	35人	32人	27人	17人	29人
		受験者数	36人	35人	32人	27人	17人	29人
		合格者数	26人	13人	18人	19人	15人	18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	21人	12人	17人	17人	13人	16人
	実人数	志願者数	33人	29人	24人	21人	14人	24人
		受験者数	33人	29人	24人	21人	14人	24人
		合格者数	26人	12人	15人	17人	14人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	21人	11人	14人	15人	12人	15人
	入学者数		5人	1人	1人	2人	2人	2人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		150人	150人	150人	150人	150人	150人
	延べ人数	志願者数	276人	271人	239人	244人	225人	251人
		受験者数	273人	271人	237人	243人	224人	250人
		合格者数	223人	203人	219人	226人	210人	216人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	52人	30人	56人	38人	30人	41人
	実人数	志願者数	249人	235人	215人	226人	208人	227人
		受験者数	246人	235人	214人	225人	207人	225人
		合格者数	218人	199人	205人	219人	204人	209人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	48人	29人	46人	34人	26人	37人
	入学者数		171人	173人	163人	188人	180人	175人

3. 入学定員充足率

	R 3 年度入学者	R 4 年度入学者	R 5 年度入学者	R 6 年度入学者	R 7 年度入学者	平 均
入 学 定 員	150人	150人	150人	150人	150人	150
入 学 定 員 充 足 率	1. 14	1. 15	1. 09	1. 25	1. 20	1. 16
歩 留 率	0. 77	0. 85	0. 74	0. 83	0. 86	0. 80

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称： オープンキャンパス（スポーツ科学部）

	R 5 年度入試	R 6 年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	297人	332人	①取組概要 受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、既設組織の特色や就職状況の紹介、授業紹介、個別相談、キャンパス見学を実施した。 R6年度入試対象（R5開催）：計 1 0 回開催（1 3 日間） （3/26. 4/16. 5/21. 6/18. 7/8. 7/9. 8/5. 8/6. 8/19. 8/20. 9/17. 10/22. 12/3） R5年度入試対象（R4開催）：計 9 回開催（1 2 日間） （3/20. 4/17. 5/22. 6/19. 7/9. 7/10. 8/6. 8/7. 8/20. 8/21. 9/18. 12/4） ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。 オープンキャンパスの参加者数については増加傾向が見られるが、受験対象者数には減少傾向が見られる。これは、オープンキャンパスに参加する層について、早期の参加など多様化が進んでいるためと考えられる。受験者数と入学者数は一定数確保できていることから、今後も昨年度入学者 188人、今年度入学者180人と同数の入学者の獲得が予想される。これにより、定員を150人から180人に増やしても定員を満たすことができると考える。しかしながら、志願者数受験者数の増加をはかるため、現状の取組に加えて多様な層に対応したオープンキャンパスの内容の充実化を図りたい。
うち受験対象者数 (b)	219人	180人	
うち受験者数 (c)	103人	100人	
うち入学者数 (d)	100人	98人	
（受験率 c/b）	47. 0%	55. 6%	
（入学率 d/b）	45. 7%	54. 4%	

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	アキヤマ ミノル 秋山 稔 ＜平成25年4月＞		博士 (文学)		金沢学院大学 学長 (平成25.4～令和10.4)